

# ネオフォーム

## 取付説明書 — ネオフォームアプローチ —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>



**警告**

- 本製品を、物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的にして、改造・変更をしないでください。



**注意**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
  - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
  - ・施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
  - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
  - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
  - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化剥離(はくり)のおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所ではサポートを取付けるとともに、風にあおられない向きに取付けてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- あらかじめ門扉およびファンクションを、どの柱にどの方向で取付けるかを検討し、柱配置を決定した後で化粧材を取付けてください。
- 化粧材の取付けは柱の埋込み施工の前に行ってください。

### ⚠ 注意

- 桁には水勾配をつけないで、水平に施工してください。水勾配をつけると排水性が低下するおそれがあります。
- パーゴラは片支持柱のアプローチには取付けることはできません。必ず両支持柱のアプローチに取付けてください。
- パーゴラを取付けた場合、ロールスクリーンを取付けることはできません。
- ロールスクリーンは片支持柱のアプローチには取付けることはできません。必ず両支持柱のアプローチの樋がついていない側の桁に取付けてください。
- ロールスクリーンを取付けた場合、パーゴラを取付けることはできません。
- ロールスクリーンはL25サイズのアプローチ専用です。L13, L20, L51, L57サイズのアプローチには取付けられません。

## <施工上のご注意>

### ⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## <基礎工事について>

### ⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

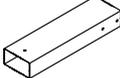
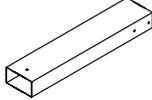
## <電気配線工事について>

### ⚠ 注意

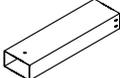
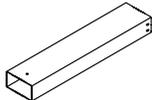
- AC100Vの電線の埋設工事, 配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、D種接地工事を行なってください。
- DC12V仕様の照明器具には、専用トランスと電源ケーブルが必要です。AC100Vを接続しないでください。
- 照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
- 照明用配線にはVVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線(アース線を含む)を、インターホン用信号にはVCTF0.75mm<sup>2</sup>のより線またはφ1.0単線3芯を準備してください。
- AC100V用の照明器具には、周波数50Hz用と60Hz用の2タイプがあります。仕様地域の周波数のものを使用してください。
- 照明器具には「EEスイッチ」、「明るさセンサー」または「入切スイッチ」を別途設けてください。
- ポール内部には、松下電工製CD管 呼び16(内径φ16, 外径φ22)を使用しています。家側からの配管はPF管 呼び16を使用してください。
- インターホン用信号線にはVCTF0.75mm<sup>2</sup>のより線、またはφ1.0単線2芯か3芯を別途準備してください。
- 地中内配線用の配管にはPF管を使用してください。
- インターホン親機と露出型インターホン子機間の配線を電灯線、電話回線と平行配線する場合は、500mm以上離してください。音声に雑音が入る場合があります。
- PF管は現場で別途手配してください。

## ■ 梱包明細表

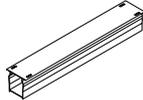
### ① 柱セットA

名 称	略 図	員 数			
		標準1本入	標準2本入	ロング1本入	ロング2本入
標準柱		1	2	—	—
ロング柱		—	—	1	2

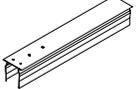
### ② 柱セットB

名 称	略 図	員 数	
		標準2本入	ロング2本入
標準柱		2	—
ロング柱		—	2

### ④ 梁セットB

名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
梁		1	2

### ③ 梁セットA

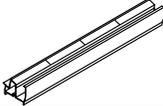
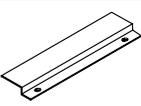
名 称	略 図	員 数	
		1本入	2本入
梁		1	2

### ⑤ ブラケットセット

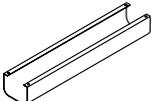
名 称	略 図	員 数		
		1本入	2本入	3本入
ブラケット		1	2	3
ブラケット補強材		2	4	6
カラー		1	2	3

## ■ 梱包明細表 つづき

### 6 桁セット

名 称	略 図	員 数				
		13型用	20型用	25型用	51型用	57型用
桁L		1	1	1	1	1
桁R		1	1	1	1	1
中骨		6	9	12	24	27
屋根材押え		4	6	8	16	18

### 7 アーチセット

名 称	略 図	員 数							
		アーチセットA		アーチセットB		アーチセットC		中間アーチセット	
		18型用	21型用	18型用	21型用	18型用	21型用	18型用	21型用
端部アーチ		2	2	2	2	2	2	—	—
中間アーチ		1	1	2	2	3	3	5	5
端部アーチカバー		2	2	2	2	2	2	—	—
中間アーチカバー		1	1	2	2	3	3	5	5
横樋		1	1	1	1	1	1	—	—
7-① φ4×12トラスタッピンネジ3種		30	30	46	46	61	61	77	77
7-② φ4×12トラスタッピンネジ 2種PW+樹脂W		26	35	35	44	44	50	44	50

**⑧連棟アーチセット**

名 称	略 図	員 数					
		連棟アーチセットA		連棟アーチセットB		連棟アーチセットC	
		18型用	21型用	18型用	21型用	18型用	21型用
端部アーチ		2	2	2	2	2	2
中間アーチ		1	1	2	2	3	3
連棟アーチカバー		1	1	1	1	1	1
中間アーチカバー		1	1	2	2	3	3
横樋		1	1	1	1	1	1
桁スリーブA		2	2	2	2	2	2
桁スリーブB		2	2	2	2	2	2
⑧-① φ4×12トラスタッピンネジ3種		30	30	46	46	61	61
⑧-② φ4×12トラスタッピンネジ 2種PW+樹脂W		26	35	35	44	44	50

**⑨柱部品セット**

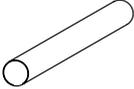
名 称	略 図	員 数		
		片柱部品セット		両柱部品 セット
		1本分	2本分	
アンカー棒		1	2	2
梁キャップ		2	4	2
梁・桁固定金具		4	8	4
梁・桁固定金具カバー		4	8	4
コーナーカバー		1	2	—
梁・柱取付金具		—	—	2

## ■ 梱包明細表 つづき

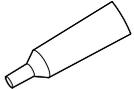
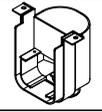
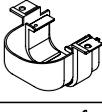
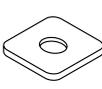
### 9 つづき

名 称	略 図	員 数		
		片柱部品セット		両柱部品 セット
		1本分	2本分	
9-① M8×70六角ボルト		2	4	—
9-② M8×25六角ボルトPW+SW		7	14	—
9-③ M8×30四角ボルト		4	8	4
9-④ M5×12ナベ小ネジPW+SW		2	4	—
9-⑤ M8用六角ナット		6	12	4
9-⑥ M8用バネ座金		6	12	4
9-⑦ M8用平座金		8	16	4
9-⑧ φ4×13ナベテクスネジ		6	12	4
9-⑨ M8×18六角ボルトPW+SW		—	—	4
9-⑩ M5×16トラスタッピンネジ3種		—	—	8

### 10 縦樋セット

名 称	略 図	員 数
縦樋		1

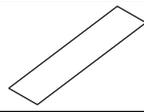
### 11 屋根部品セット

名 称	略 図	員 数	
		標準	連棟用
ブチルシーリング材		1	1
注意シール		1	—
横樋キャップA		1	1
横樋キャップB		1	1
桁キャップL		2	—
桁キャップR		2	—
裏板		4	4
接着剤		1	1
雨樋アタッチメント		2	2

### 11 つづき

名 称	略 図	員 数	
		標準	連棟用
雨樋孔ふさぎキャップ		2	2
アタッチメントパッキン		4	4
92度エルボ		2	2
ドレンエルボ		1	1
でんでん		3	3
スペーサー		2	2
11-① φ4×19ナベテクスネジ		3	3
11-② M5×12ナベ小ネジPW+SW		4	4
11-③ φ4×12トラスタッピンネジ3種		8	8
11-④ φ4×10トラスタッピンネジ1種		8	4
11-⑤ φ4×13ナベテクスネジ		—	24
11-⑥ M5×16ナベ小ネジPW+SW		2	2
取付説明書	—	1	—
取扱説明書	—	1	—

### 12 屋根材セット

名 称	略 図	員 数		
		1枚入	3枚入	4枚入
屋根パネル		1	3	4

**13 M合掌棟木セット**

名 称	略 図	員 数
M合掌棟木		1

**14 M合掌部品セット**

名 称	略 図	員 数			
		13型用	20・25型用	51型用	57型用
梁連結材		4	4	4	6
M合掌棟木固定金具		2	3	4	5
M合掌キャップ		2	2	2	2
14-① M8×120 六角ボルト		4	4	4	6
14-② M8用袋ナット		4	4	4	6
14-③ M8用平座金		8	8	8	12
14-④ M8用バネ座金		8	8	8	12
14-⑤ φ4×13 ナベテクスネジ		8	10	12	14

**15 M合掌連棟部品セット**

名 称	略 図	員 数
M合掌連棟カバー		1
M合掌棟木固定金具		1
15-① φ4×13 ナベテクスネジ		4

**16 スタンダードスタイル化粧材セット**

名 称	略 図	員 数					
		標準・ロング柱用			中間柱用		
		標準用	門扉取付用	ファンクション連結柱用	標準用	門扉取付用	ファンクション連結柱用
前面部化粧材 L=1850		2	1	2	—	—	—
前面部化粧材 L=1550		—	—	—	2	1	2
化粧パネル受け L=1850		2	2	1	—	—	—
化粧パネル受け L=1550		—	—	—	2	2	1

## ■梱包明細表 つづき

### 16 つづき

名 称	略 図	員 数					
		標準・ロング柱用			中間柱用		
		標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用	標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用
化粧パネル受け L=345		—	—	1	—	—	—
側面部化粧材 L=1850		2	2	1	—	—	—
側面部化粧材 L=1550		—	—	—	2	2	1
側面部化粧材 L=345		—	—	1	—	—	—
隙間埋め材 L=1850		4	4	2	—	—	—
隙間埋め材 L=1550		—	—	—	4	4	2
隙間埋め材 L=345		—	—	2	—	—	—
門扉固定用部材 L=1850		—	1	—	—	—	—
門扉固定用部材 L=1550		—	—	—	—	1	—
共用化粧材 L=1850		—	1	—	—	—	—
共用化粧材 L=1550		—	—	—	—	1	—
位置出し用Lアングル L=82		2	2	2	2	2	2
調整金具取付裏板		—	4	—	—	4	—
16-① φ4×13 サラピアスネジ		28	28	28	24	24	24
16-② φ4×13 ナベピアスネジ ※		28	28	18	28	28	14
16-③ φ4×8 トラストッピンネジ3種		4	4	4	4	4	2
16-④ φ4×13 ナベピアスネジ		8	8	8	8	8	8
16-⑤ φ4×13 トラストピアスネジ		—	7	—	—	6	—
16-⑥ φ4×25 トラストピアスネジ		24	24	16	20	20	10

※中間柱標準用と中間柱門扉取付用には、予備が4本入っています。

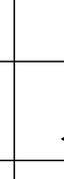
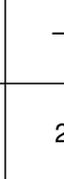
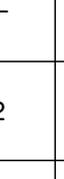
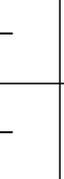
**17スタンダード・アーキモダン 木調スタイル化粧材セット**

名 称	略 図	員 数					
		標準・ロング柱			中間柱		
		標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用	標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用
前面部化粧材 L=1850		2	1	2	—	—	—
前面部化粧材 L=1550		—	—	—	2	1	2
化粧パネル受け L=1850		2	2	1	—	—	—
化粧パネル受け L=1550		—	—	—	2	2	1
化粧パネル受け L=345		—	—	1	—	—	—
側面部化粧材 L=1850		2	2	1	—	—	—
側面部化粧材 L=1550		—	—	—	2	2	1
側面部化粧材 L=345		—	—	1	—	—	—
門扉固定用部材 L=1850		—	1	—	—	—	—
門扉固定用部材 L=1550		—	—	—	—	1	—
共用化粧材 L=1850		—	1	—	—	—	—
共用化粧材 L=1550		—	—	—	—	1	—
位置出し用Lアングル L=82		2	2	2	2	2	2
調整金具取付裏板		—	4	—	—	4	—
17-① φ4×13サラピアスネジ		28	28	28	24	24	24
17-② φ4×13ナベピアスネジ ※		28	28	18	28	28	14
17-③ φ4×8トラスタップピンネジ3種		4	4	4	4	4	2
17-④ φ4×13ナベピアスネジ		8	8	8	8	8	8
17-⑤ φ4×13トラスピアスネジ		—	7	—	—	6	—

※中間柱標準用と中間柱門扉取付用には、予備が4本入っています。

## ■ 梱包明細表 つづき

### 18 アーキモダンスタイル化粧材セット

名 称	略 図	員 数					
		標準・ロング柱			中間柱		
		標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用	標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用
前面部化粧材 L=1850		2	1	2	—	—	—
前面部化粧材 L=1550		—	—	—	2	1	2
化粧パネル受け L=1850		2	2	1	—	—	—
化粧パネル受け L=1550		—	—	—	2	2	1
化粧パネル受け L=345		—	—	1	—	—	—
側面部化粧材 L=1850		2	2	1	—	—	—
側面部化粧材 L=1550		—	—	—	2	2	1
側面部化粧材 L=345		—	—	1	—	—	—
門扉固定用部材 L=1850		—	1	—	—	—	—
門扉固定用部材 L=1550		—	—	—	—	1	—
共用化粧材 L=1850		—	1	—	—	—	—
共用化粧材 L=1550		—	—	—	—	1	—
位置出し用Lアングル L=82		2	2	2	2	2	2
調整金具取付裏板		—	4	—	—	4	—
18-① φ4×13サラピアスネジ		28	28	28	24	24	24
18-② φ4×13ナベピアスネジ ※		28	28	18	28	28	14
18-③ φ4×13ナベピアスネジ		4	4	4	4	4	2
18-④ φ4×13ナベピアスネジ		8	8	8	8	8	8
18-⑤ φ4×13トラスピアスネジ		—	7	—	—	6	—

※中間柱標準用と中間柱門扉取付用には、予備が4本入っています。

⑨ナチュラルスタイル化粧材セット

名 称	略 図	員 数					
		標準・ロング柱			中間柱		
		標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用	標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用
前面部化粧材 L=1700		2	1	2	—	—	—
前面部化粧材 L=1400		—	—	—	2	1	2
化粧パネル受け L=1700		2	2	1	—	—	—
化粧パネル受け L=1400		—	—	—	2	2	1
化粧パネル受け L=345		—	—	1	—	—	—
側面部化粧材 L=1700		2	2	1	—	—	—
側面部化粧材 L=1400		—	—	—	2	2	1
側面部化粧材 L=345		—	—	1	—	—	—
隙間埋め材 L=1700		4	4	2	—	—	—
隙間埋め材 L=1400		—	—	—	4	4	2
隙間埋め材 L=345		—	—	2	—	—	—
門扉固定用部材 L=1700		—	1	—	—	—	—
門扉固定用部材 L=1400		—	—	—	—	1	—
共用化粧材 L=1700		—	1	—	—	—	—
共用化粧材 L=1400		—	—	—	—	1	—
位置出し用Lアングル L=82		2	2	2	2	2	2
調整金具取付裏板		—	4	—	—	4	—

## ■ 梱包明細表 つづき

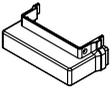
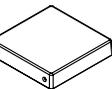
### 19 つづき

名 称	略 図	員 数					
		標準・ロング柱			中間柱		
		標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用	標準用	門扉取付用	ファンクション 連結柱用
19-① φ4×13サラピアスネジ		28	28	28	24	24	24
19-② φ4×13ナベピアスネジ ※1		28	28	18	28	28	14
19-③ φ4×8トラスタッピンネジ3種 ※2		4	4	4	4	4	2
19-④ φ4×13ナベピアスネジ		8	8	8	8	8	8
19-⑤ φ4×13トラスピアスネジ		—	7	—	—	6	—
19-⑥ φ4×25トラスピアスネジ		24	24	16	20	20	10

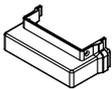
※1 中間柱標準用と中間柱門扉取付用には、予備が4本入っています。

※2 標準用・ロング柱ファンクション連結柱用には、予備が1本入っています。

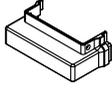
### 20 スタンダードスタイル用柱キャップ

名 称	略 図	員 数	
		標準・ロング柱用	中間柱用
スタンダードスタイル用 柱キャップ 標準・ロング柱用		2	—
スタンダードスタイル用 柱キャップ 中間柱用		—	1
20-① φ4×16サラピアスネジ		4	4

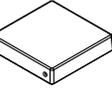
### 21 アーキモダン 木調スタイル用柱キャップ

名 称	略 図	員 数	
		標準・ロング柱用	中間柱用
スタンダードスタイル用 柱キャップ 標準・ロング柱用		2	—
スタンダードスタイル用 柱キャップ 中間柱用		—	1
21-① φ4×16サラピアスネジ		4	4

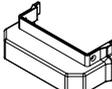
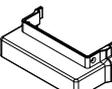
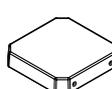
### 22 ナチュラル・スタンダードスタイル用柱キャップ

名 称	略 図	員 数	
		標準・ロング柱用	中間柱用
スタンダードスタイル用 柱キャップ 標準・ロング柱用		2	—

### 22 つづき

名 称	略 図	員 数	
		標準・ロング柱用	中間柱用
スタンダードスタイル用 柱キャップ 中間柱用		—	1
22-① φ4×16サラピアスネジ		4	4

### 23 アーキモダンスタイル用柱キャップ

名 称	略 図	員 数			
		標準・ロング柱		中間柱	
		標準用	門扉取付用	標準用	門扉取付用
アーキモダンスタイル用柱キャップ 標準・ロング柱用		2	1	—	—
スタンダードスタイル用柱キャップ 標準・ロング柱用		—	1	—	—
アーキモダンスタイル用柱キャップ 中間柱・標準用		—	—	1	—
アーキモダンスタイル用柱キャップ 中間柱・門扉吊用		—	—	—	1
23-① φ4×16サラピアスネジ		4	4	4	4

24 ナチュラルスタイル用巾木

名 称	略 図	員 数	
		標準・ロング・中間柱用	
巾木		2	
24-① φ4×16サラピアスネジ		4	

25 ファンクションミニ連結柱セット

名 称	略 図	員 数			
		ナチュラルスタイル以外		ナチュラルスタイル専用	
		右	左	右	左
ファンクションミニ柱連結部材 L=1500		1	1	—	—
ファンクションミニ柱連結部材 L=1295		—	—	1	1
ファンクションミニ機能取付部パネル L=1500		1	1	—	—
ファンクションミニ機能取付部パネル L=1295		—	—	1	1
ファンクションミニ機能接続用受け柱 右		1	—	—	—
ファンクションミニ機能接続用受け柱 左		—	1	—	—
ナチュラルスタイルファンクションミニ機能接続用受け柱 右		—	—	1	—
ナチュラルスタイルファンクションミニ機能接続用受け柱 左		—	—	—	1
ファンクションミニ柱連結部キャップ		1	1	2	2
調整金具取付裏板		4	4	4	4
横型ポストプレート		1	1	1	1
ナットプレート		10	10	10	10
アンカー棒		1	1	1	1
ジョイントブロックミニ		2	2	2	2
25-① M4×16ナベ小ネジ		4	4	4	4
25-② φ4×13ナベピアスネジ		10	10	10	10
25-③ φ4×13トラスピアスネジ		10	10	10	10
25-④ φ4×25トラスタッピンネジ3種 ※		4	4	4	4
25-⑤ φ4×25トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
25-⑥ M4×8トラス小ネジ		6	6	6	6
25-⑦ M5×10ナベセムスネジ		2	2	2	2
25-⑧ M5六角ナット		2	2	2	2

※ナチュラルスタイル以外には、予備が2本入っています。

## ■梱包明細表 つづき

### 26 ファンクションスリム連結柱セット

名 称	略 図	員 数			
		ナチュラルスタイル以外		ナチュラルスタイル専用	
		右	左	右	左
ファンクションスリム柱連結部材 L=1500		1	1	—	—
ファンクションスリム柱連結部材 L=1295		—	—	1	1
ファンクションスリム機能取付部パネル 右 L=1500		1	—	—	—
ファンクションスリム機能取付部パネル 右 L=1295		—	—	1	—
ファンクションスリム機能取付部パネル 左 L=1500		—	1	—	—
ファンクションスリム機能取付部パネル 左 L=1295		—	—	—	1
ファンクションスリム機能接続用受け柱 右		1	—	1	—
ファンクションスリム機能接続用受け柱 左		—	1	—	1
ファンクションスリム柱連結側キャップ 右上		1	—	1	—
ファンクションスリム柱連結側キャップ 左上		—	1	—	1
ファンクションスリム柱連結側キャップ 右下		—	—	1	—
ファンクションスリム柱連結側キャップ 左下		—	—	—	1
調整金具取付裏板		4	4	4	4
26-① φ4×13ナベピアスネジ		10	10	10	10
26-② φ4×13トラスピアスネジ		10	10	10	10
26-③ φ4×25トラスタッピンネジ3種 ※		4	4	4	4

※ナチュラルスタイル以外には、予備が2本入っています。

**27スリムセンターブロックセット**

名 称	略 図	員 数
ファンクションスリムセンターブロック		1
センターブロックキャップ		1
縦型ポスト底板		1
ポスト固定プレート		2
PJ-5型用止水パッキン		1
アンカー棒		1
27-① φ4×10トラスタッピンネジ3種		4
27-② φ4×10トラスタッピンネジ3種		4
27-③ M5×10ナベセムスネジ		4
27-④ M5六角ナット		4
27-⑤ φ4×10トラスタッピンネジ3種		2
27-⑥ M5×10ナベセムスネジ		2
27-⑦ M5六角ナット		2
27-⑧ φ4×25トラスタッピンネジ3種		4
27-⑨ φ4×25トラス特殊タッピンネジ3種		2

**28センターブロックミニセット**

名 称	略 図	員 数	
		インターホン子機付	インターホン子機無
センターブロックミニ		1	—
センターブロックミニ		—	1
埋め込み型インターホン子機		1	—
28-① φ4×16サラタッピンネジ3種		4	—

**29縦型ポストセット**

名 称	略 図	員 数
ポスト本体		1

**30横型ポストセット**

名 称	略 図	員 数
ポスト本体		1

**31スリム用サイン**

名 称	略 図	員 数	
		サインA	サインB
サインA本体		1	—
サインB本体		—	1
サイン取付金具		2	2
サイン用ネームシールシート		1	1
31-① φ4×12トラスタッピンネジ		4	4
31-② φ4×12トラスタッピンネジ		4	4

**32ミニ用サイン**

名 称	略 図	員 数	
		サインC	ステンレスサイン
サインC本体		1	—
ステンレスサイン本体		—	1
サイン用ネームシールシート		1	1
32-① φ4×12トラスタッピンネジ		4	—
32-② φ4×10トラスタッピンネジ		—	2

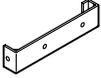
**33井桁パネルセット**
**オプション**

名 称	略 図	員 数	
		スリム	ミニ
スリム用井桁パネル本体		1	—
ミニ用井桁パネル本体		—	1
井桁パネル取付金具		4	4

## ■梱包明細表 つづき

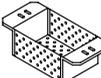
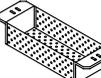
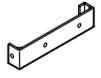
### 33 つづき

#### オプション

名 称	略 図	員 数	
		スリム	ミニ
オプション取付金具		4	—
ナットプレート		—	4
33-① M4×6トラス小ネジ		8	—
33-② M4×8トラス小ネジ		—	8
33-③ φ4×25トラスタッピンネジ		4	—
33-④ M4×8トラス小ネジ		—	4

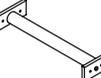
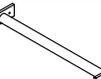
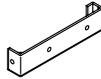
### 34 プランターポットセット

#### オプション

名 称	略 図	員 数	
		スリム	ミニ
スリム用プランターポット本体		1	—
ミニ用プランターポット本体		—	1
機能門柱取付金具		2	2
オプション取付金具		2	—
ナットプレート		—	4
34-① M4×12トラス小ネジ		4	—
34-② M4×16ナベ小ネジ		—	4
34-③ M4×10トラス小ネジ		4	4
34-④ φ4×25トラスタッピンネジ		2	—

### 35 プランターハンガーセット

#### オプション

名 称	略 図	員 数	
		スリム	ミニ
スリム用プランターハンガー本体		1	—
ミニ用プランターハンガー本体		—	1
オプション取付金具		2	—
ナットプレート		—	4
35-① M4×6トラス小ネジ		4	—
35-② φ4×25トラスタッピンネジ		2	—
35-③ M4×8トラス小ネジ		—	4

### 36 パンチングパネルセット

#### オプション

名 称	略 図	員 数
パンチングパネル本体		1
井桁パネル取付金具		4
ナットプレート		4
36-① M4×8トラス小ネジ		4
36-② M4×8トラス小ネジ		4

### 37 フェンス・パネル連結部品セット

#### オプション

名 称	略 図	員 数
フェンス・パネル連結部品 右		2
フェンス・パネル連結部品 左		2
37-① φ4×13トラスピアスネジ		8
37-② φ4×25トラスピアスネジ		8
37-③ M5×10バインド小ネジ		4

### 38 タイル下地セット

#### オプション

名 称	略 図	員 数
タイル下地		1
クッション材		1
38-① φ4×16サラピアスネジ		3

**39** ロールスクリーンW2000セット

**オプション**

名 称	略 図	員 数
ロールスクリーン本体		1
ロールスクリーン取付金具		2
ボトム固定金具		4
ボトム固定ベルト		2
39-① M8×16四角ボルト		4
39-② M8×18六角ボルト		2
39-③ M8用袋ナット		6
39-④ M8用平座金		8
39-⑤ M8用バネ座金		6
39-⑥ M4×19ナベテクスネジ		4
取扱説明書	—	1

**40** フック棒セット

**オプション**

名 称	略 図	員 数
フック棒		1
フック棒掛け		1
40-① φ3×20ナベタッピンネジ1種		4
40-② φ3×20ナベタッピンネジ3種		2

**41** パーゴラセット

**オプション**

名 称	略 図	員 数
パーゴラ棧		5

**42** パーゴラ取付部品セット

**オプション**

名 称	略 図	員 数
パーゴラ取付金具		10
裏板		20
42-① M5×12トラス小ネジPW+SW		20
42-② φ4×30トラスタッピンネジ(G=5)		20

**43** 調整金具Hセット

名 称	略 図	員 数
調整金具H 上		1
調整金具H 下		1
樹脂ワッシャー		2
43-① M5×12トラス小ネジ		8

# INDEX

<b>1 基本寸法と各部の名称</b> .....	20
1. 各部の名称 .....	20
2. 基本寸法 .....	23
<b>2 基本の施工方法</b> .....	29
1. 基礎の施工と配線工事 .....	29
2. 柱化粧材の取付け .....	31
3. 調整金具の取付け .....	52
4. 柱キャップの取付け .....	53
5. サインの取付け .....	54
6. 照明の取付けおよび配線 .....	55
7. インターホン子機の取付けおよび配線 .....	57
8. 井桁パネル・パンチングパネルの取付け <b>オプション</b> .....	58
9. プランターポットの取付け <b>オプション</b> .....	60
10. プランターハンガーの取付け <b>オプション</b> .....	61
11. ネームシールの貼り方 .....	62
12. 両支持柱と梁の取付け .....	63
13. 両支持柱と中間柱の施工 .....	64
14. 片支持柱と中間柱の施工 .....	65
15. ブラケットの取付け .....	66
16. 片支持柱と梁の取付け .....	67
17. 巾木の取付け .....	68
18. 桁の取付け .....	69
19. 端部アーチ・中間アーチの取付け .....	71
20. 中骨の取付け .....	72
21. 屋根パネルの取付け .....	72
22. 横樋の取付け .....	74
23. 縦樋の取付け .....	76
24. 桁キャップの取付け .....	77
25. 注意シールの貼付け .....	77
<b>3 縦連棟の施工方法</b> .....	78
1. 基礎の施工 .....	78
2. 桁の連結 .....	79
3. 連棟部分の組付け .....	80
<b>4 M合掌の施工方法</b> .....	81
1. 梁連結材の取付け .....	81
2. M合掌棟木の取付け .....	82
3. M合掌キャップの取付け .....	82
4. 縦連棟M合掌の場合の施工 .....	83

<b>5</b>	<b>フェンス・パネルの取付け</b> .....	<b>84</b>
	1. フェンス・パネルの取付け <b>オプション</b> .....	84
<b>6</b>	<b>パーゴラの取付け</b> .....	<b>85</b>
	1. パーゴラの取付けピッチ <b>オプション</b> .....	85
	2. パーゴラの取付け <b>オプション</b> .....	86
<b>7</b>	<b>ロールスクリーンの取付け</b> .....	<b>87</b>
	1. ロールスクリーンW2000の取付け <b>オプション</b> .....	87
<b>8</b>	<b>タイル下地の取付け</b> .....	<b>90</b>
	1. タイル下地の取付け <b>オプション</b> .....	90

# 1 基本寸法と各部の名称

## 1. 各部の名称

### (1) 4本柱仕様

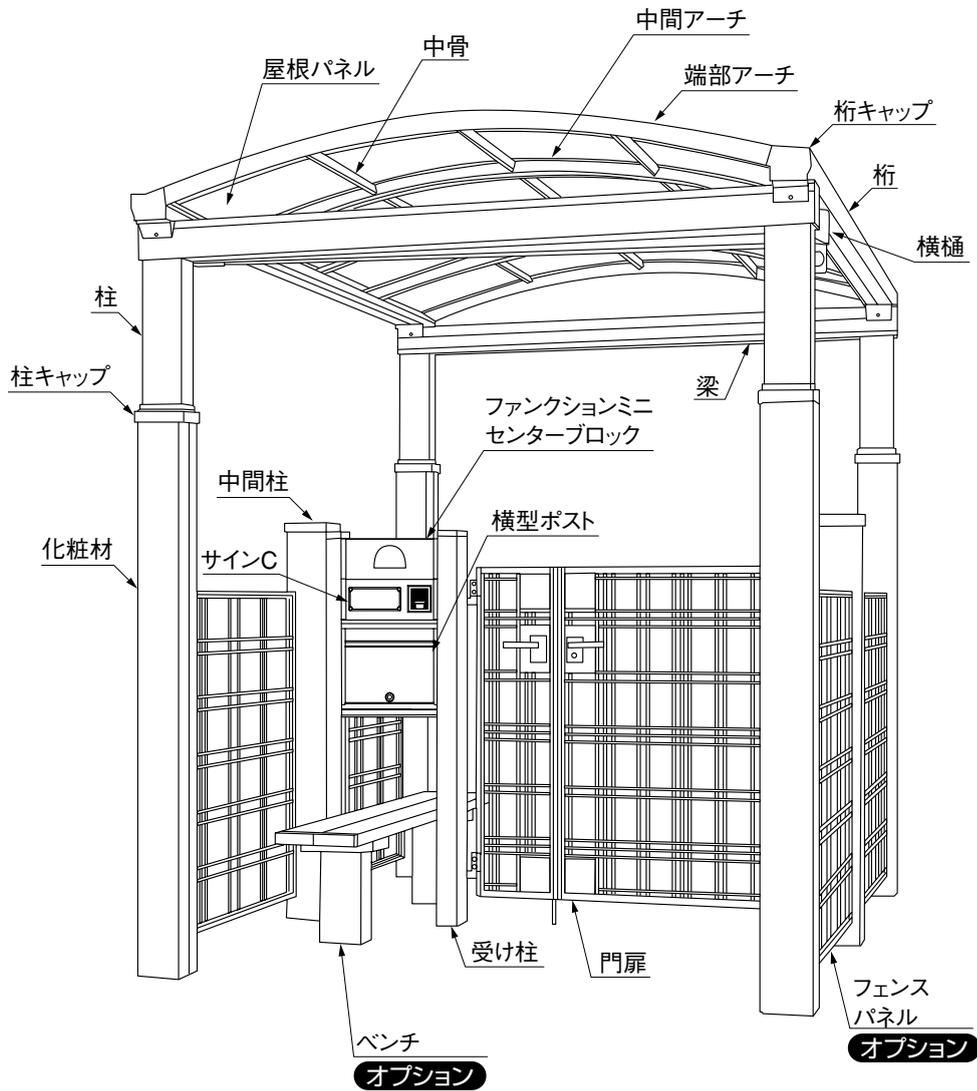


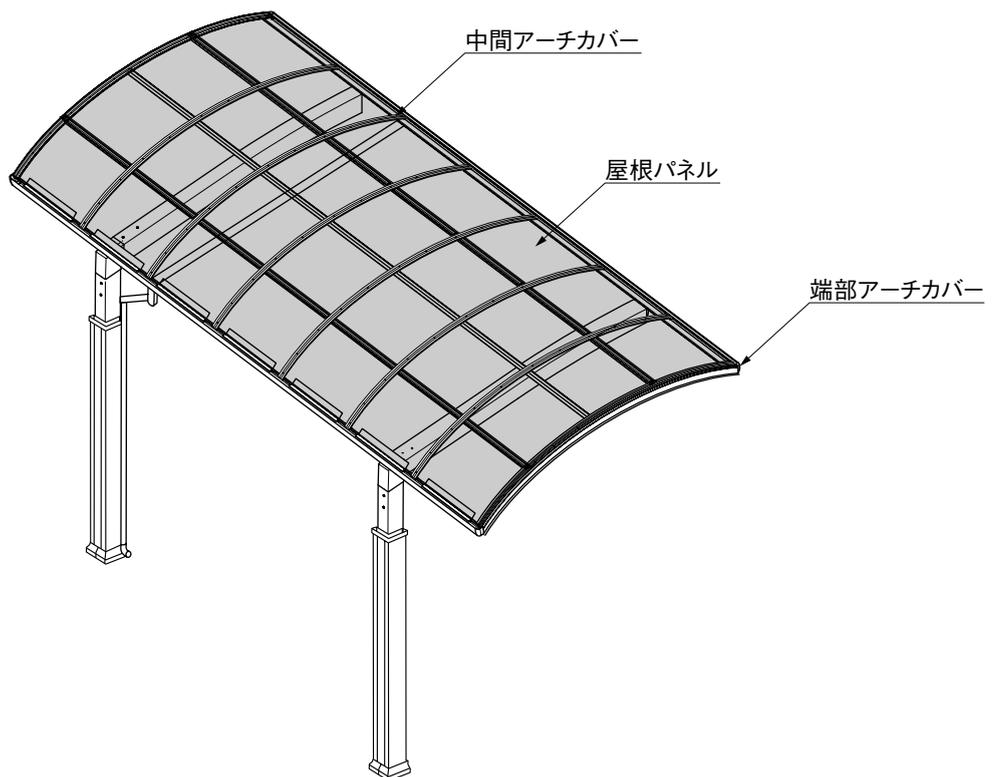
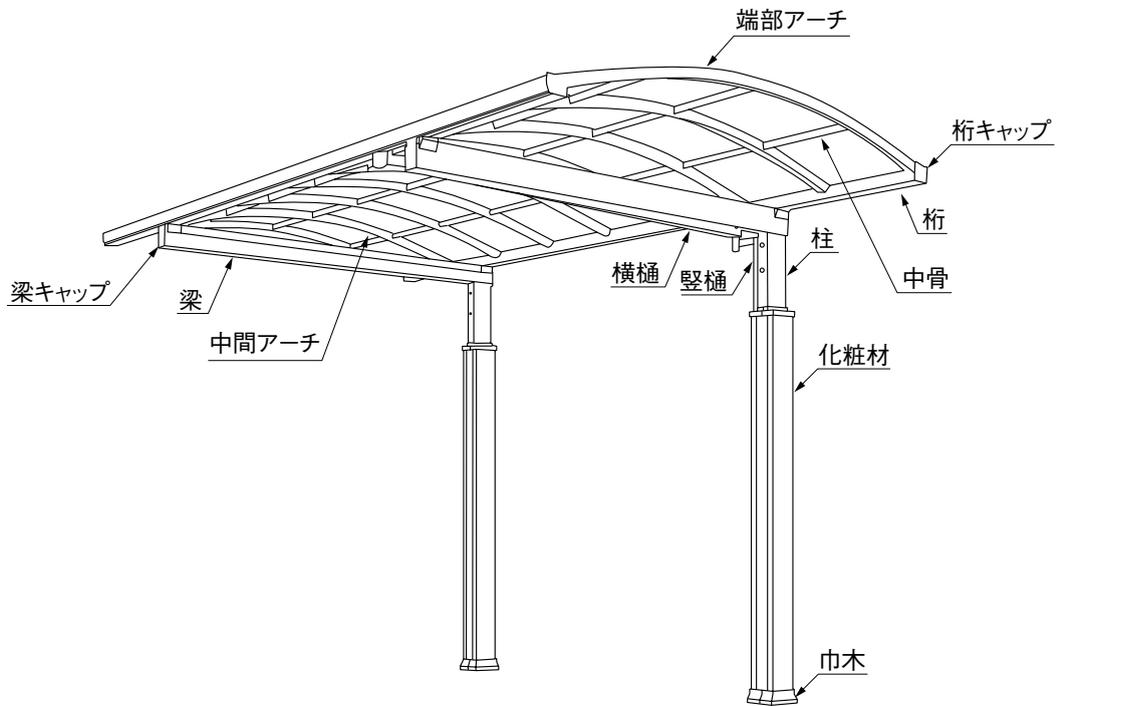
図1-1 ファンクションミニ仕様



図1-2 ファンクションスリム仕様

# 1. つづき

## (2) 2本柱仕様

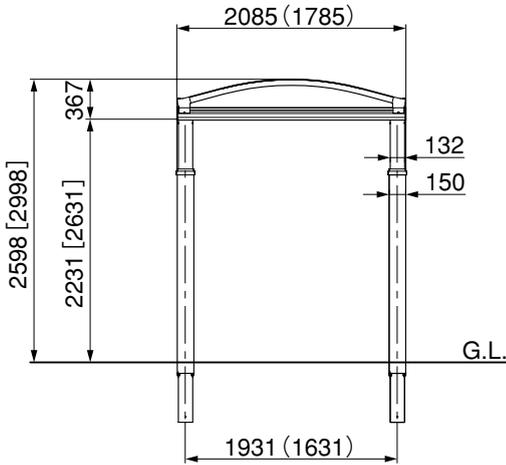


1 基本寸法と各部の名称

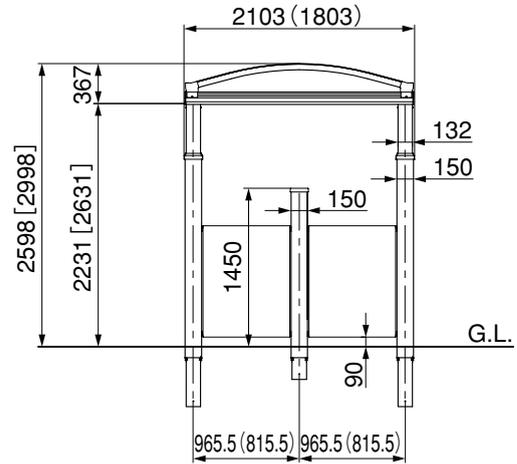
## 2. 基本寸法 ※図はスタンダードスタイルの場合です。

2-1 正面図 ※( )内寸法は18型、[ ]内寸法はロング柱の場合です。

(1) アルコーブ仕様



(2) フェンス仕様



(3) ゲート仕様

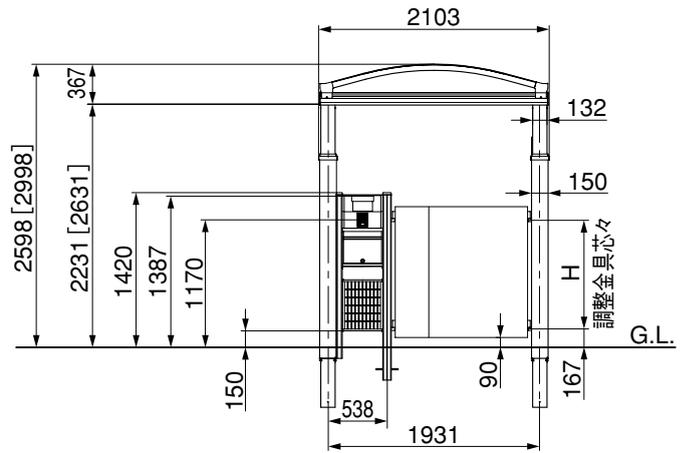
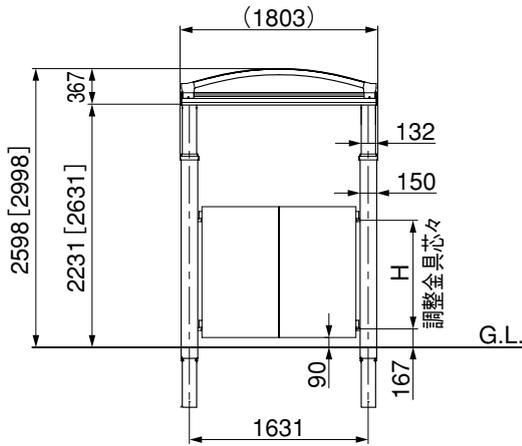


図2-1 門扉

図2-2 門扉+ファンクションミニ

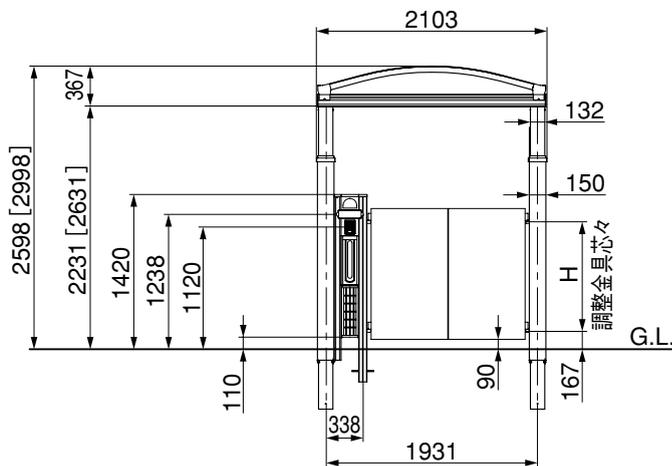


図2-3 門扉+ファンクションスリム

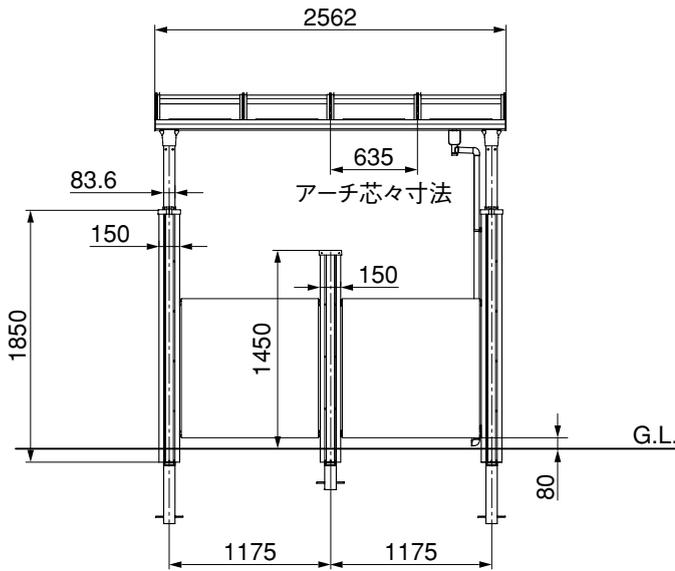
表2-1

呼称	H	10	12
コラゾン		600	800
他門扉		800	1000

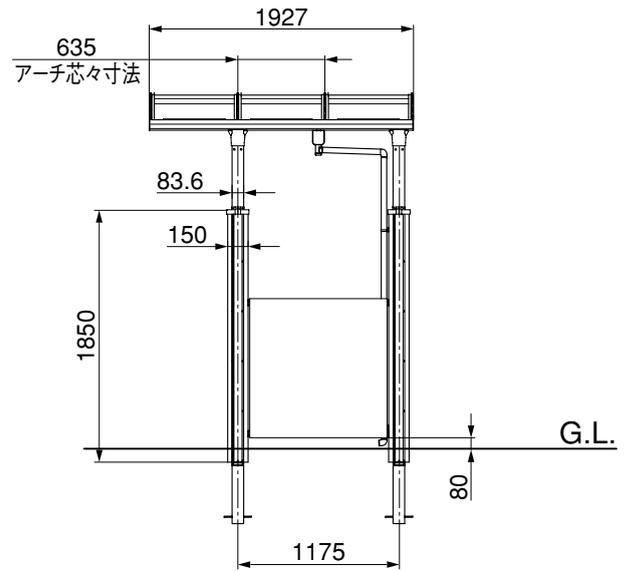
# 2. つづき

## 2-2 側面図

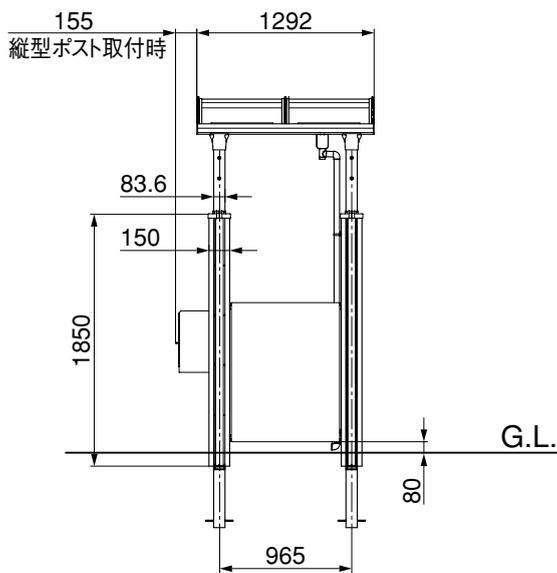
(1) 25型



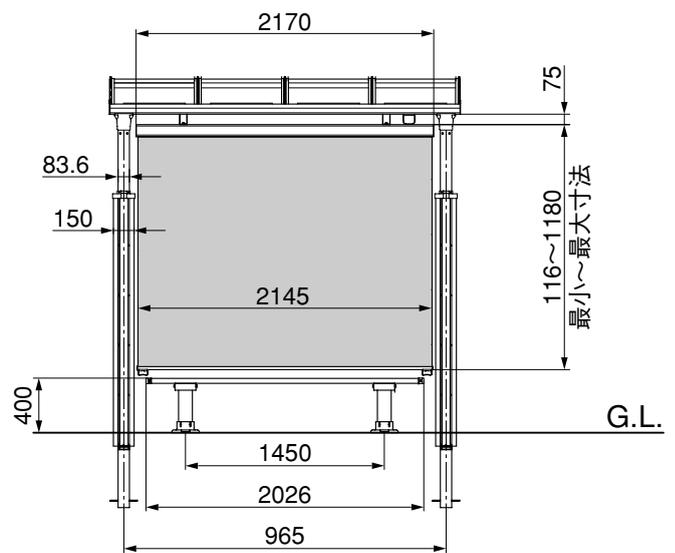
(2) 20型



(3) 13型



(4) ロールスクリーン **オプション** + ベンチ **オプション**



1  
基本寸法と  
各部の名称

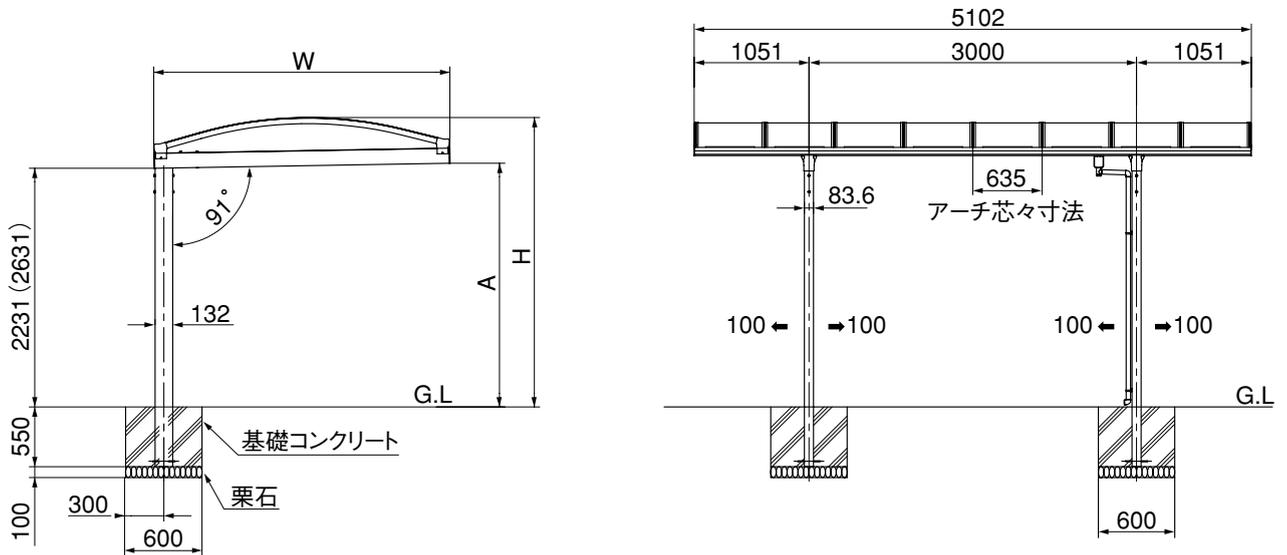
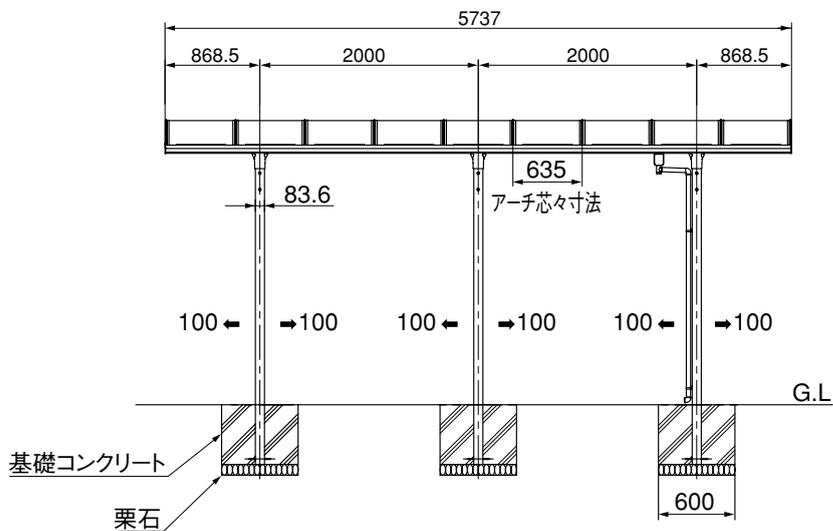
**2-3 奥行き51タイプ** ※図はベーシックスタイル標準仕様を示します。( )内はロング柱仕様を示します。


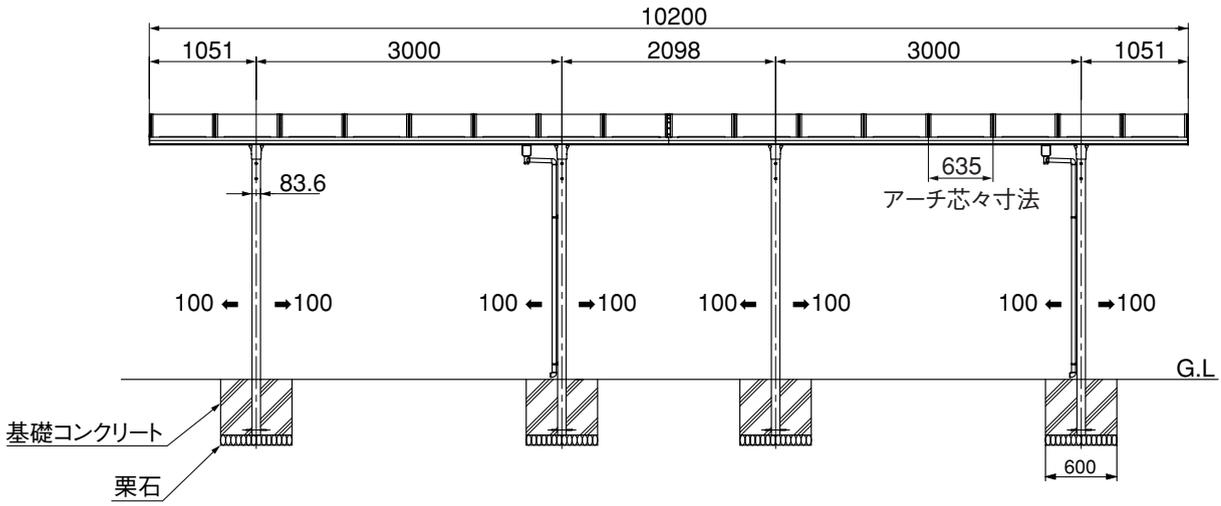
表2-1

サイズ	W	A	H
18	1787	2257 (2657)	2577 (2977)
21	2087	2263 (2663)	2620 (3020)

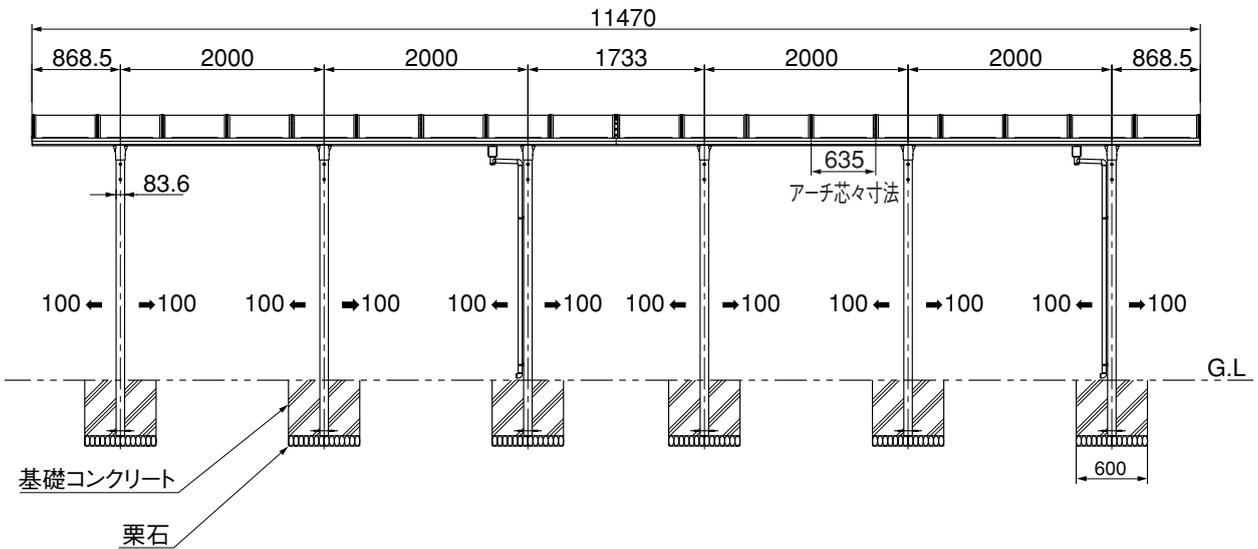
**2-4 奥行き57タイプ**


## 2. つづき

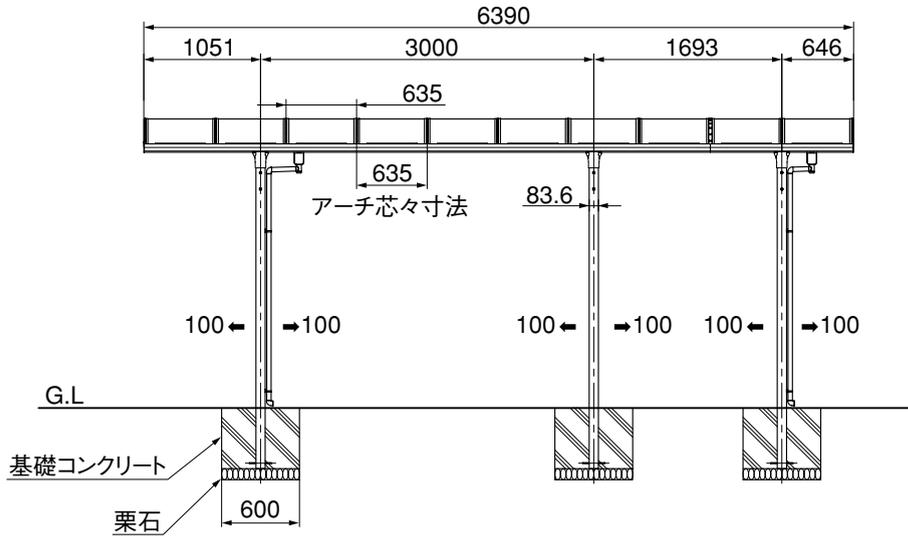
### 2-5 奥行き51縦連棟タイプ



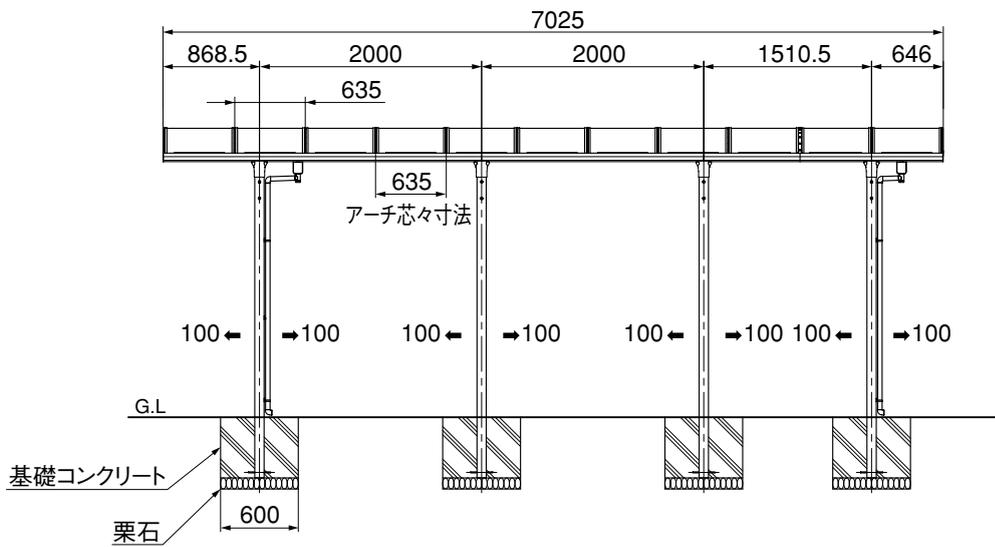
### 2-6 奥行き57縦連棟タイプ



2-7 奥行き51+13延長タイプ



2-8 奥行き57+13延長タイプ



## 2. つづき

2-9 M合掌 ※図はベーシックスタイル標準仕様を示します。( )内はロング柱仕様を示します。

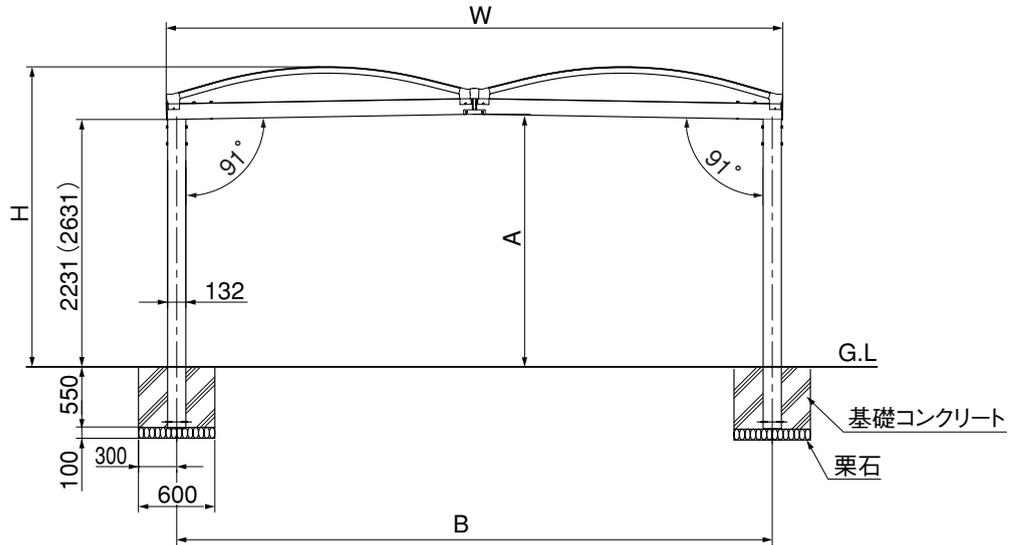


表2-2

サイズ	W	A	H	B
18・18	3593	2257 (2657)	2577 (2977)	3439
21・21	4193	2263 (2663)	2620 (3020)	4039

2-10 ナチュラルスタイル、アーキモダンスタイル、スタンダードスタイルの納まり

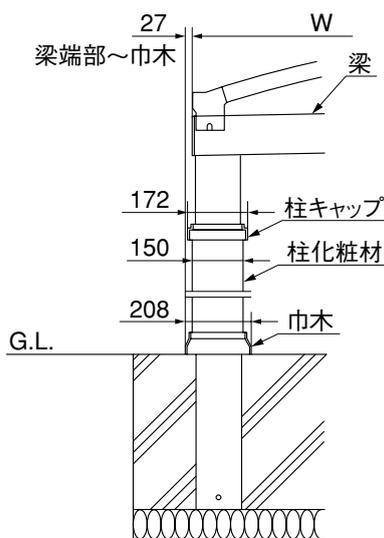


図2-4 ナチュラルスタイルの場合

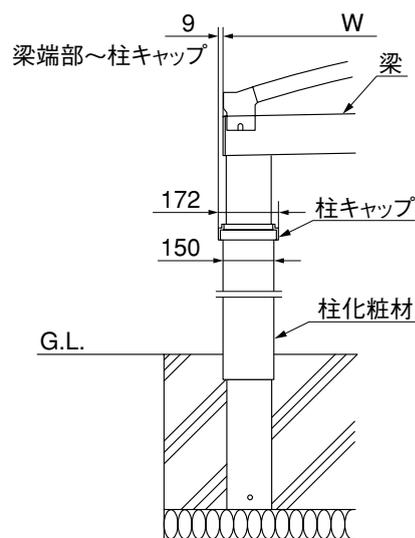


図2-5 アーキモダンスタイル・スタンダードスタイルの場合

### ポイント

- 隣地境界際に施工する場合、梁端部から飛び出す寸法を考慮してください。

## 2 基本の施工方法

### 1. 基礎の施工と配線工事

1-1 基礎の施工 ※( )内寸法は18型の場合です。

#### (1) 4本柱仕様

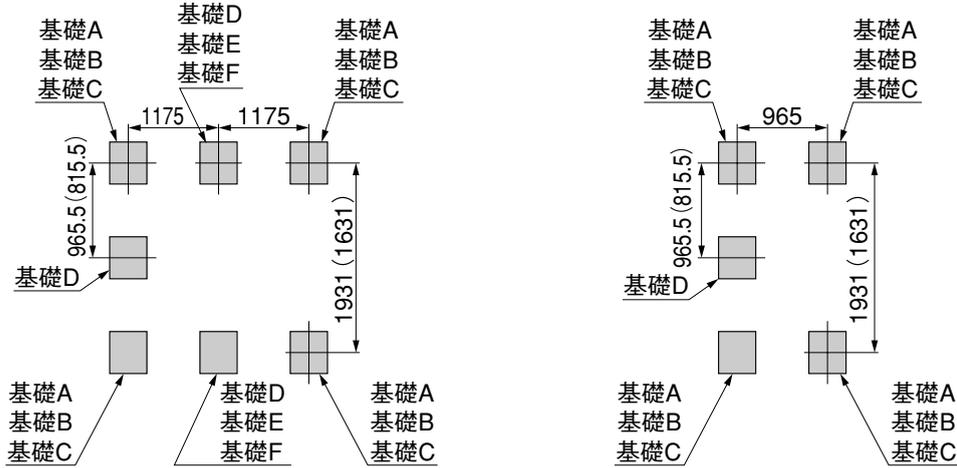


表1-1

	仕様
基礎A	標準柱・ロング柱
基礎B	標準柱・ロング柱+ファンクションミニ
基礎C	標準柱・ロング柱+ファンクションスリム
基礎D	中間柱
基礎E	中間柱+ファンクションミニ
基礎F	中間柱+ファンクションスリム

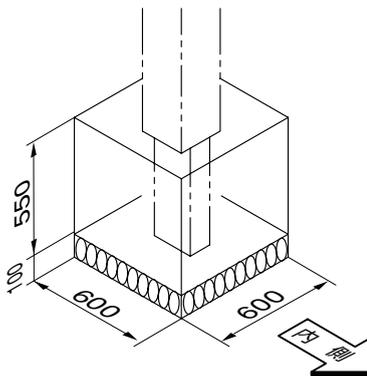


図1-1 基礎A

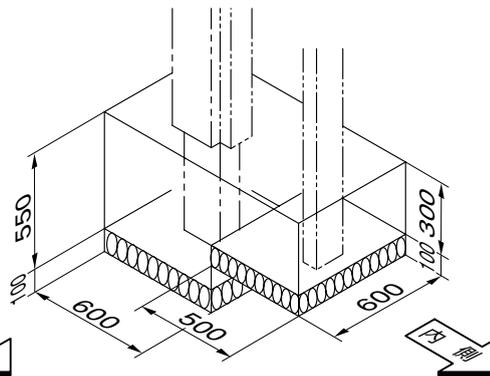


図1-2 基礎B

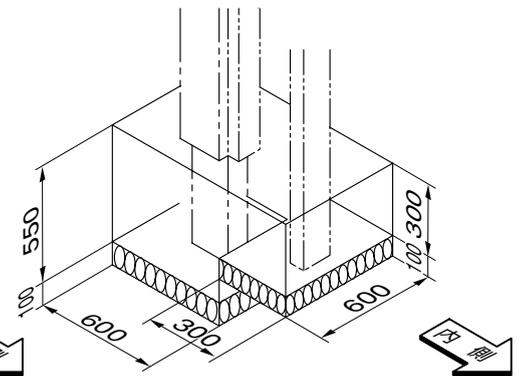


図1-3 基礎C

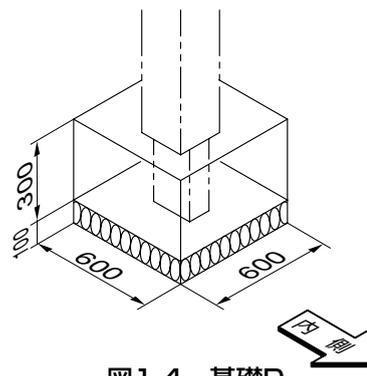


図1-4 基礎D

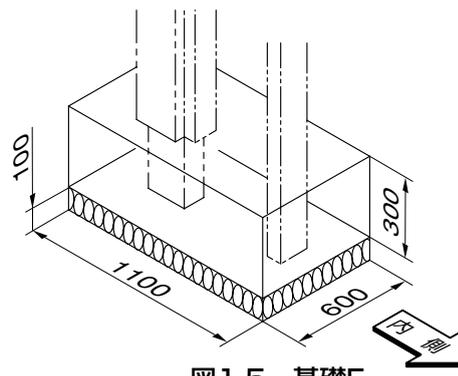


図1-5 基礎E

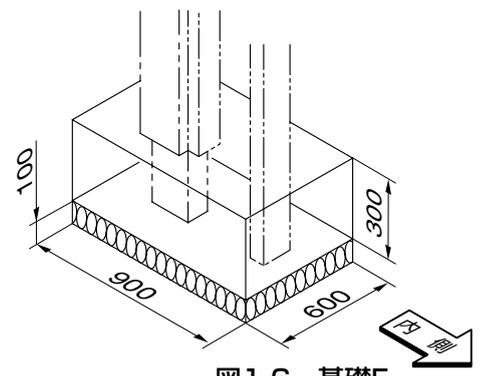


図1-6 基礎F

# 1. つづき

## (2) 2本柱仕様

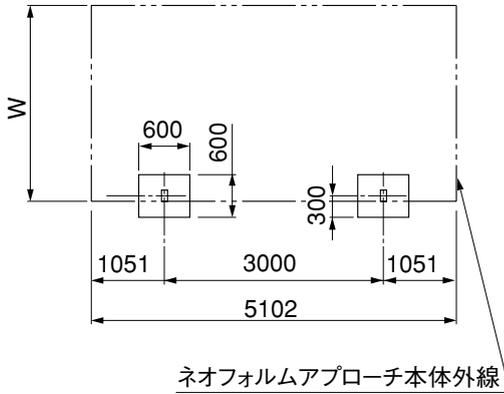


図1-1 51サイズ

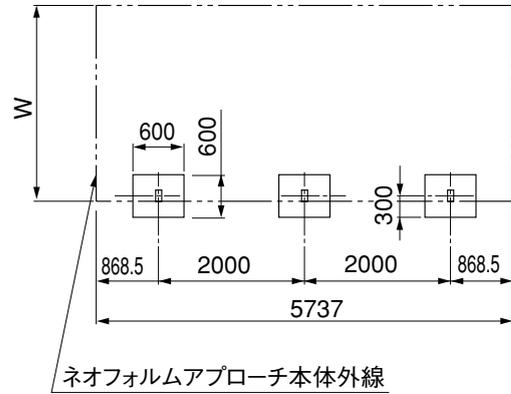


図1-2 57サイズ

表1-2

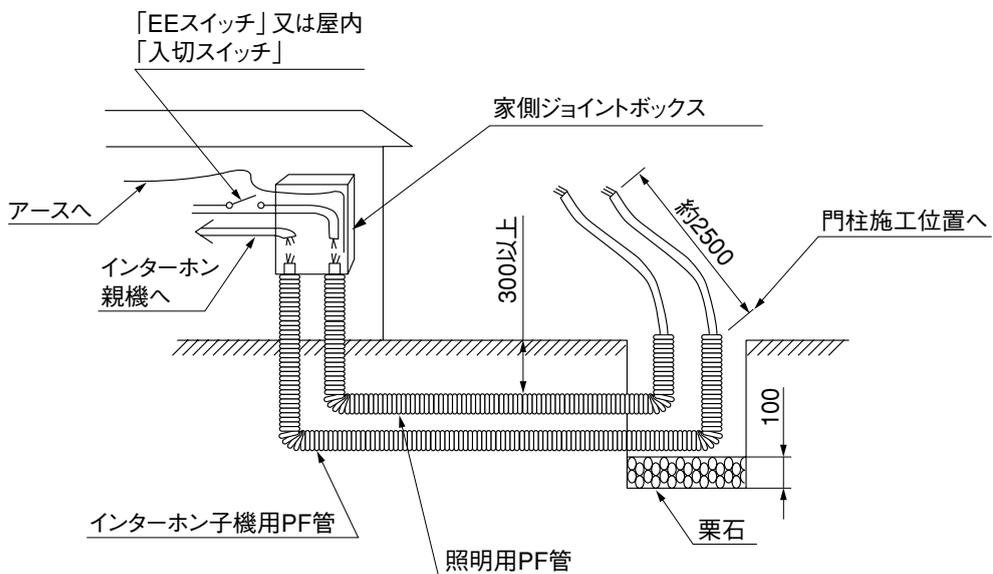
サイズ呼称	W
18	1787
21	2087

① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

**補足**

- 柱の移動は±100mm以内です。

## 1-2 配線工事



① 照明およびインターホン子機用の配管、配線をしてください。

## 2. 柱化粧材の取付け

※スタンダードスタイルの場合です。その他のスタイルも同様の作業です。

### 2-1 化粧材取付け位置の確認

#### (1) 標準柱・ロング柱

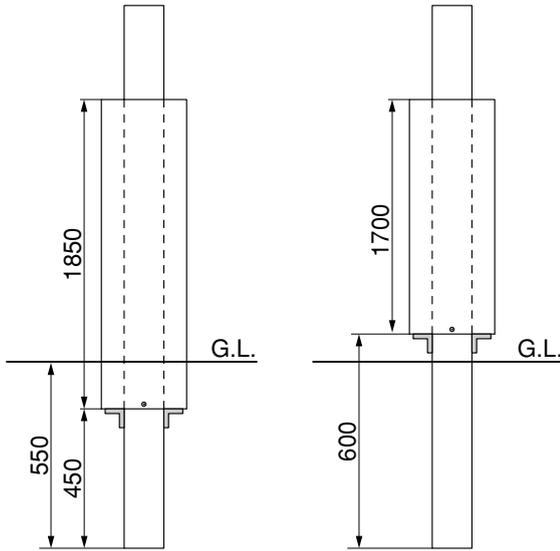


図2-1 ナチュラルスタイル以外

図2-2 ナチュラルスタイル

#### (2) 中間柱

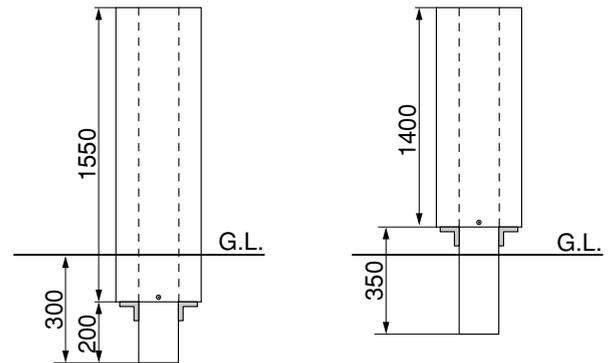
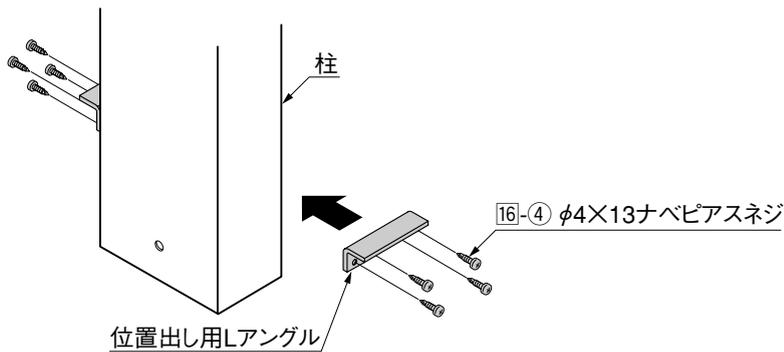


図2-3 ナチュラルスタイル以外

図2-4 ナチュラルスタイル

❶ 図を参照して、化粧材取付け位置を確認してください。

### 2-2 標準化粧材の取付け



位置出し用Lアングル

16-④ φ4×13ナベピアスネジ

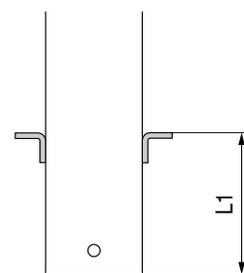


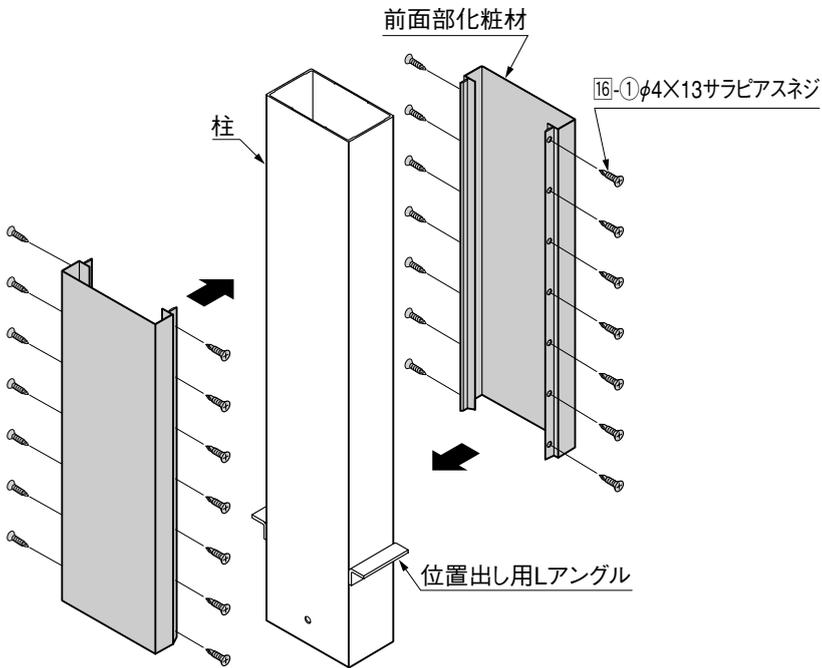
図2-5

表2-1 化粧材取付寸法

	L1	
	ナチュラルスタイル以外	ナチュラルスタイル
標準ロング柱	450	600
中間柱	200	350

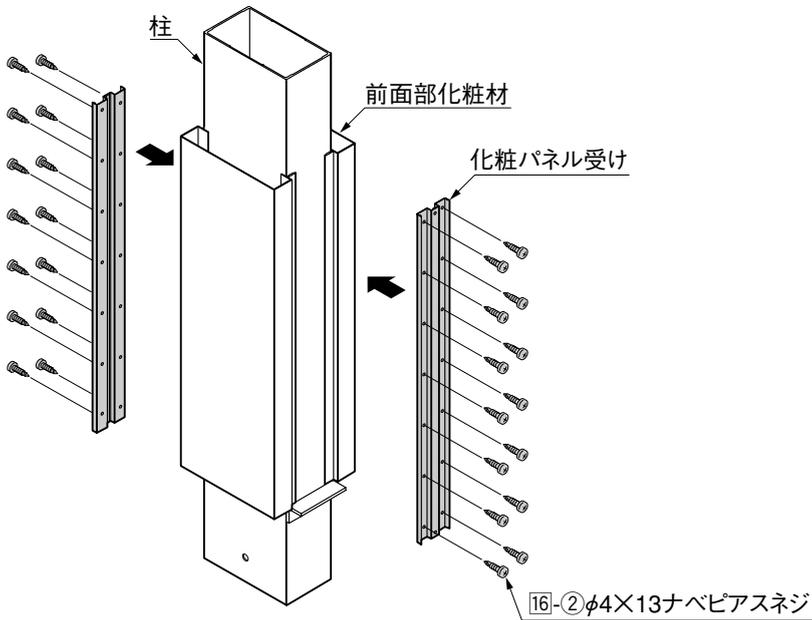
❶ 図2-5を参照して、柱に位置出し用Lアングルを16-④で固定してください。

## 2. つづき



### ポイント

- 前面部化粧材の固定にはサラ加工が施してある孔を使用してください。
- ② 位置出し用Lアングルの上に前面部化粧材を乗せて、16-①で固定してください。



- ③ 化粧パネル受けと柱のセンター線をあわせて、16-②で固定してください。

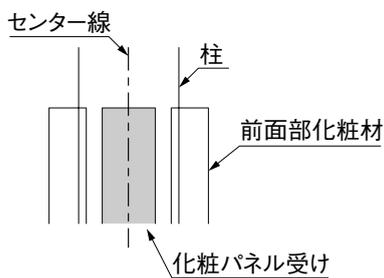
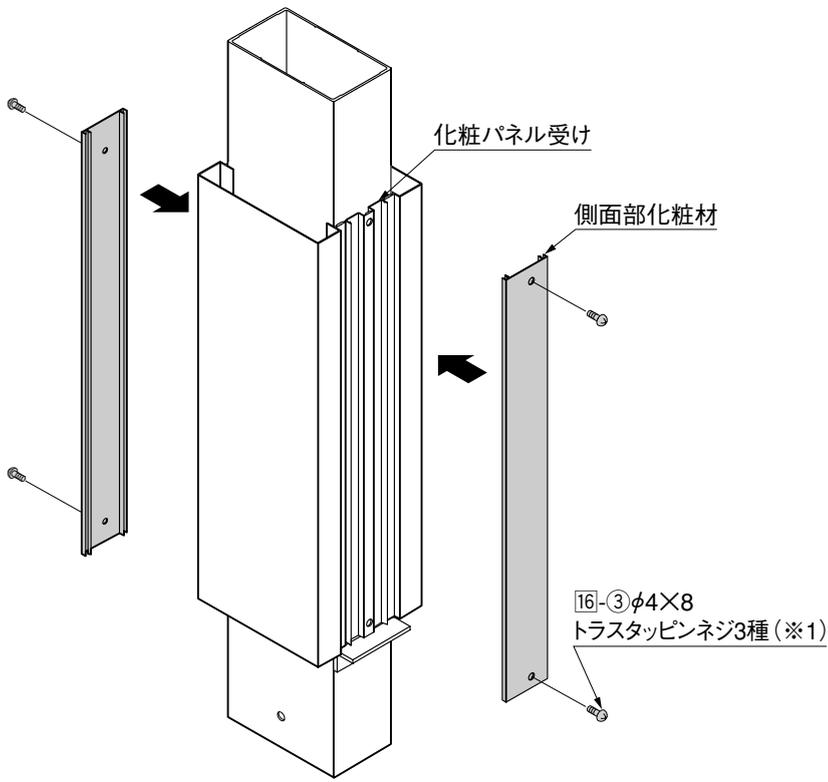


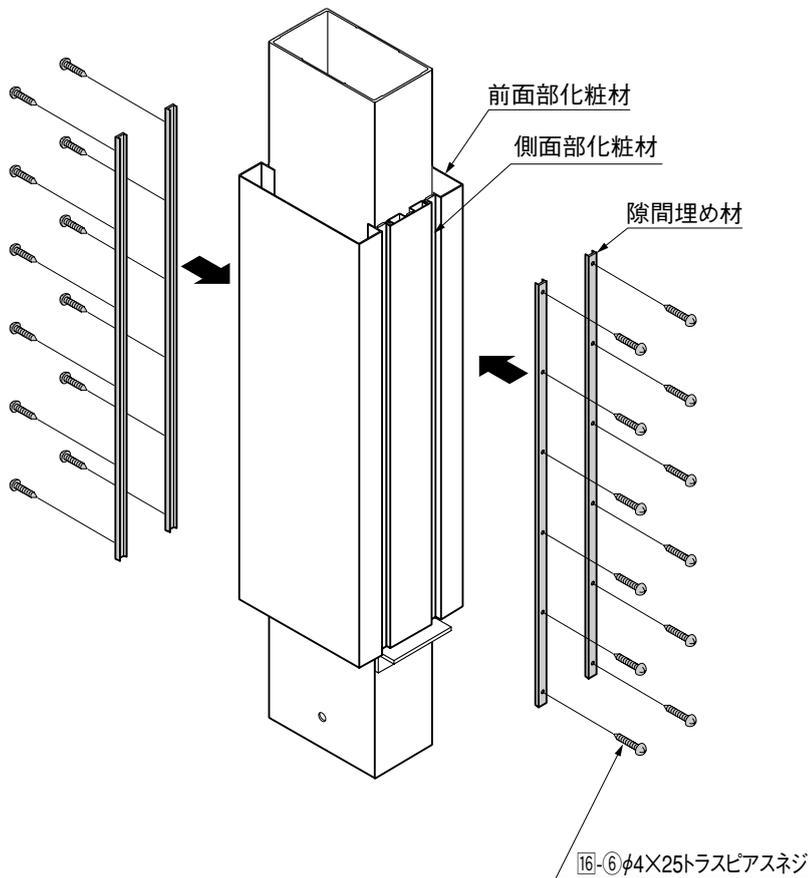
図2-6



- ④ 側面部化粧材を化粧パネル受けに叩き込むようにはめ込み、16-3で固定してください。

**ポイント**

- アーキモダスタイルの場合は、18-3を使用して取付けてください。(※1)



- ⑤ スタンダードスタイルおよびナチュラルスタイルの場合は、前面部化粧材と側面部化粧材の間に隙間埋め材を16-6で固定してください。

## 2. つづき

### 2-3 門扉取付用化粧材の取付け

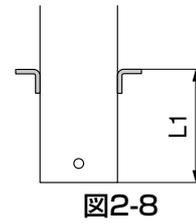
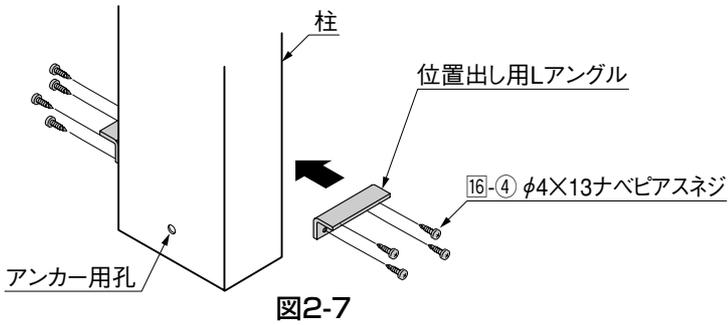
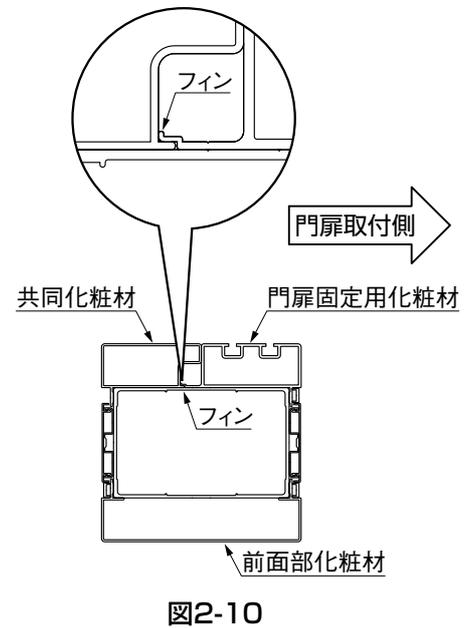
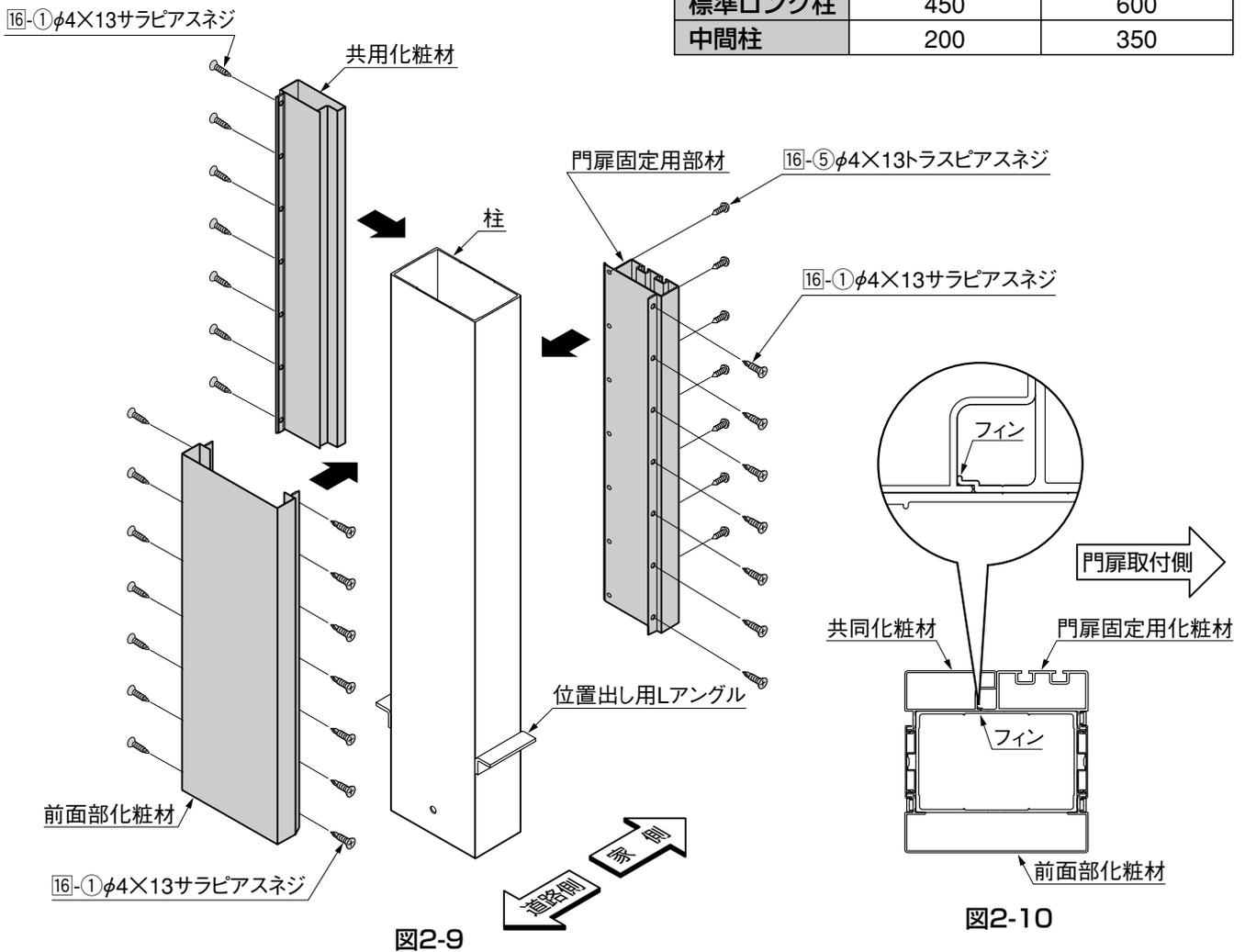


表2-2

	L1	
	ナチュラルスタイル以外	ナチュラルスタイル
標準ロング柱	450	600
中間柱	200	350



- 1 図2-8を参照して、柱に位置出し用Lアングルを16-4で固定してください。
- 2 位置出し用Lアングルの上に前面部化粧材を乗せて、16-1で固定してください。(図2-7参照)
- 3 門扉を取付ける方向に門扉固定用部材を16-1、16-5で固定してください。(図2-9参照)
- 4 図2-10のように、門扉固定用部材のフィンの部分に共用化粧材のフィンを差し込んだ後、16-1で固定してください。

#### ポイント

- 16-1で固定する際は、サラ加工が施してある孔を使用してください。(図2-9参照)

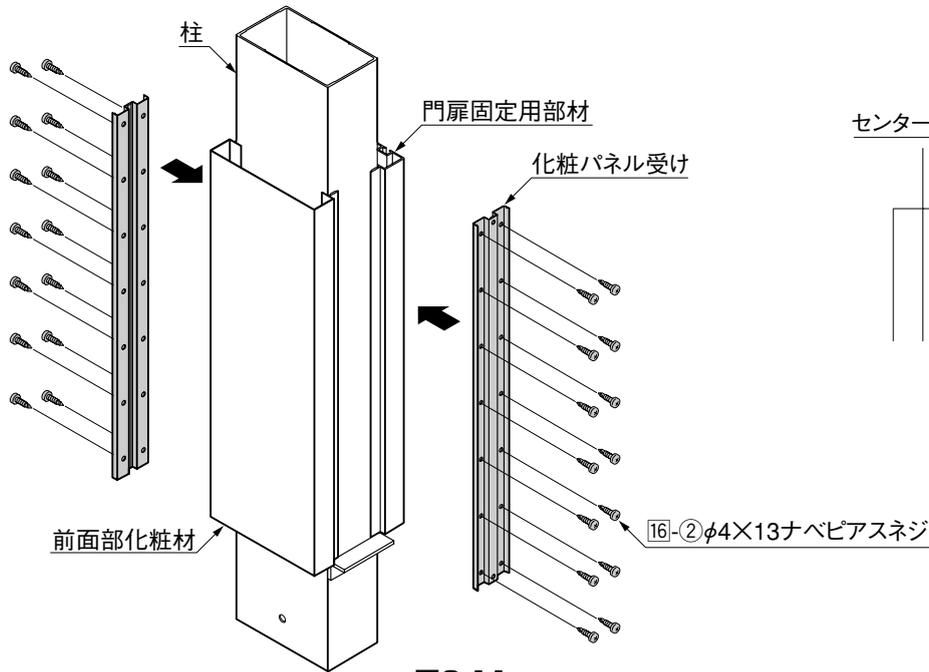


図2-11

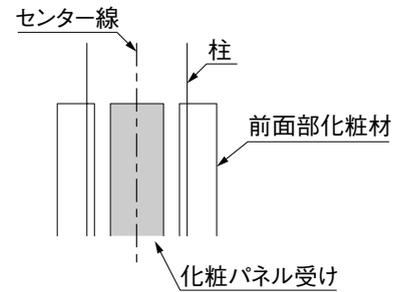


図2-12

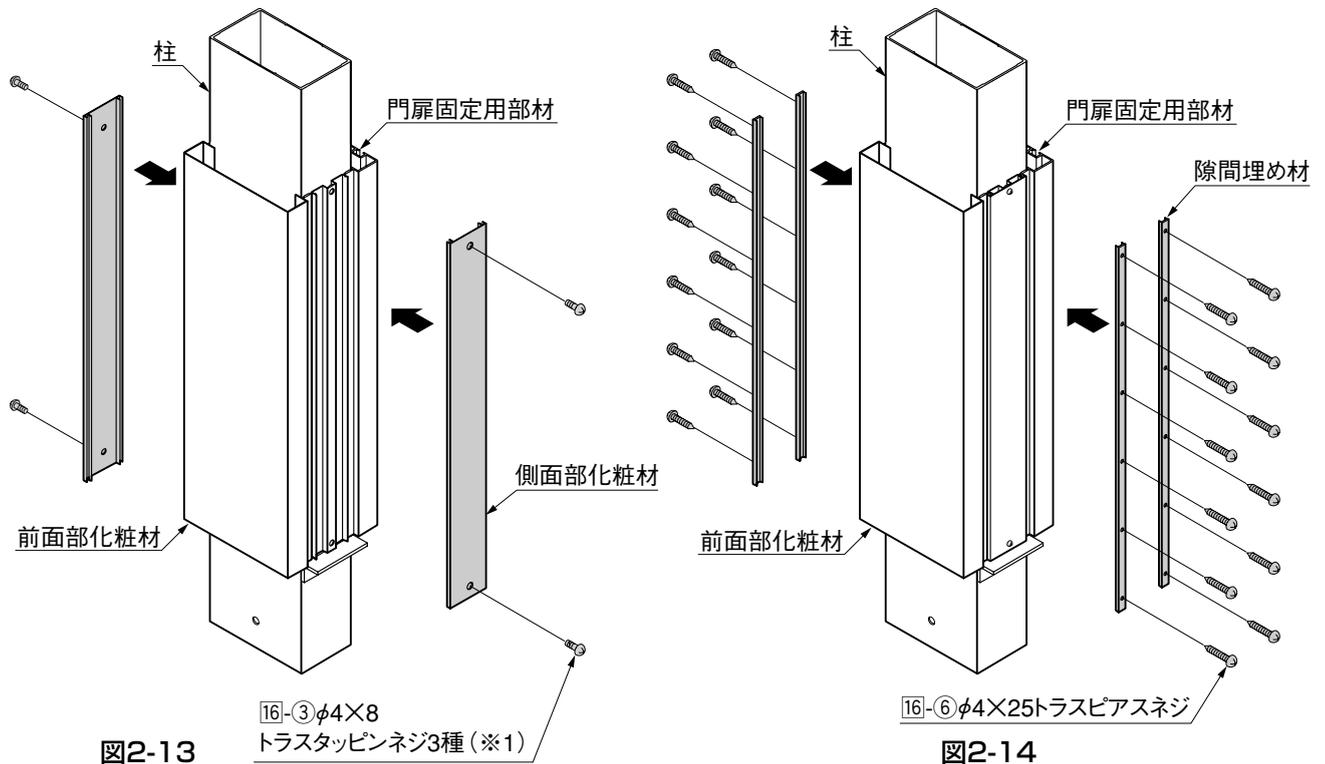


図2-13

図2-14

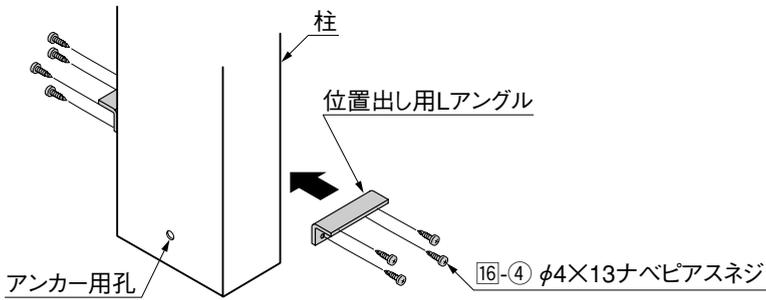
- ⑤ 化粧パネル受けと柱のセンター線をあわせて、16-②で固定してください。(図2-11参照)
- ⑥ 側面部化粧材を化粧パネル受けに叩き込むようにはめ込み、16-③で固定してください。(図2-13参照)

### ポイント

- アーキモダスタイルの場合は、18-③を使用して取付けてください。(※1)
- ⑦ スタンダードスタイルおよびナチュラルスタイルの場合は、前面部化粧材と側面部化粧材の間に隙間埋め材を16-⑥で固定してください。(図2-14参照)

## 2. つづき

### 2-4 ファンクションミニ連結用化粧材の取付け

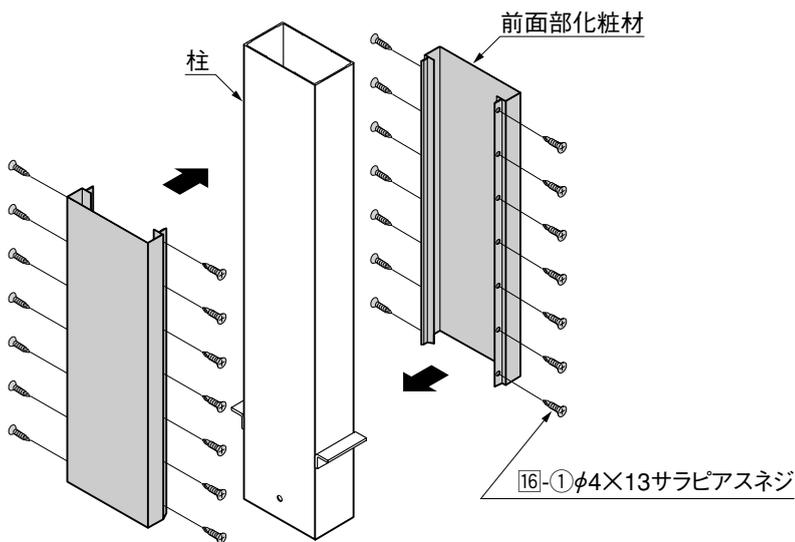


- 1 図2-15を参照して、柱に位置出し用Lアングルを16-4で固定してください。

表2-3

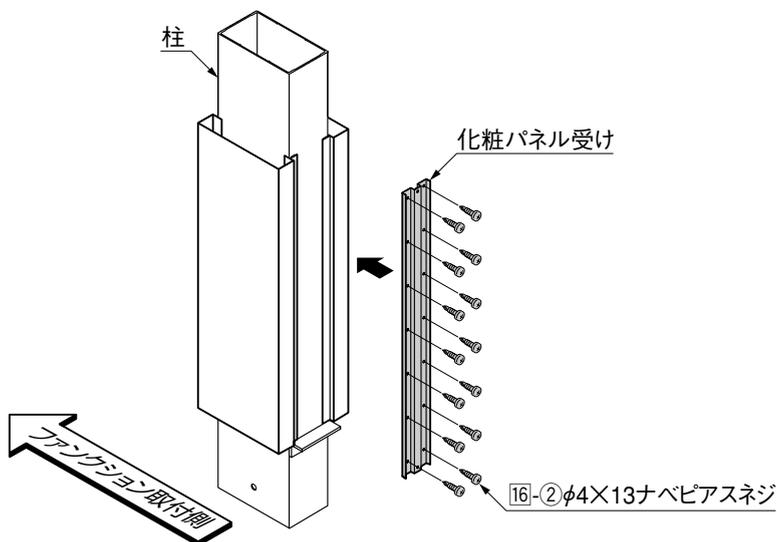
	L1	
	ナチュラルスタイル以外	ナチュラルスタイル
標準ロング柱	450	600
中間柱	200	350

図2-15

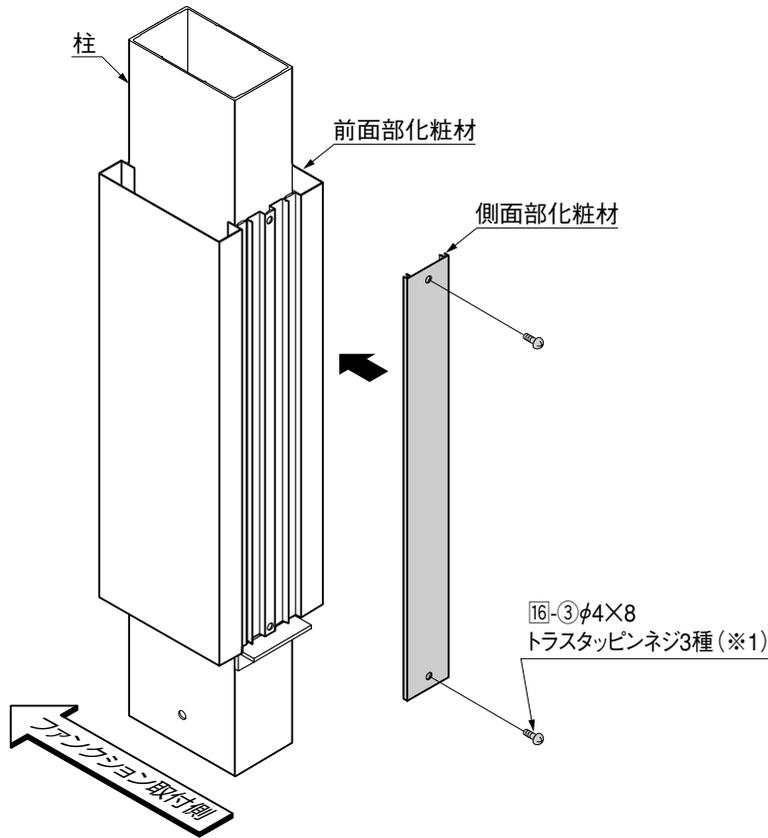


#### ポイント

- 前面部化粧材の固定にはサラ加工が施してある孔を使用してください。
- 2 位置出し用Lアングルの上に前面部化粧材を乗せて、16-1で固定してください。



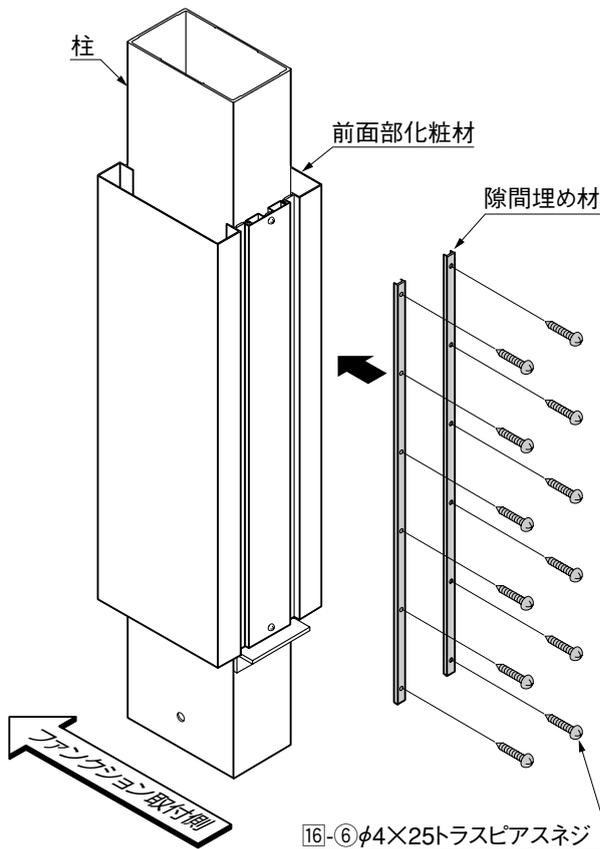
- 3 化粧パネル受けと柱のセンター線をあわせて、16-2で固定してください。



- ④ 側面部化粧材を化粧パネル受けに叩き込むようにはめ込み、16-③で固定してください。

**ポイント**

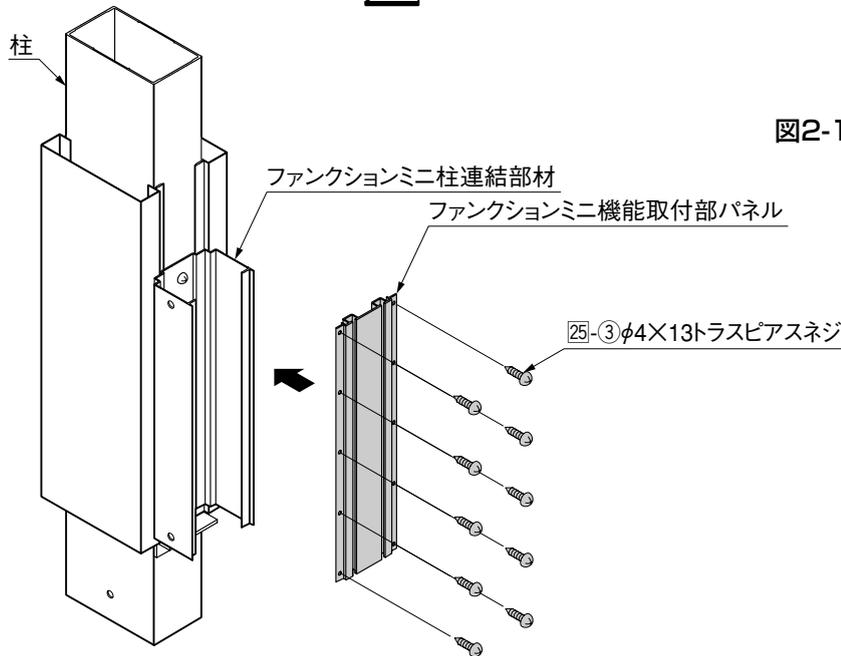
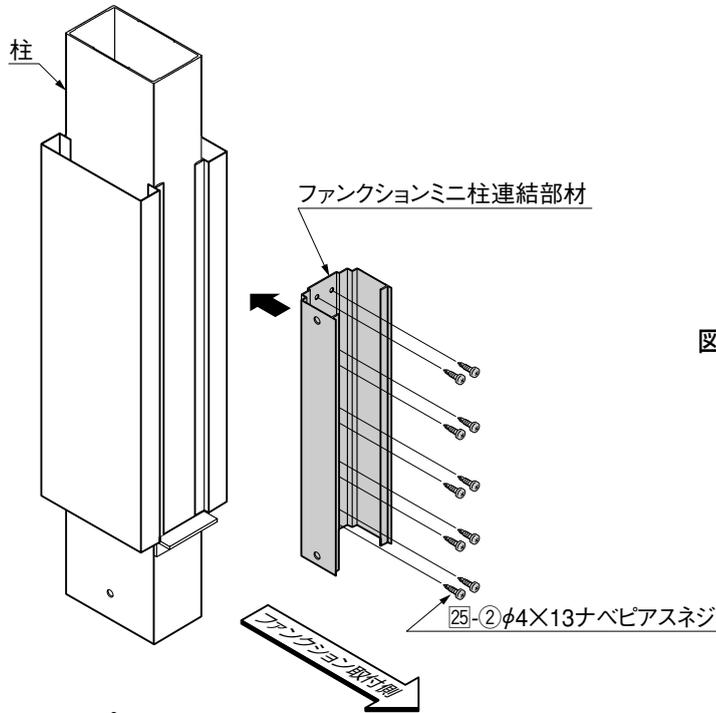
- アーキモダンスタイルの場合は、18-③を使用して取付けてください。(※1)



- ⑤ スタンダードスタイルおよびナチュラルスタイルの場合は、前面部化粧材と側面部化粧材の間に隙間埋め材を16-⑥で固定してください。

## 2. つづき

### 2-5 ファンクションミニ機能連結柱用化粧材の取付け



※図はファンクションミニ左仕様です。  
右仕様の場合は、左右反転した位置に取付けてください。  
※( )内寸法は中間柱の場合です。

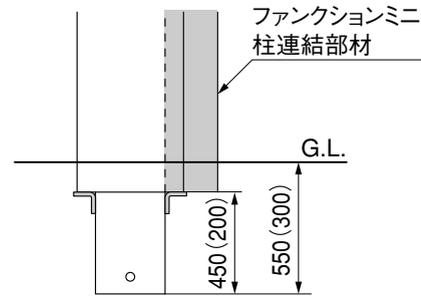


図2-16 アーキモダン・スタンダードスタイルの場合

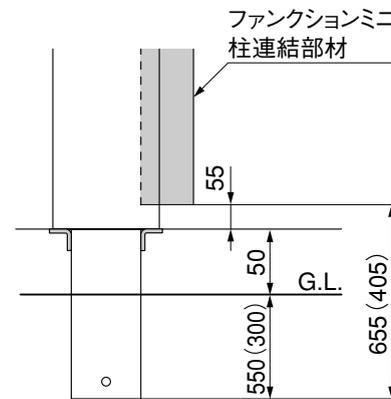
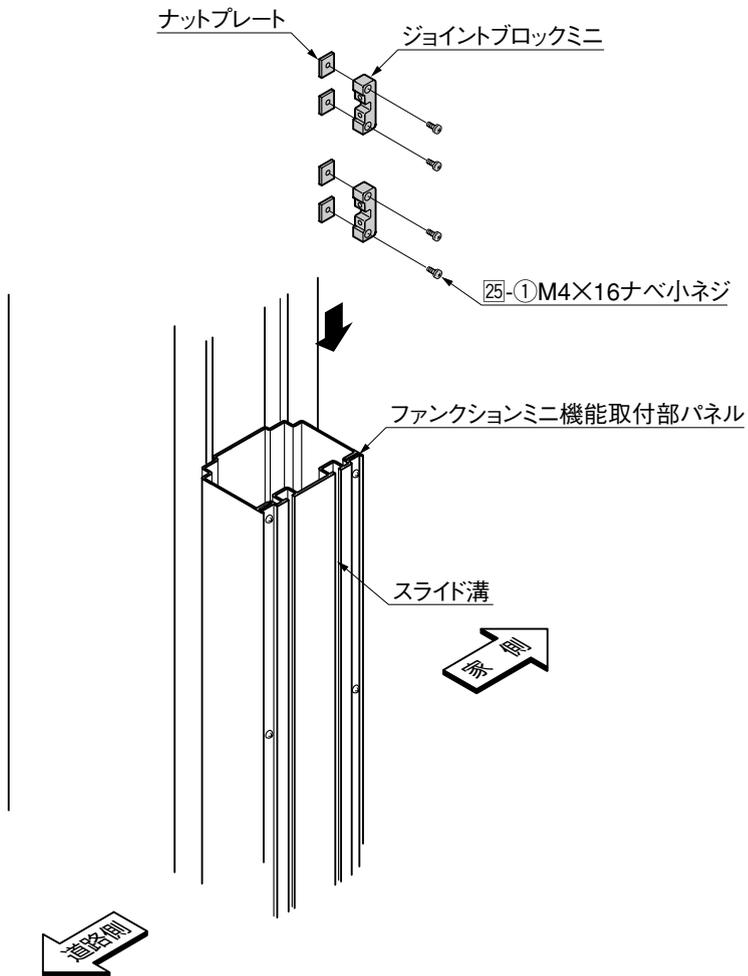


図2-17 ナチュラルスタイルの場合

⑥ 柱のファンクションを取付ける側に、ファンクションミニ柱連結部材をに25-②で固定してください。

#### 🔑 ポイント

- ファンクションミニ柱連結部材の取付位置は、スタイルによって異なります。図2-16、図2-17の寸法を参照して柱連結部材を固定してください。
- ⑦ ファンクションミニ機能取付部パネルを、ファンクションミニ柱連結部材の高さに合わせて25-③で固定してください。



- ⑧ ジョイントブロックミニにナットプレートを25-①で仮止めして、ファンクションミニ機能取付パネルのスライド溝に差し込み、図2-18の位置に固定してください。

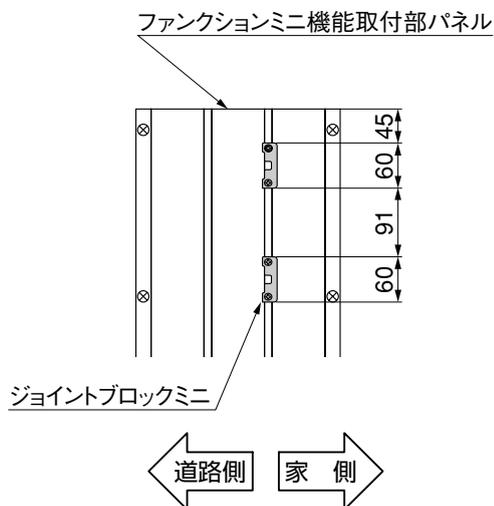
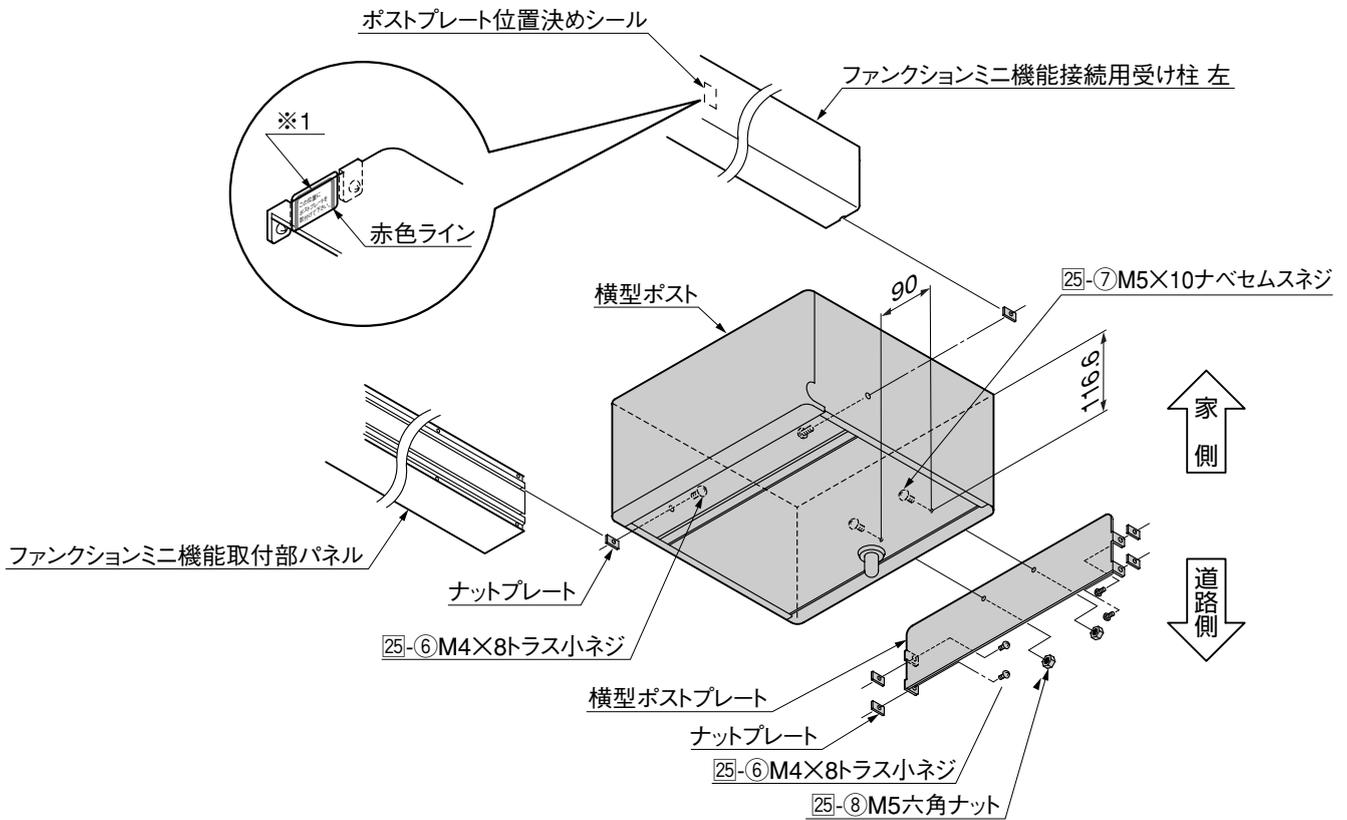


図2-18

## 2. つづき



- ⑨ ナットプレートを横型ポストと横型ポストプレートに25-⑥で仮止めしてください。  
 ⑩ 横型ポストを横型ポストプレートに25-⑦、25-⑧で固定してください。

### 補足

- 横型ポストの取付孔は、ポスト後の端部から116.6mm、ピッチ90mmの取付孔を使用してください。

- ⑪ ナットプレートをファンクションミニ機能接続用受け柱 左およびファンクションミニ機能取付部パネルの溝にすべり込ませてください。

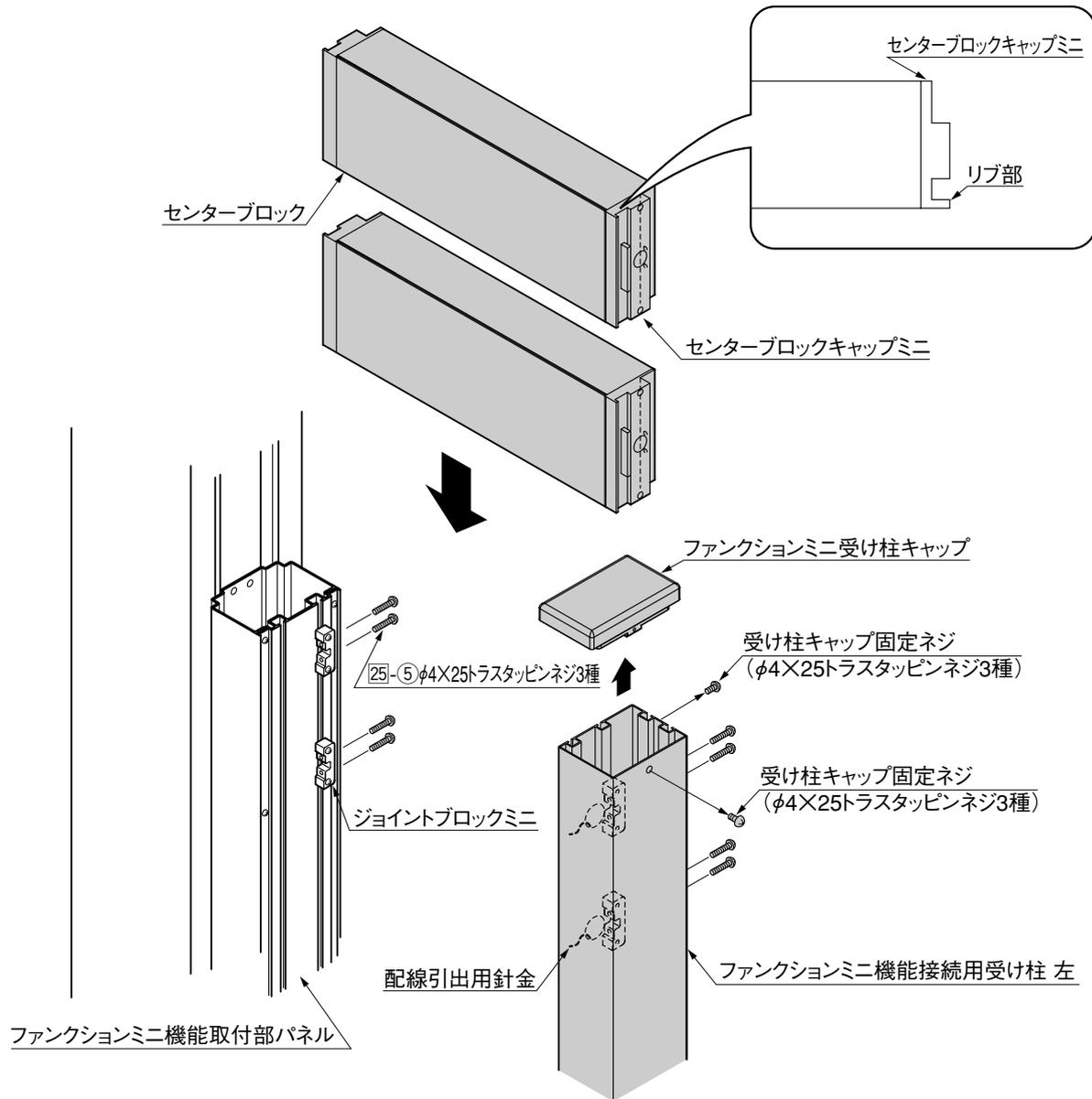
### ポイント

- ナットプレートは、下側からすべり込ませてください。

- ⑫ ファンクションミニ機能接続用受け柱 左とファンクションミニ機能取付部パネルの高さを合わせた後、ファンクションミニ機能接続用受け柱 左の内側についている「ポストプレート位置決めシール」と横型ポストプレートを合わせて25-⑥を締め固定してください。(※1)

### ポイント

- 横型ポストプレートの位置がずれていると、横型ポストを取付けることができなくなるおそれがあります。横型ポストプレートは、平らに取付けてください。



- 13 ファンクションミニ機能接続用受け柱 左にあらかじめ取付いているファンクションミニ受け柱キャップの「受け柱キャップ固定ネジ」をはずして取外してください。
- 14 センターブロックキャップミニのリブ部をファンクションミニ機能接続用受け柱 左、ファンクションミニ機能取付部パネルの内前側の溝に差し込んでください。

### ポイント

- センターブロックを取付ける際、ファンクションミニ機能接続用受け柱 左の配線用孔から出ている配線引出用針金をセンターブロックの中に通してください。
- センターブロックを取付ける際、下側になるセンターブロックから取付けてください。順番が異なると取付けることができなくなります。

- 15 センターブロックキャップミニをジョイントブロックミニに、25-5で固定してください。

### ポイント

- ジョイントブロックミニは取りはずさないでください。センターブロックを取付けることができなくなります。万一取りはずした場合は、必ず元の位置に取付けてください。

## 2. つづき

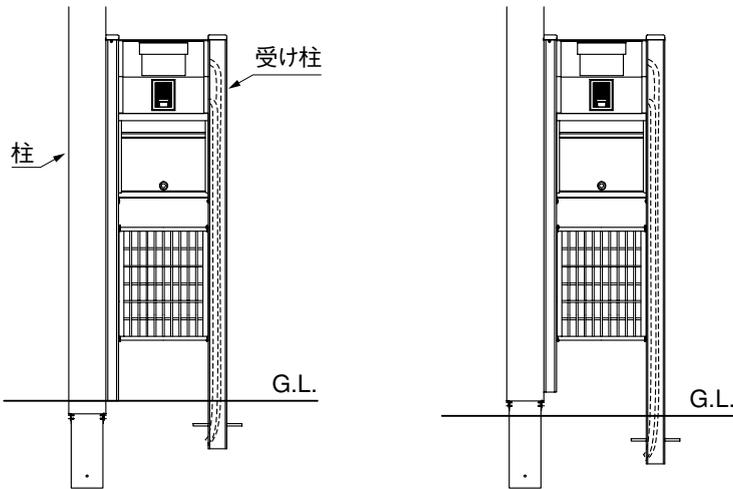
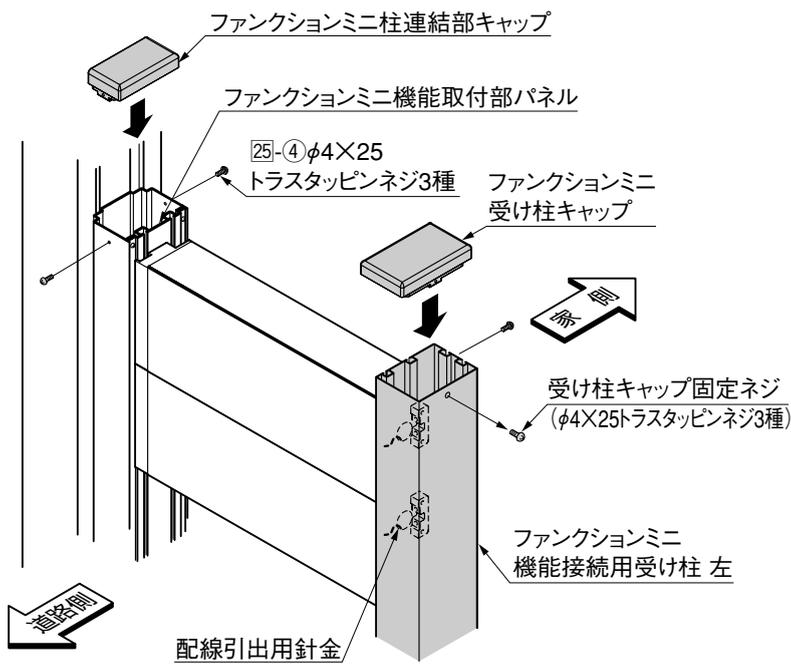


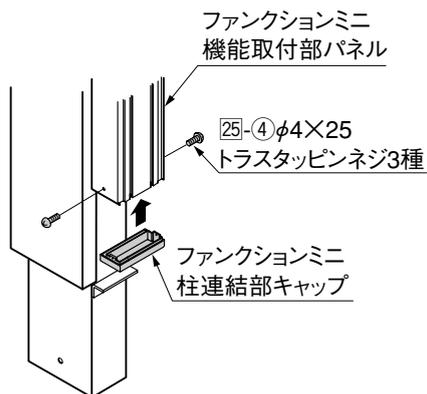
図2-19 ナチュラルスタイル以外の場合

図2-20 ナチュラルスタイルの場合



16 ファンクションミニ機能接続用受け柱左にファンクションミニ受け柱キャップを「受け柱キャップ固定ネジ」で取付けてください。

17 ファンクションミニ柱連結部キャップをファンクションミニ機能取付部パネルに25-④で固定してください。



18 ナチュラルスタイルの場合、ファンクションミニ機能取付部パネル下側にもファンクションミニ柱連結部キャップを25-④で取付けてください。

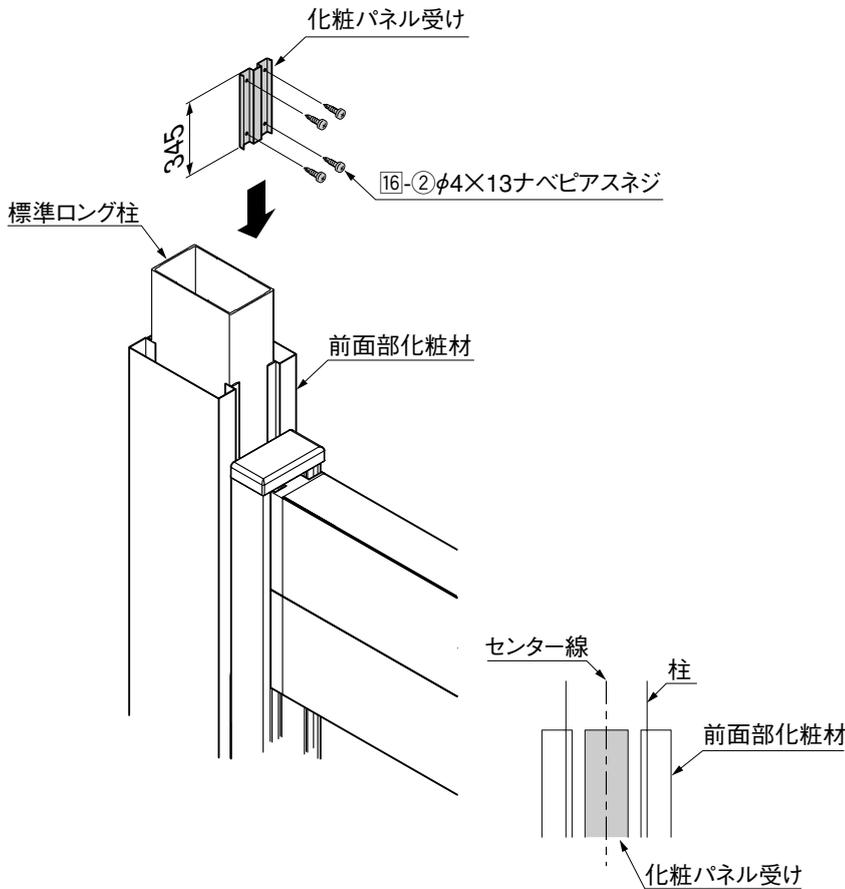
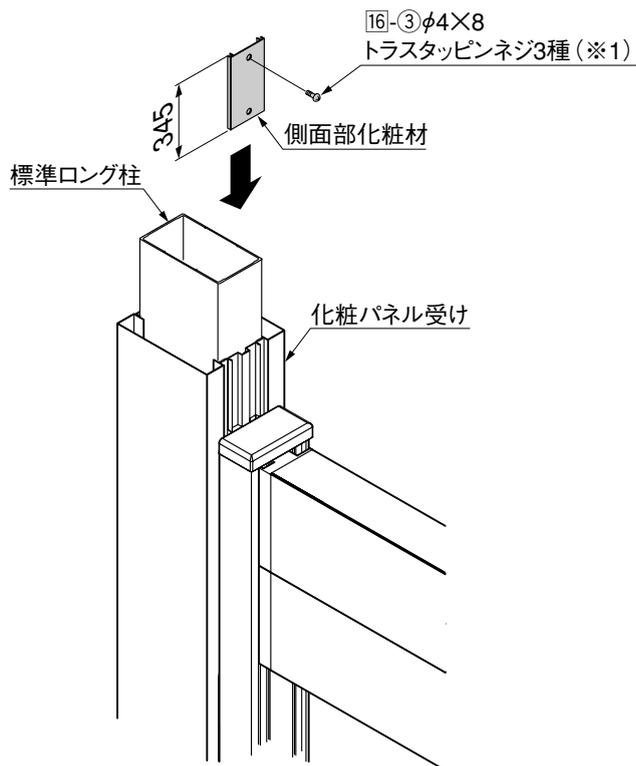


図2-21

### ポイント

- 以下の説明は、中間柱には必要のない作業です。標準・ロング柱の場合は、以下の手順にしたがって取付けてください。

- 19 化粧パネル受けを前面部化粧材の高さと合うように上から差し込んで、化粧パネルのセンターを柱のセンター線と合わせた位置に16-②で固定してください。



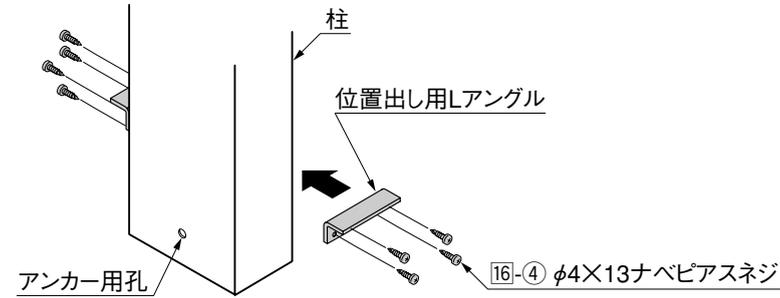
- 20 側面部化粧材を化粧パネル受けに上部からスライドさせた後、16-③で固定してください。

### ポイント

- アーキモダンスタイルの場合は、18-③を使用して取付けてください。(※1)
- 固定するのは上側1ヶ所のみです。



## 2-6 ファンクションスリム連結用化粧材の取付け



- 1 図2-22を参照して、柱に位置出し用Lアングルを16-4で固定してください。

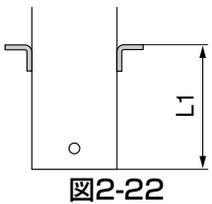
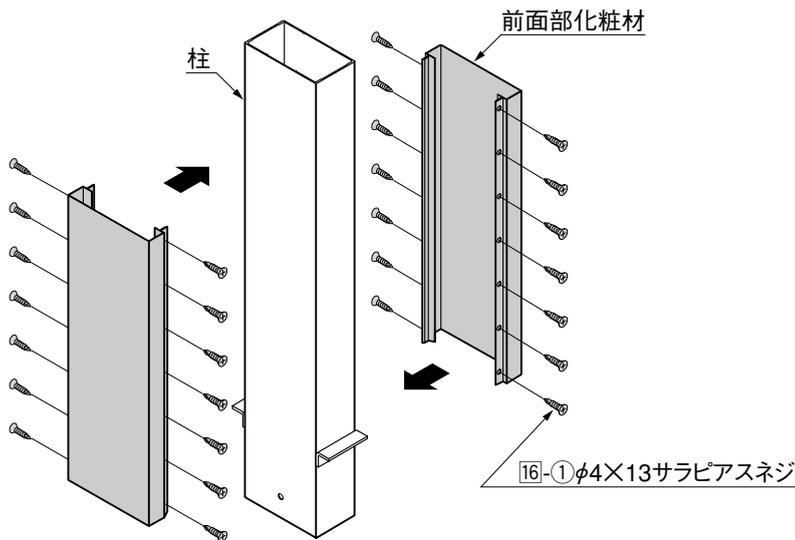


表2-4

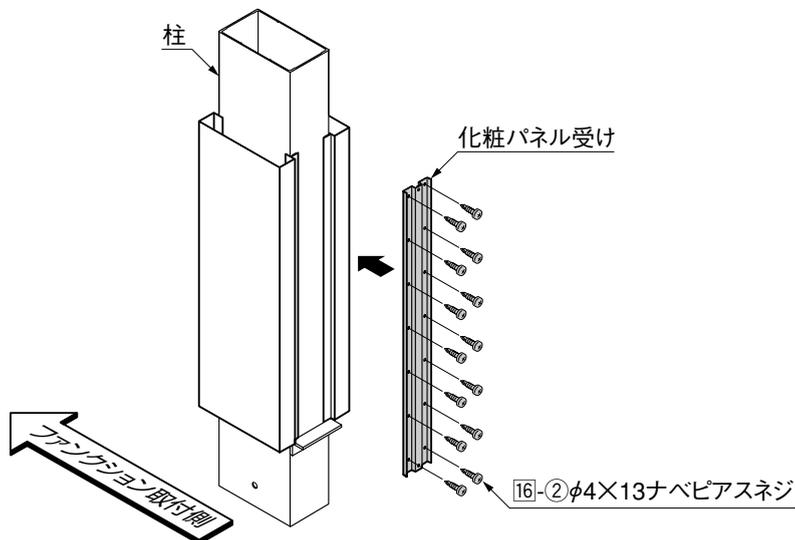
	L1	
	ナチュラルスタイル以外	ナチュラルスタイル
標準ロング柱	450	600
中間柱	200	350

図2-22



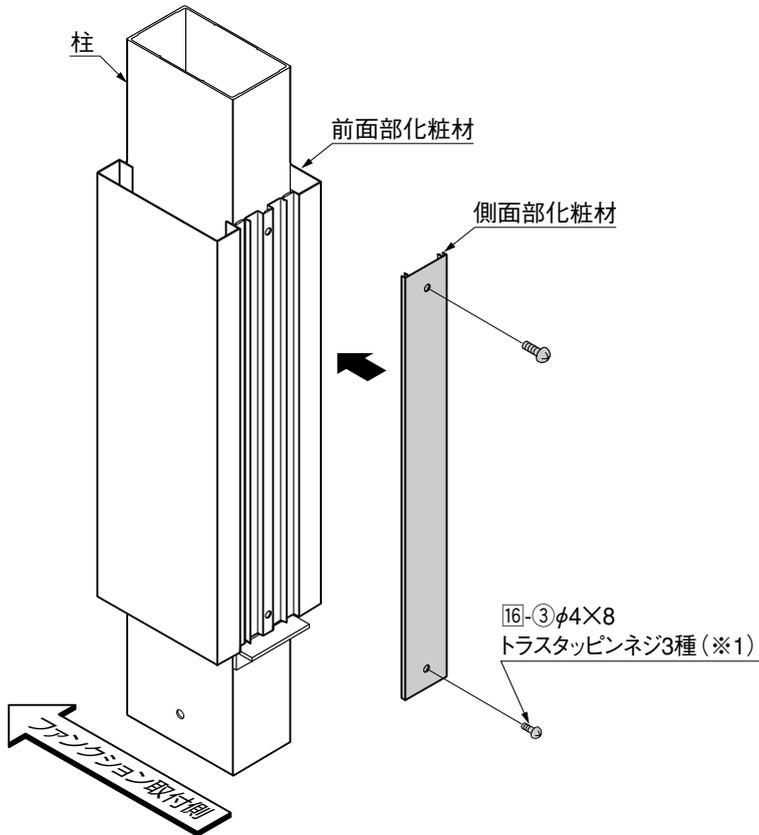
### ポイント

- 前面部化粧材の固定にはサラ加工が施してある孔を使用してください。
- 2 位置出し用Lアングルの上に前面部化粧材を乗せて、16-1で固定してください。



- 3 化粧パネル受けと柱のセンター線をあわせて、16-2で固定してください。

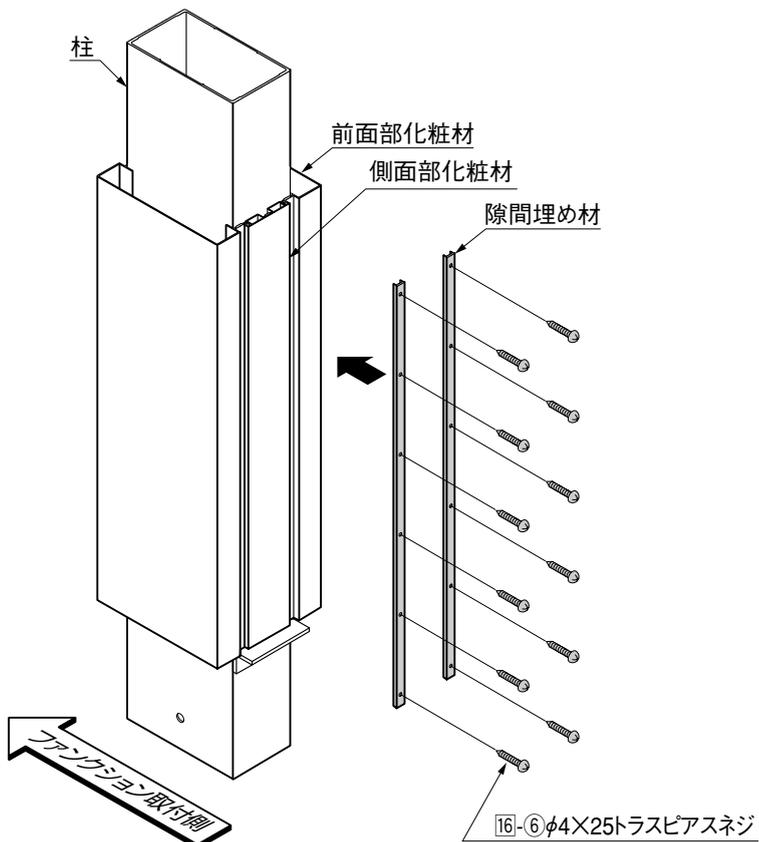
## 2. つづき



- ④ 側面部化粧材を化粧パネル受けに叩き込むようにはめ込み、16-③で固定してください。

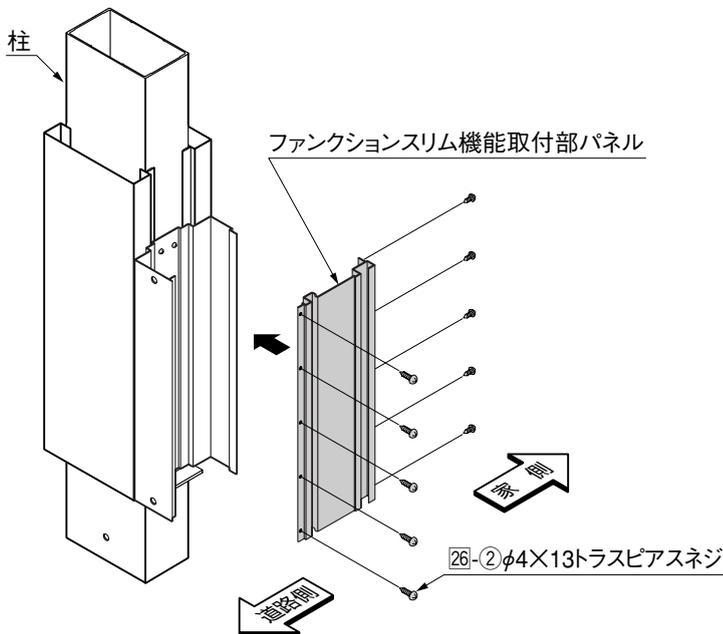
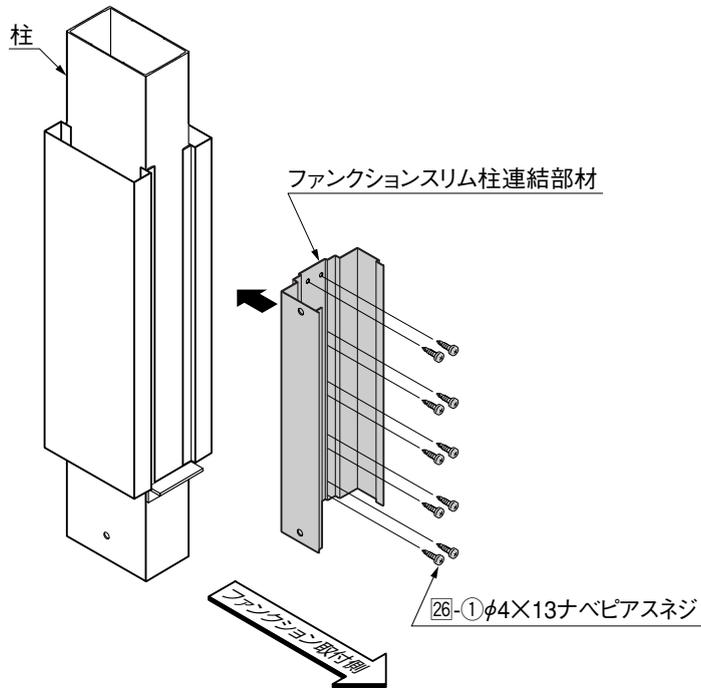
### ポイント

- アーキモダンスタイルの場合は、18-③を使用して取付けてください。(※1)



- ⑤ スタンダードスタイルおよびナチュラルスタイルの場合は、前面部化粧材と側面部化粧材の間に隙間埋め材を16-⑥で固定してください。

## 2-7 ファンクションスリム機能連結柱用化粧材の取付け



※図はファンクションスリム左仕様です。  
右仕様の場合は、左右反転した位置に取付けてください。  
※( )内寸法は中間柱の場合です。

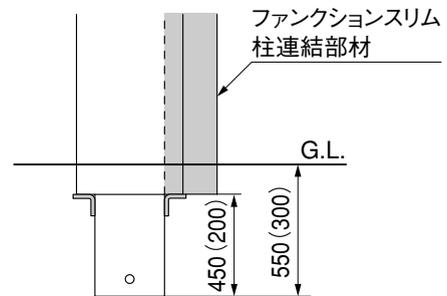


図2-23 アーキモダン・スタンダードスタイルの場合

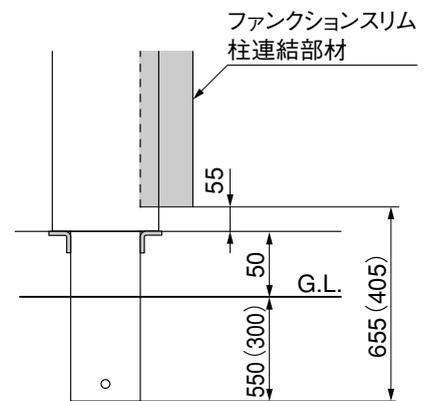


図2-24 ナチュラルスタイルの場合

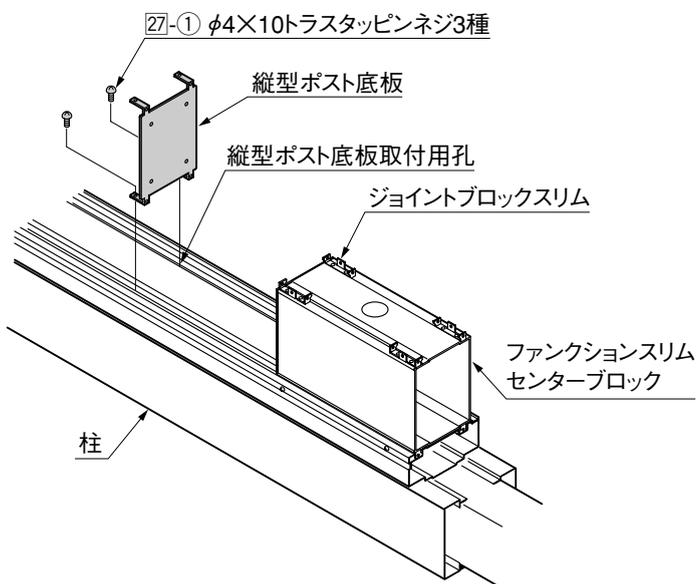
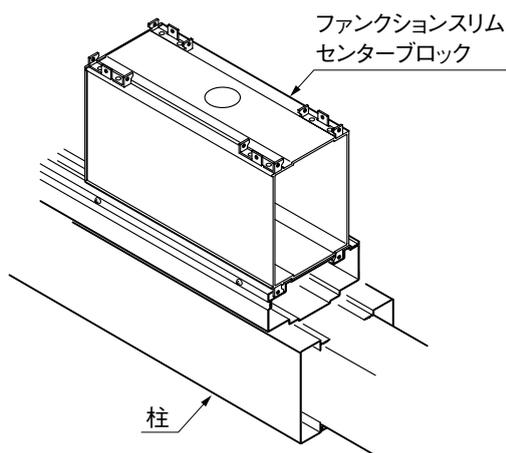
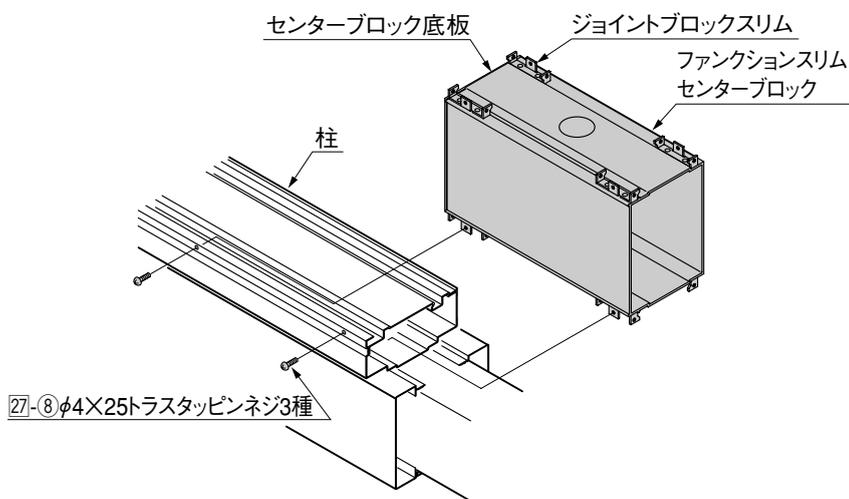
⑥ 柱のファンクションを取付ける側に、ファンクションスリム柱連結部材を26-①で固定してください。

### 🔑ポイント

● ファンクションスリム柱連結部材の取付位置は、スタイルによって異なります。図2-23、図2-24の寸法を参照して柱連結部材を固定してください。

⑦ ファンクションスリム機能取付部パネルを、ファンクションスリム柱連結部材の高さに合わせて26-②で固定してください。

## 2. つづき



### ポイント

- ファンクションスリムセンターブロックの取付けは、梱包用の箱等を使用して柱を横にした状態で行なってください。その際、柱にキズがつかないように注意してください。

- 8 ファンクションスリムセンターブロックのジョイントブロックスリムを、柱の溝に差し込んでください。
- 9 ファンクションスリムセンターブロックを、27-⑧で固定してください。

### 補足

- ファンクションスリムセンターブロックを固定する際、ジョイントブロックスリム上面と柱上面が、水平になるように固定してください。

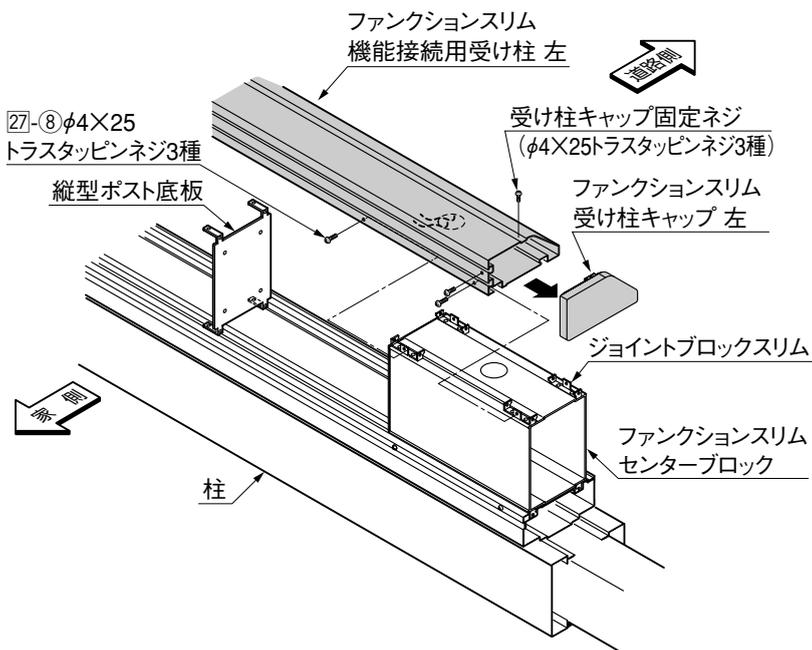
### ポイント

- 縦型ポスト底板の取付けは、梱包用の箱等を使用して柱を横にした状態で行なってください。その際、柱にキズがつかないように注意してください。

- 10 ファンクションスリム機能取付部パネルにあいている縦型ポスト底板取付用孔に、縦型ポスト底板を27-①で仮止めしてください。

### 補足

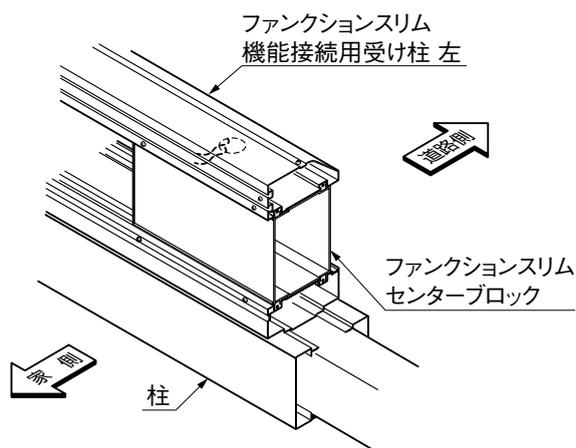
- 縦型ポスト底板は仮止めの状態にしてください。縦型ポストを取付ける際に調整が必要になります。



### ポイント

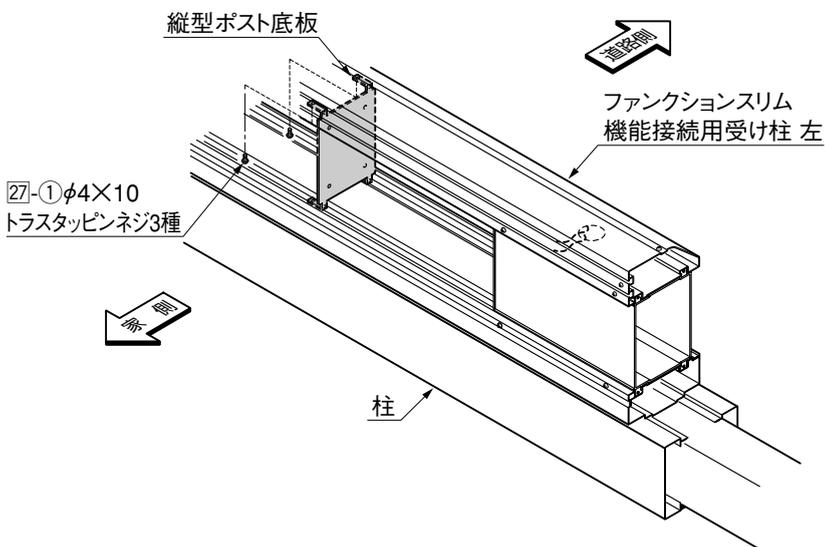
- 受け柱 左または受け柱 右の取付けは、梱包用の箱等を使用して柱を横にした状態で行なってください。その際、柱にキズがつかないように注意してください。

- 12 「受け柱キャップ固定ネジ」をはずして、受け柱 左に付いているファンクションスリム受け柱キャップ 左を取りはずしてください。
- 13 縦型ポスト底板を、ファンクションスリム機能接続用受け柱 左の溝に合わせてそのまま引き上げ、ジョイントブロックスリムをファンクションスリム機能接続用受け柱 左の溝に差し込んでください。



### ポイント

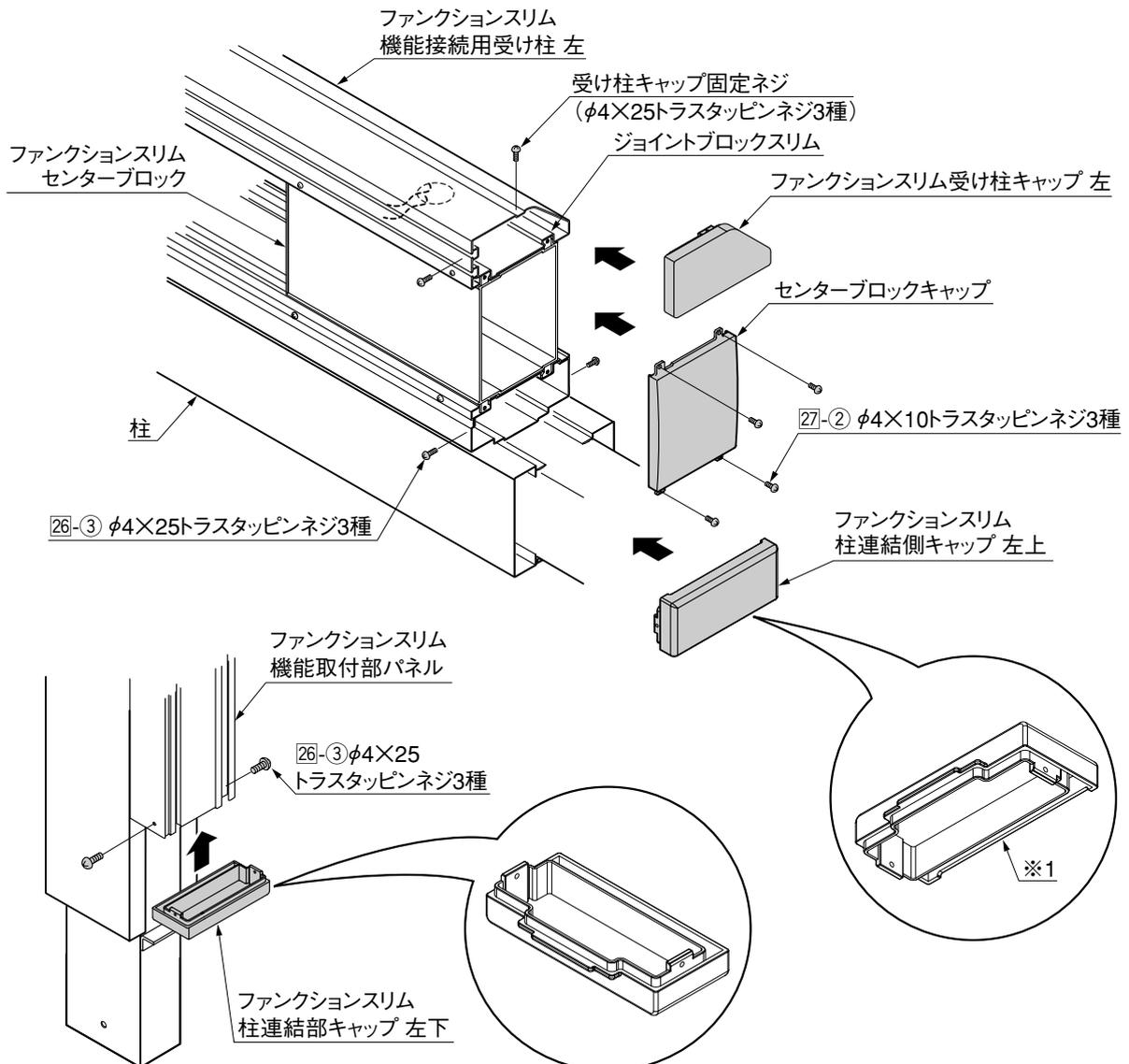
- ファンクションスリム機能接続用受け柱 左を移動する場合は、縦型ポスト底板をおさえながら行ってください。縦型ポスト底板が破損するおそれがあります。
- ファンクションスリム機能接続用受け柱 左の配線用孔から出ている配線引出用針金をファンクションスリムセンターブロックの中へ通してください。



### ポイント

- ファンクションスリム機能接続用受け柱 左、ジョイントブロックスリム、ファンクションスリム機能取付部パネルが水平になっているか確認してください。
- 縦型ポスト底板を固定するときは、全長150mm以下の短形ドライバーを使用してください。

## 2. つづき



16 センターブロックキャップをジョイントブロックスリムに27-②で固定してください。

### ポイント

- センターブロックのキャップの向きに注意してください。逆向きの場合、取付けられません。

17 ファンクションスリム受け柱キャップ 左を「受け柱キャップ固定ネジ」で固定してください。

18 ファンクションスリム柱連結側キャップ 左上を26-③で固定してください。

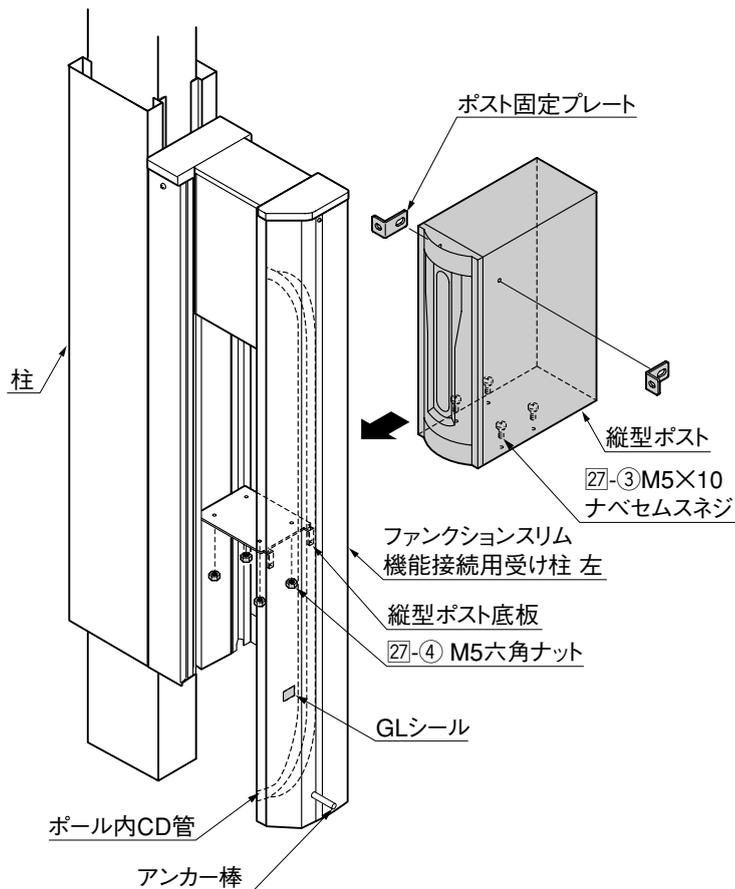
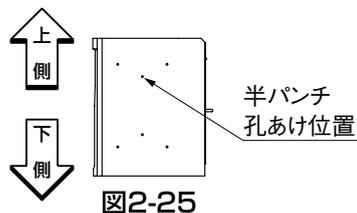
### ポイント

- ナチュラルスタイルの場合、ファンクションスリム柱連結側キャップ上には切り欠きがあります。(※1)

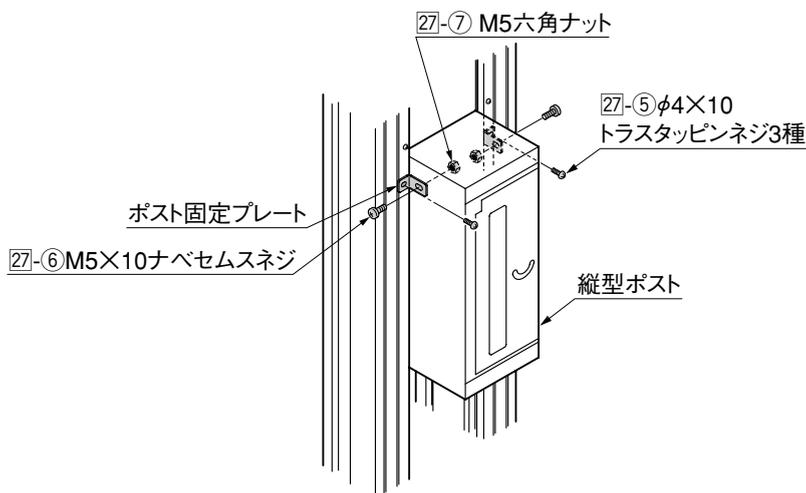
19 ナチュラルスタイルの場合は、ファンクションスリム機能取付部パネル下側にもファンクションスリム柱連結側キャップ 左下を26-③で取付けてください。

### 補足

- インターホン子機の取付けは、「2.基本の施工方法 7.インターホン子機の取付けおよび配線」を参照してください。



- ⑳ 縦型ポストの図2-25に示した半パンチ孔あけ位置の左右両側面、計2ヶ所を、プラスドライバーとハンマーを用いて叩いて、孔をあけてください。
- ㉑ 縦型ポストを縦型ポスト底板の上に置いてください。
- ㉒ 縦型ポストの取出口蓋を開けて、縦型ポストの内側から27-③を取付孔に通してください。
- ㉓ 縦型ポストを縦型ポスト底板の下側から27-④で固定してください。
- ㉔ 縦型ポスト底板を持ち上げて、縦型ポスト底板を固定してください。



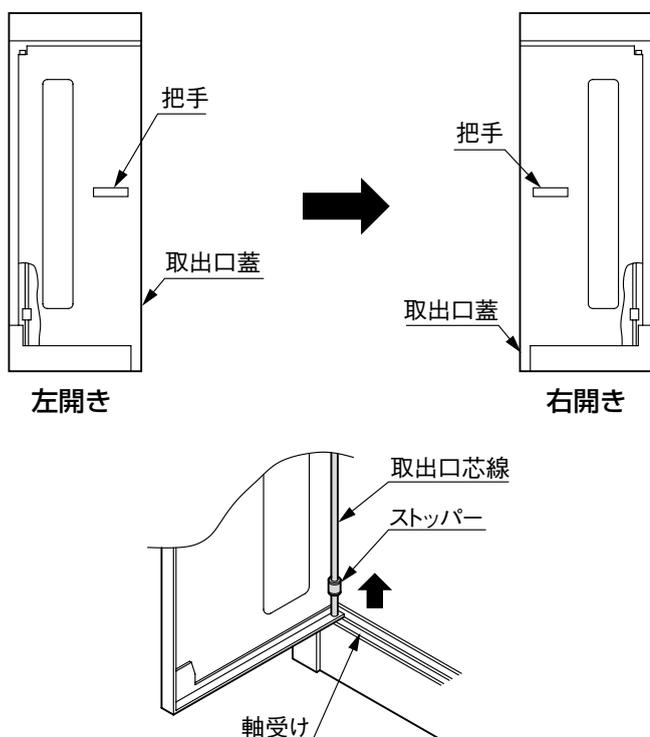
- ㉕ ポスト固定プレートを、ファンクションスリム機能取付部パネルとファンクションスリム受け柱左にしているポスト固定プレート取付孔と㉑であけた孔を用いて、27-⑤、27-⑥、27-⑦で固定してください。

**ポイント**

- ポスト固定プレートを固定する場合は、縦型ポストの後側を軽く持ち上げて、縦型ポストが水平になるように固定してください。

## 2. つづき

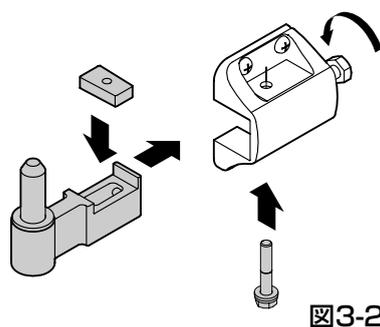
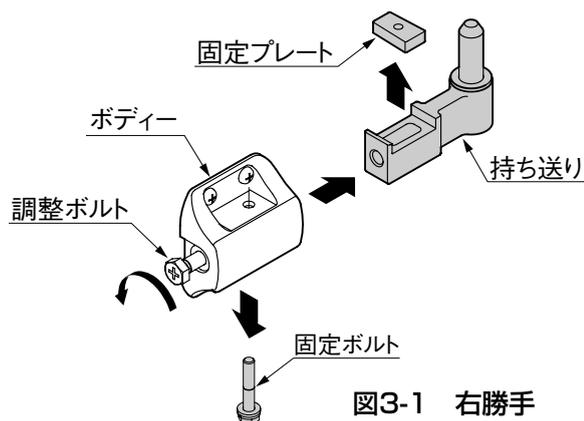
### 2-8 縦型ポスト取出口蓋の開き勝手の変更



- ❶ 取出口芯線を上げて蓋をはずしてください。
- ❷ 取出口蓋を上下反対に回転させてください。
- ❸ 右側の軸受け部の孔に取出口芯線を挿入してください。

## 3. 調整金具の取付け

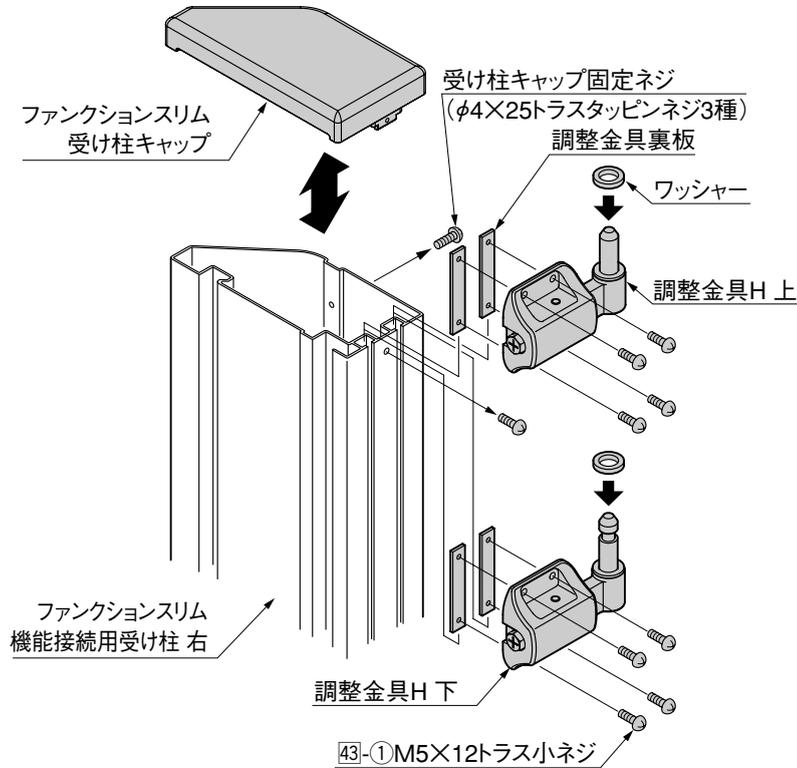
### 3-1 調整金具の勝手の変更方法



- ❶ 固定ボルトを外してください。
- ❷ 調整ボルトをゆるめて持ち送りと固定プレートを外してください。
- ❸ ボディーの向きを変え、持ち送りに固定プレートを乗せてボディーに挿入してください。
- ❹ 調整ボルトを締めてください。
- ❺ 固定ボルトを締めて、持ち送りを固定してください。

### 3-2 調整金具の取付け

※図はファンクションスリム右仕様です。左仕様の場合は、左右反転した位置に取付けてください。門扉取付用化粧材、ファンクションミニの場合も同様の作業です。



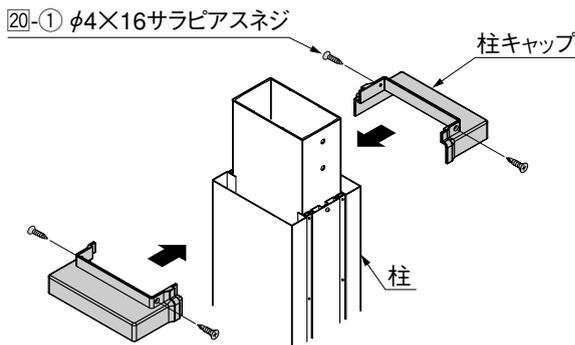
- ❶ ファンクションスリム機能接続用受け柱 右またはファンクションミニ機能接続用受け柱 右に取付ける場合は、「受け柱キャップ固定ネジ」を外して、吊元柱に付いているファンクションスリム受け柱キャップをはずしてください。
- ❷ 調整金具と裏板を43-①で仮止めしてください。
- ❸ 裏板を吊元柱の溝に、調整金具H下、調整金具H上の順に差し込んで固定してください。

#### 補足

- 調整金具の取付位置は、「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- ❹ ファンクションスリム機能接続用受け柱 右またはファンクションミニ機能接続用受け柱 右に取付ける場合は、「受け柱キャップ固定ネジ」でファンクションスリム受け柱キャップを固定してください。

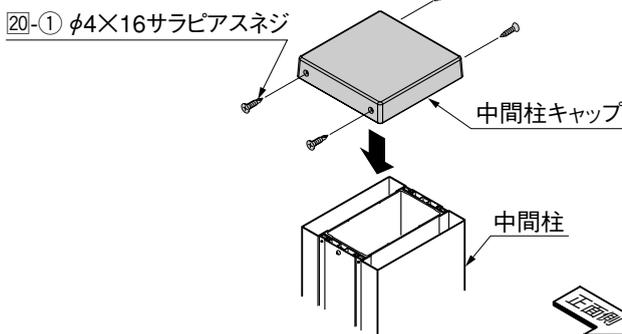
## 4. 柱キャップの取付け ※スタンダードスタイルの場合です。その他のスタイルも同様の作業です。

### 4-1 標準ロング柱の場合



- ❶ 柱キャップを20-①で柱に取付けてください。

### 4-2 中間柱の場合



- ❶ 中間柱キャップを20-①で中間柱に取付けてください。

## 5. サインの取付け

### 5-1 ファンクションミニの場合

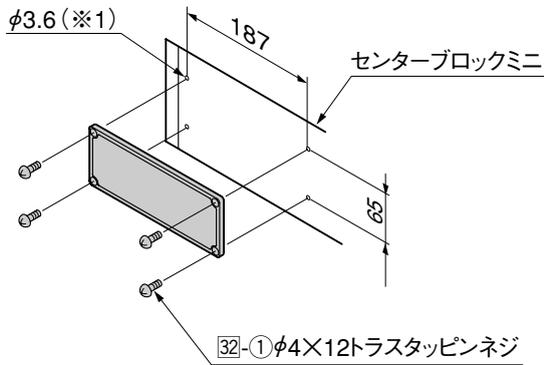


図5-1 サインCの場合

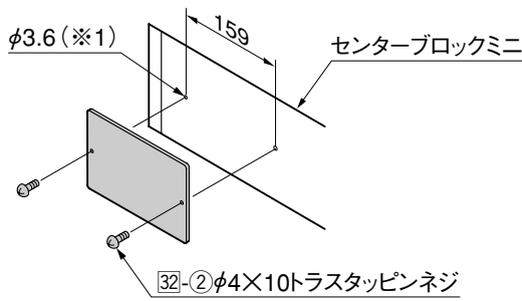


図5-2 ステンレスサインの場合

### 5-2 ファンクションスリムの場合

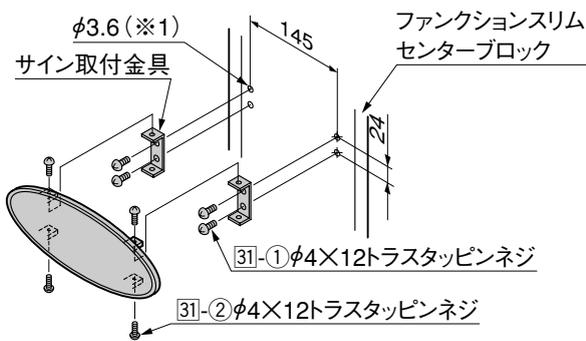


図5-3 サインAの場合

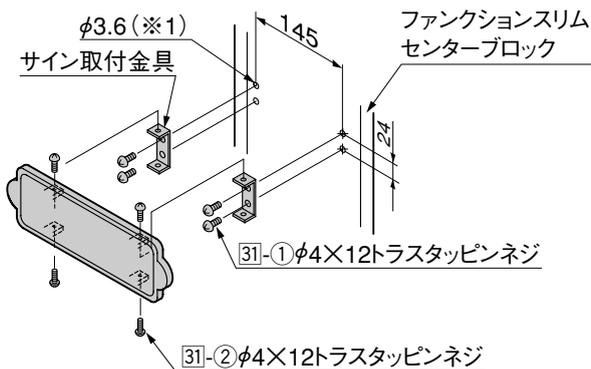


図5-4 サインBの場合

#### ポイント

- 取付ける照明, インターホン子機等で取付け位置が変わる場合があります。サインを取付ける前に必ず他の機器との取合いを確認してください。

- ① センターブロックのサインの取付孔位置に、サインCは4ヶ所、ステンレスサインは2ヶ所けがいてください。(※1)
- ② けがいた位置にφ3.6の下孔をあけてください。
- ③ サインCを32-①、ステンレスサインを32-②で固定してください。

#### ポイント

- ネームシールの貼り方は、「2.基本の施工方法 11.ネームシールの貼り方」を参照してください。

#### ポイント

- 取付ける照明, インターホン子機等で取付け位置が変わる場合があります。サインを取付ける前に必ず他の機器との取合いを確認してください。

- ① センターブロックのサインの取付孔位置に、4ヶ所けがいてください。(※1)
- ② けがいた位置にφ3.6の下孔をあけてください。
- ③ サイン取付金具を31-①で固定してください。
- ④ サインA, サインBをサイン取付金具に、31-②で固定してください。

#### ポイント

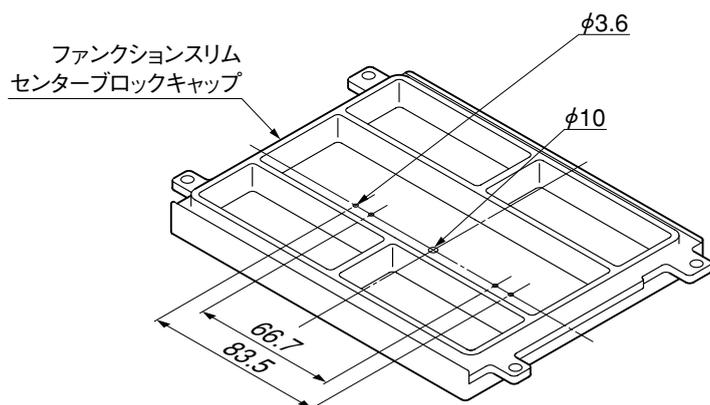
- ネームシールの貼り方は、「2.基本の施工方法 11.ネームシールの貼り方」を参照してください。

## 6. 照明の取付けおよび配線

※配線作業は、電気工事店の有資格者に依頼してください。  
インターホン子機専用配線と照明用配線は、間違えないようにしてください。

※照明によっては取付かないものがあります。照明を取付ける前に必ず取付寸法等を確認してください。

### 6-1 門灯タイプ照明 HK-2, 10, 12型およびDHK-2, 12型の取付け



- ① 配線用および取付孔用の下孔位置にくぼみがあります。  
取付ける照明の取付孔位置を確認して、ファンクションスリムセンターブロックキャップの内側に、配線用のφ10の孔およびφ3.6の取付孔をあけてください。

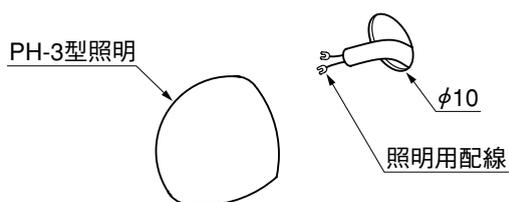
#### 補足

- ファンクションスリムセンターブロックキャップ内側中心の下孔は、φ10の配線用下孔を使用してください。
- ② 各照明の取付けおよび配線は、各照明に付属の説明書にしたがって行なってください。

#### ポイント

- DC12V用照明を取付ける場合、専用トランスが必要です。  
AC100Vは絶対に接続しないでください。

### 6-2 ブラケットタイプ照明 PH-3型の取付け



- ① PH-3型照明を取付ける位置に、φ10の配線用孔をあけてください。
- ② PH-3型照明の取付けおよび配線は、PH-3型照明の取付説明書にしたがって行なってください。

### 6-3 埋込門灯タイプ照明 UH-1型の取付け

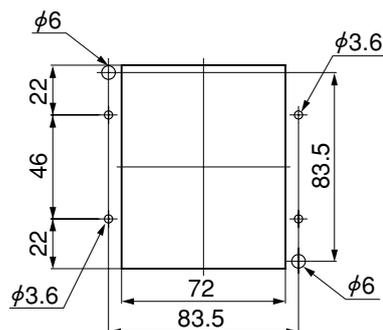


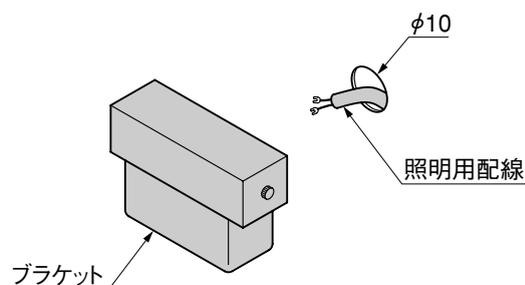
図6-1

- ① UH-1型照明を取付ける場合、取付面に図7-1の寸法を加工してください。
- ② UH-1型照明の取付けおよび配線は、UH-1型照明の取付説明書にしたがって行なってください。

## 6. つづき

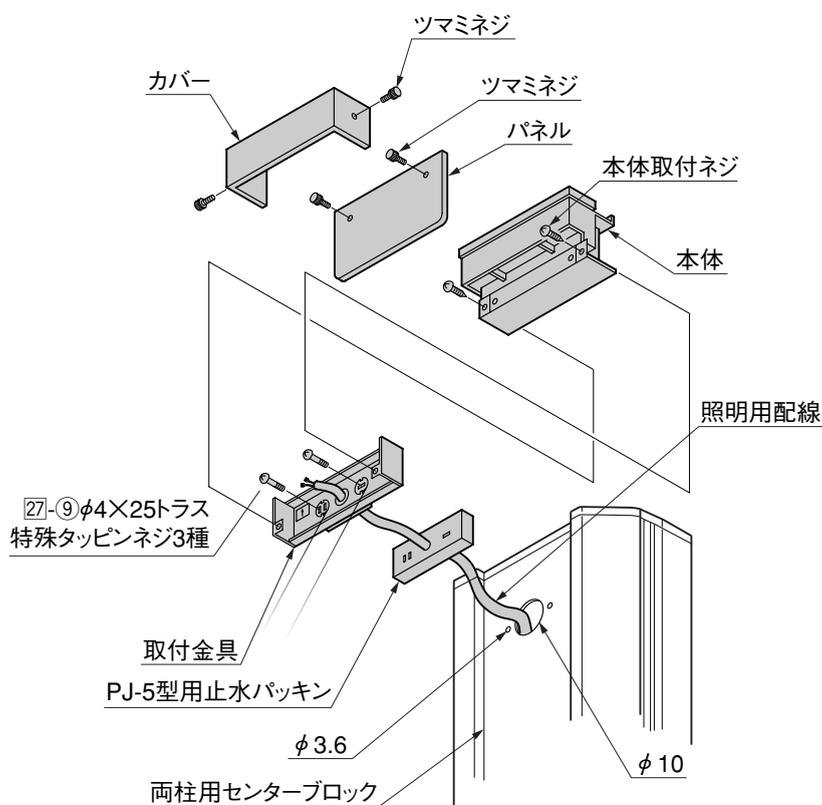
### 6-4 ブラケット PJ-5型の取付け

#### (1) ブラケット PJ-5型のファンクションミニへの取付け



- 1 ブラケット PJ-5型照明を取付ける位置に、 $\phi 10$ の配線用の孔をあけてください。
- 2 ブラケット PJ-5型照明の取付けおよび配線は、PJ-5型照明の取付説明書にしたがって行ってください。

#### (2) ブラケット PJ-5型のファンクションスリムへの取付け



- 1 ブラケット PJ-5型照明を取付ける位置に、 $\phi 10$ の配線用の孔をあけてください。
- 2 取付金具を取付位置にあわせて、取付位置をけがいてください。
- 3 けがいた位置に $\phi 3.6$ の下孔を2ヶ所あけてください。
- 4 取付金具にあらかじめ取付いている止水パッキンはずしてください。
- 5 PJ-5型用止水パッキンを、両柱用センターブロックと取付金具の間に入れて、取付金具を両柱用センターブロックに同梱されている27-9で固定してください。

#### 補足

- PJ-5型用止水パッキンは必ず取付けてください。
- ブラケット PJ-5型に同梱されている「木ネジ」はファンクションスリムでは使用しません。

- 6 ブラケット PJ-5型照明の取付けおよび配線は、PJ-5型照明の取付説明書にしたがって行ってください。

# 7. インターホン子機の取付けおよび配線

※配線作業は、電気工事店の有資格者に依頼してください。

## 7-1 埋込型インターホン子機の取付けおよび配線

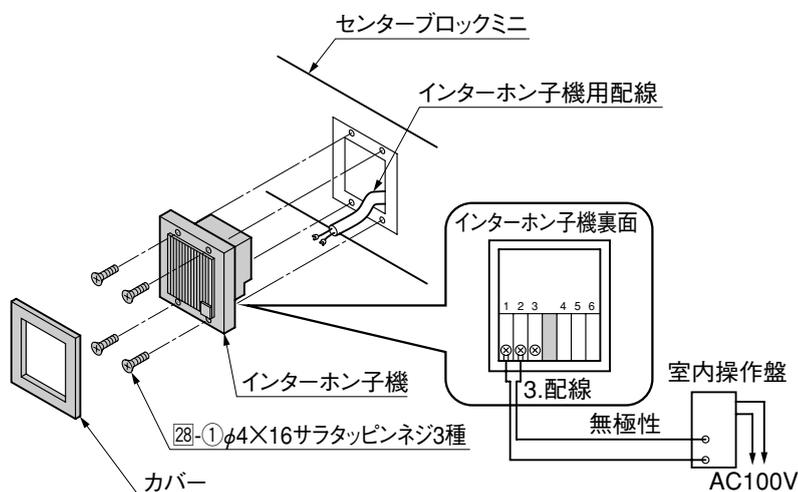


図7-1

- ① 図7-1を参照してインターホン子機用配線を、インターホン子機の裏面の端子台に接続してください。
- ② インターホン子機のカバーをはずしてください。

### ポイント

- インターホン子機用配線と照明用配線は間違えないようにしてください。
- ③ インターホン子機を28-①で取付けて、最後にカバーを取付けてください。

## 7-2 露出型インターホン子機の取付けおよび配線 **オプション**

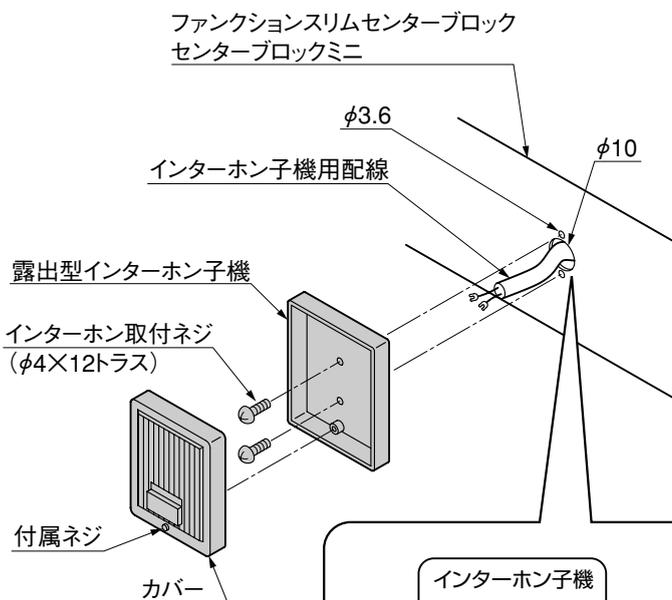


図7-2 インターホン子機取付位置シール

- ① インターホン子機取付位置シールセンターに、φ10の配線用の孔をあけてください。
- ② カバーをインターホン子機取付位置に合わせて、取付孔位置をけがいてください。
- ③ けがいた位置にφ3.6の下孔を2ヶ所あけてください。
- ④ カバーを「インターホン取付ネジ」で固定してください。
- ⑤ 露出型インターホン子機の取付けおよび配線は、インターホン子機に付属の取付説明書にしたがって行ってください。

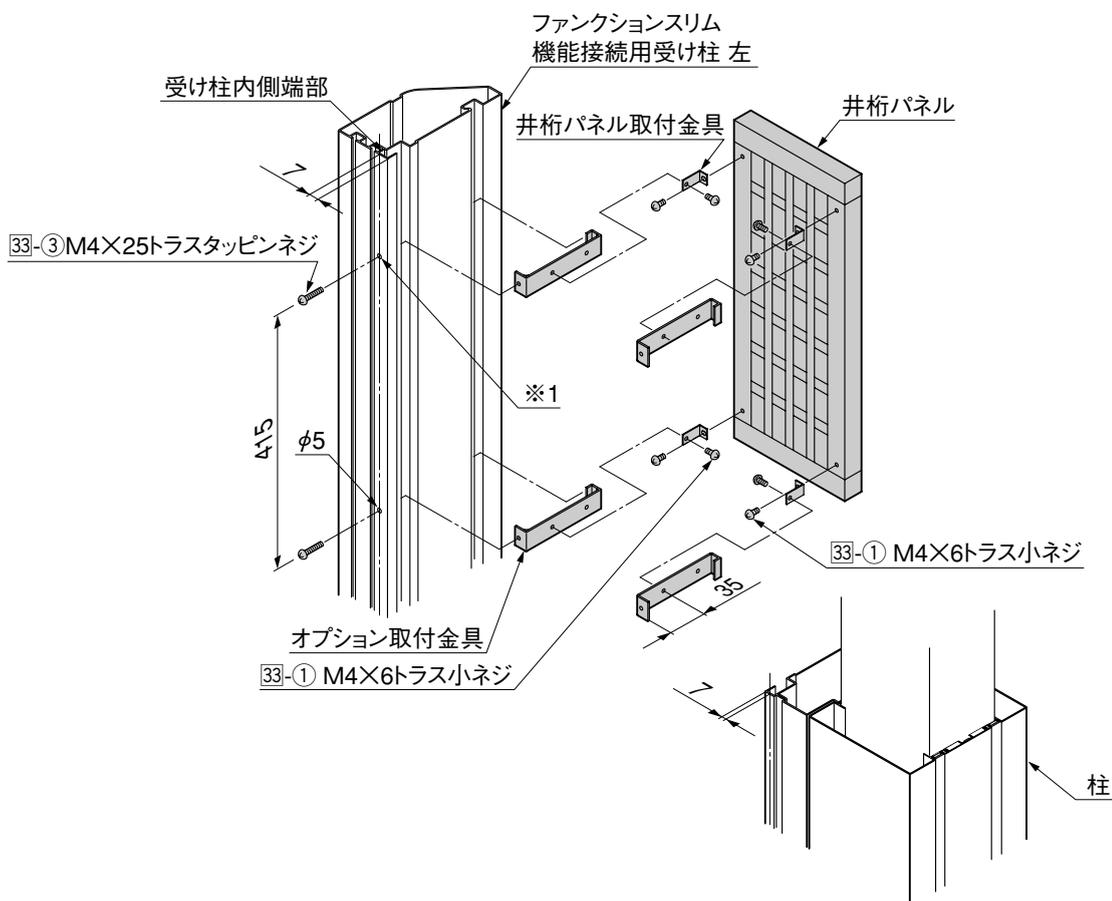
### ポイント

- インターホン子機用配線と照明用配線は間違えないようにしてください。

## 8. 井桁パネル・パンチングパネルの取付け **オプション**

※図はファンクションスリム左仕様です。  
右仕様の場合は、左右反転した位置に取付けてください。

### 8-1 ファンクションスリム 井桁パネルの取付け



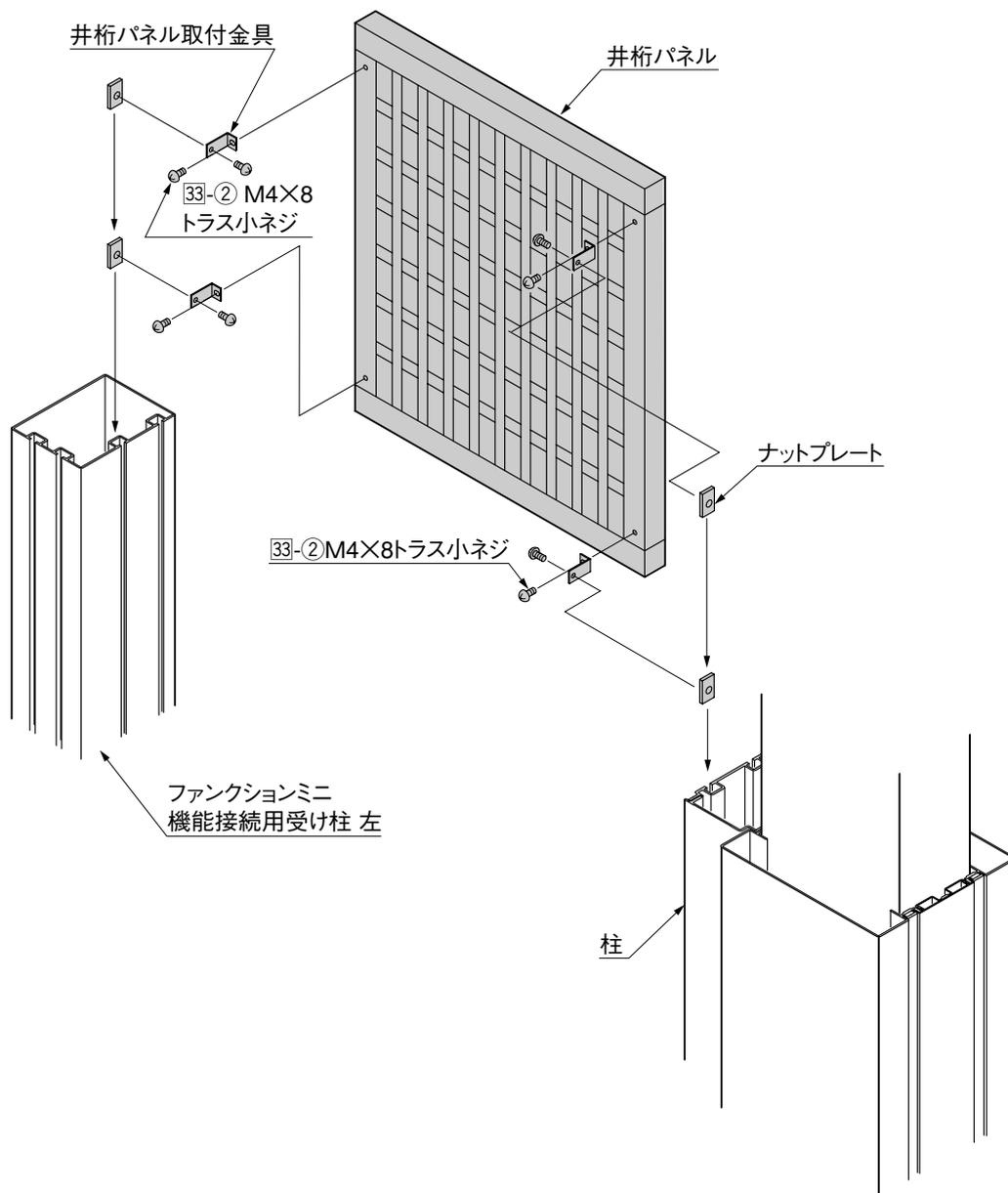
- ① ファンクションスリム機能接続用受け柱 左の内側の端部から7mmの位置およびピッチ415mmに、オプション取付金具取付孔位置(※1)を左右受け柱に各2ヶ所けがいてください。
- ② けがいた位置にφ5の取付孔をファンクションスリム機能接続用受け柱 左に各2ヶ所あけてください。

#### 補足

- 井桁パネルの取付位置は、「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
  - 井桁パネルを取付ける前に、必ず他に機器との取合いを確認してください。
  - ファンクションスリム機能接続用受け柱 左とファンクションスリム機能取付部パネルにオプション取付金具取付孔をあける際は、ファンクションスリム機能接続用受け柱 左と柱の取付孔が水平になるようにしてください。
- ③ オプション取付金具をファンクションスリム機能接続用受け柱の溝にはめ込んで、ファンクションスリム機能接続用受け柱 左とファンクションスリム機能取付部パネルの各2ヶ所に33-③で固定してください。
  - ④ 井桁パネル取付金具を井桁パネル本体に4ヶ所33-①で固定してください。
  - ⑤ 井桁パネル本体をオプション取付金具の間に入れて、井桁パネル取付金具をオプション取付金具に33-①で固定してください。

#### ポイント

- オプション取付金具の取付孔は、オプション取付金具端部から35mmの孔を使用してください。
- 井桁パネル取付金具を固定するときは、全長150mm以下の短形のドライバーを使用してください。
- 井桁パネル本体をオプション取付金具の間に入れる際は、ファンクションスリム機能接続用受け柱 左とファンクションスリム機能取付部パネルにキズがつかないように注意してください。

**8-2 ファンクションミニ 井桁パネルの取付け** ※パンチングパネルも同様の手順です。


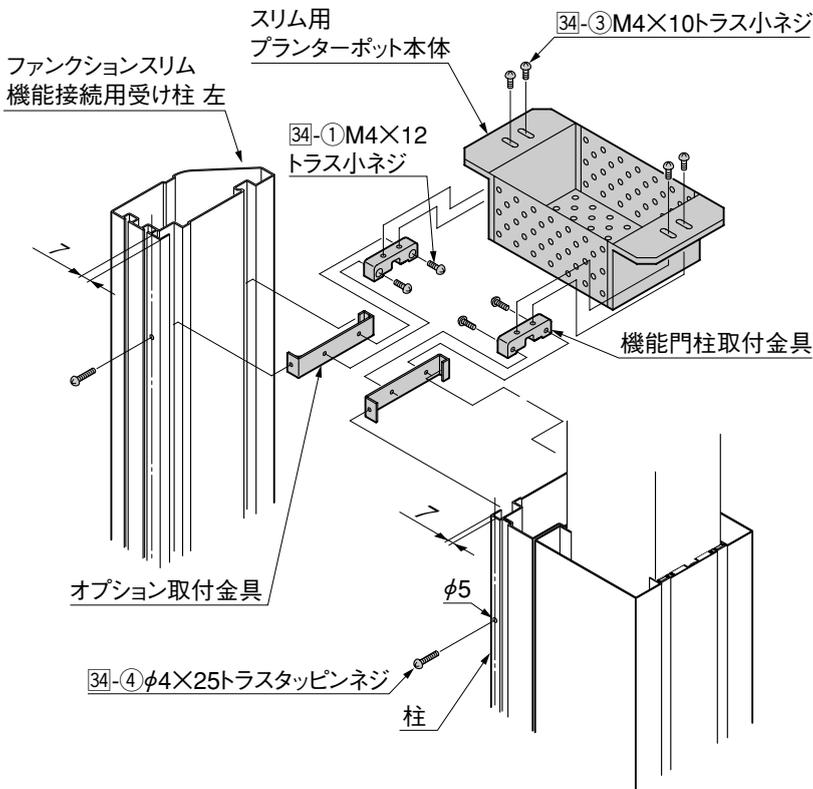
- ❶ 井桁パネル取付金具を33-②で固定してください。
- ❷ ナットプレートを井桁パネル取付金具に33-②で仮止めしてください。
- ❸ ナットプレートを柱後側の溝へすべり込ませて、33-②を固定してください。

**補足**

- 井桁パネル、パンチングパネルの取付位置は、「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 井桁パネル、パンチングパネルの取付けは柱の建て込み施工の前に行なってください。施工後の場合は、ポスト、センターブロック等を取りはずしてください。

## 9. プランターポットの取付け **オプション**

### 9-1 ファンクションスリム プランターポットの取付け



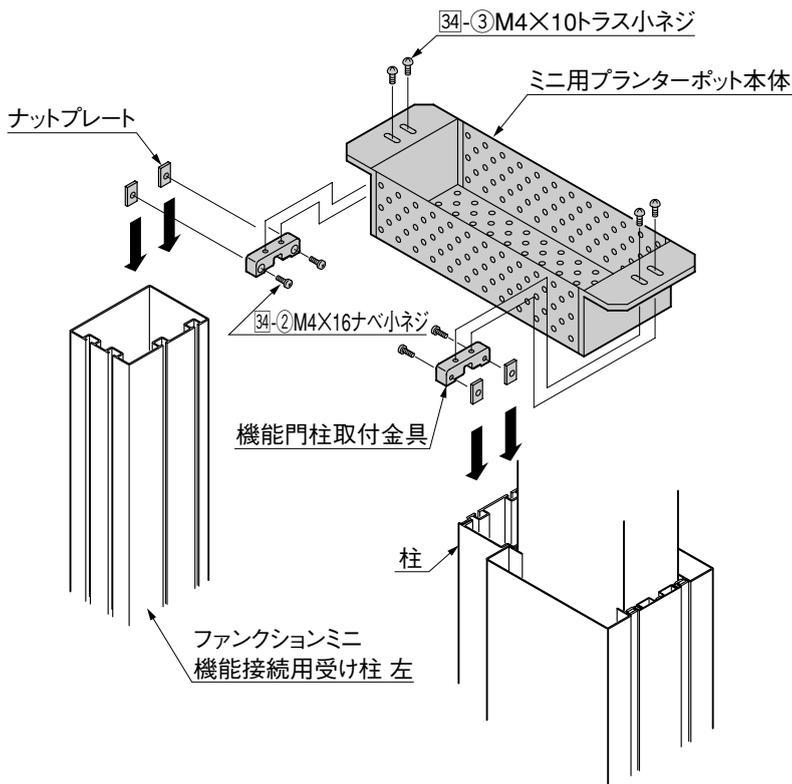
- 1 ファンクションスリム機能接続用受け柱 左の内側の端部から7mmの位置に、オプション取付け金具取付孔位置を左右に各1ヶ所けがいてください。
- 2 けがいた位置にφ5の取付孔を左右各1ヶ所にあけてください。

#### **ポイント**

- プランターポットを取付ける前に、必ず他に機器との取合いを確認してください。
- ファンクションスリム機能接続用受け柱 左とファンクションスリム機能取付部パネルにオプション取付金具取付孔をあける際は、ファンクションスリム機能接続用受け柱 左の取付孔が水平になるようにしてください。

- 3 機能門柱取付金具をオプション取付金具に34-①で固定してください。
- 4 オプション取付金具をファンクションスリム機能接続用受け柱 左とファンクションスリム機能取付部パネルの溝にはめ込んで、34-④で固定してください。
- 5 プランターポット本体を機能門柱取付金具に、34-③で固定してください。

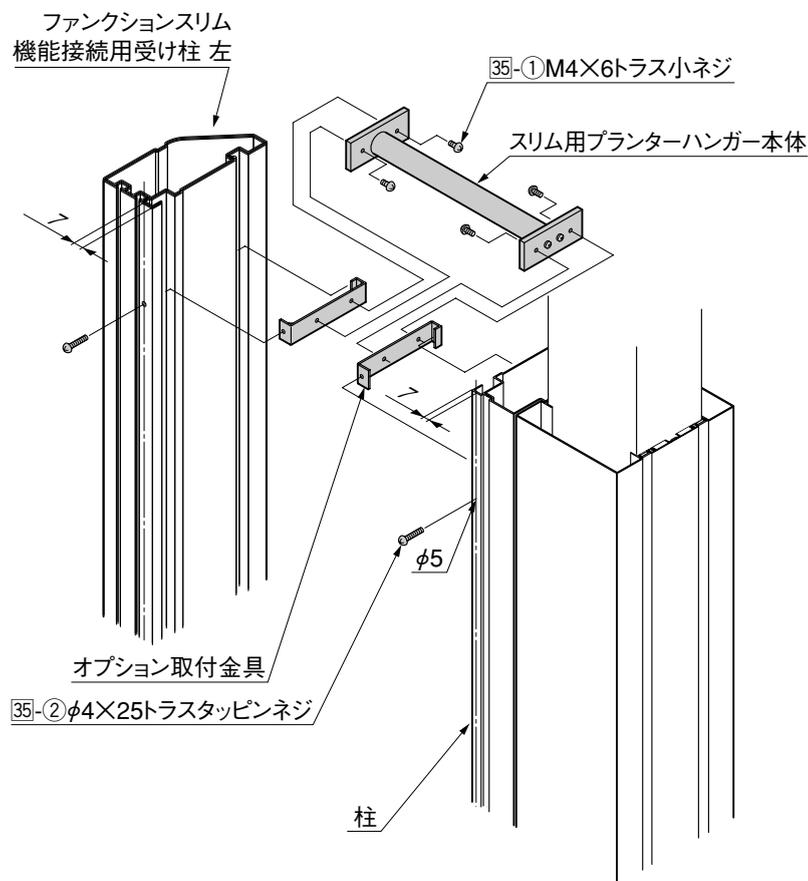
### 9-2 ファンクションミニ プランターポットの取付け



- 1 ナットプレートを機能門柱取付金具に34-②で仮止めしてください。
- 2 ナットプレートをファンクションミニ機能接続用受け柱 左と柱の溝に差し込んで、34-②で固定してください。
- 3 プランターポット本体を機能門柱取付金具に、34-③で固定してください。

## 10. プランターハンガーの取付け **オプション**

### 10-1 ファンクションスリム プランターハンガーの取付け

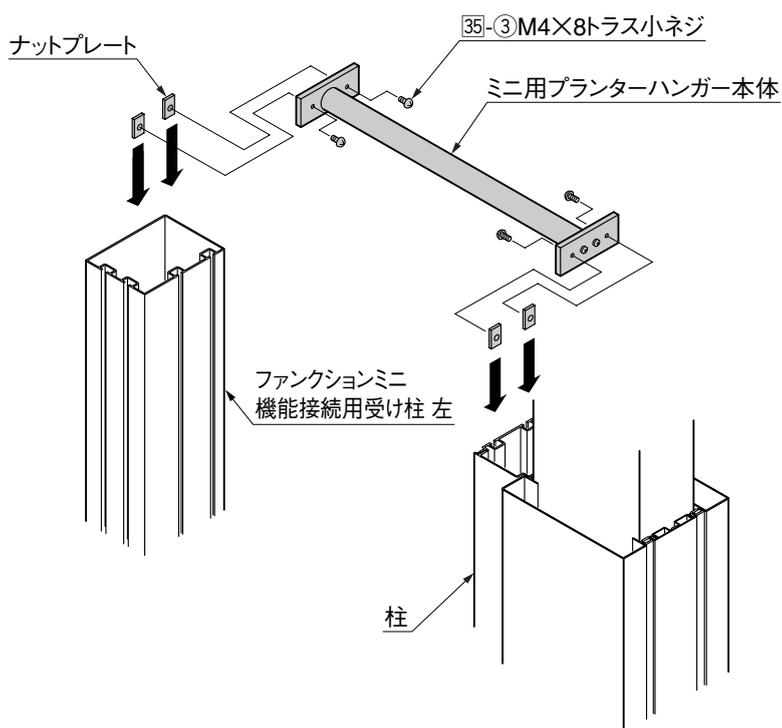


- 1 ファンクションスリム機能接続用受け柱 左の内側の端部から7mmの位置に、オプション取付金具取付孔位置を左右に各1ヶ所けがいてください。
- 2 けがいた位置にφ5の取付孔を左右各1ヶ所にあけてください。

#### **ポイント**

- プランターハンガーを取付ける前に、必ず他に機器との取合いを確認してください。
  - ファンクションスリム機能接続用受け柱 左とファンクションスリム機能取付部パネルにオプション取付金具取付孔をあける際は、ファンクションスリム機能接続用受け柱 左の取付孔が水平になるようにしてください。
- 3 オプション取付金具をファンクションスリム機能接続用受け柱 左の溝にはめ込んで、35-②で固定してください。
  - 4 プランターハンガー本体をオプション取付金具に、35-①で固定してください。

### 10-2 ファンクションミニ プランターハンガーの取付け



#### **ポイント**

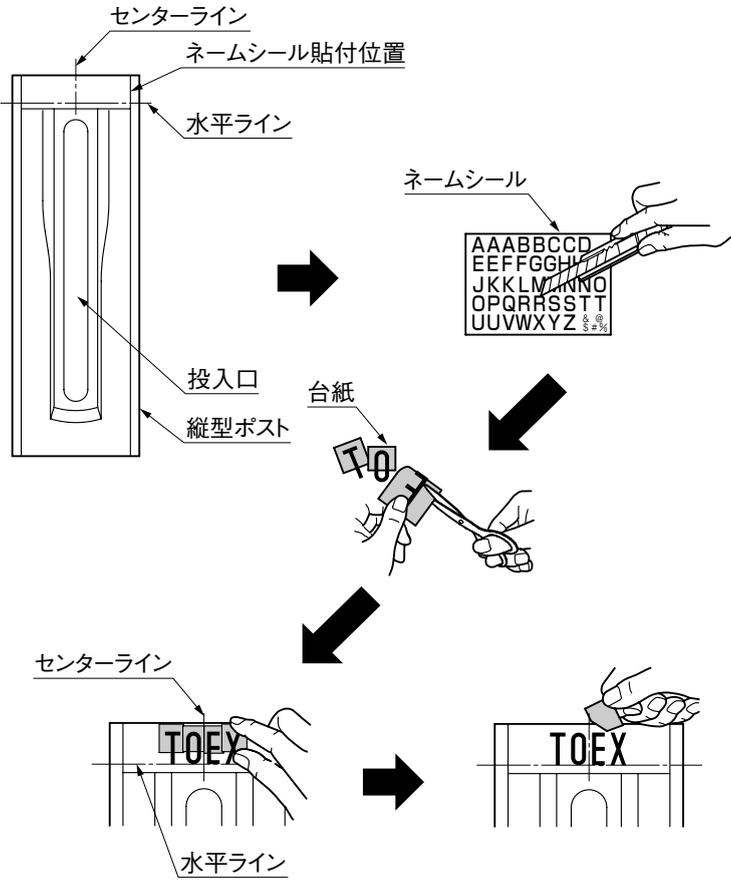
- プランターハンガー本体をオプション取付金具に固定するときは、全長150mm以下の短形ドライバーを使用してください。
- 1 ナットプレートをプランターハンガー本体に35-③で仮止めしてください。
  - 2 ナットプレートをファンクションミニ機能接続用受け柱 左と柱の溝に差し込んで、35-③で固定してください。

#### **ポイント**

- プランターハンガー本体の取付けは、柱の建て込み施工の前に行なってください。施工後の場合、ポスト、センターブロックミニ等を取りはずしてください。

# 11. ネームシールの貼り方

## 11-1 縦型ポストに貼る場合

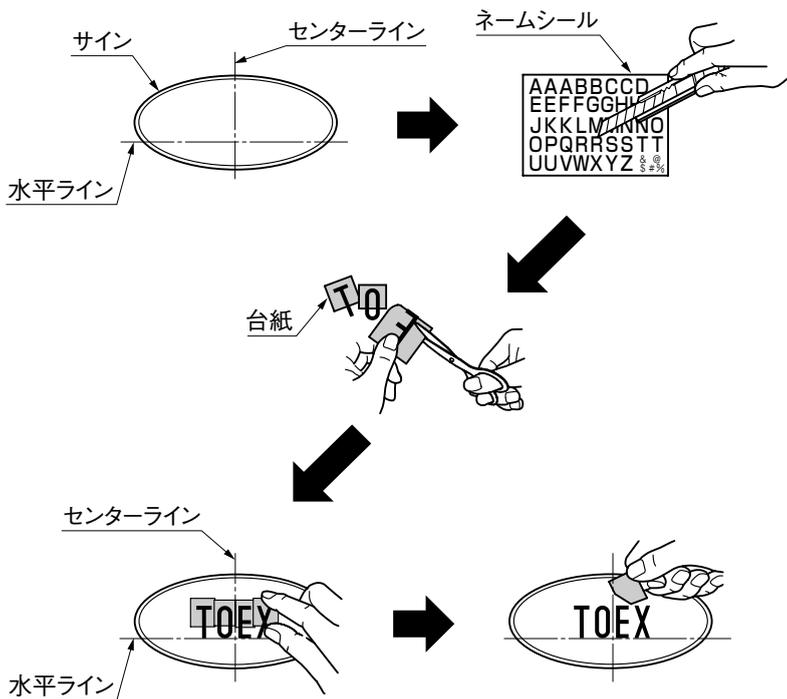


### ポイント

● 施工時にネームシールを貼らない場合は、ネームシールを必ず施主様にお渡しください。

- ① 縦型ポストにあとから消せる物で、センターラインと水平ラインを引いてください。
- ② ネームシールから必要な文字を少し小さめに切り離してください。
- ③ 文字を切らないように注意して、台紙をハサミで5分の1程度切り取ってください。
- ④ 水平ラインと文字の位置を合わせて、文字をセンターラインから左右等間隔になるよう仮貼りしてください。
- ⑤ 台紙をはがし文字が縦型ポストからはがれないようにしっかり貼付けてください。
- ⑥ センターラインと水平ラインを消してください。

## 11-2 サインに貼る場合



### ポイント

● 施工時にネームシールを貼らない場合は、ネームシールを必ず施主様にお渡しください。

- ① サインプレートにあとから消せる物で、センターラインと水平ラインを引いてください。
- ② ネームシールから必要な文字を少し小さめに切り離してください。
- ③ 文字を切らないように注意して、台紙をハサミで5分の1程度切り取ってください。
- ④ 水平ラインと文字の位置を合わせて、文字をセンターラインから左右等間隔になるよう仮貼りしてください。
- ⑤ 台紙をはがし文字がサインプレートからはがれないようにしっかり貼付けてください。
- ⑥ センターラインと水平ラインを消してください。

## 12. 両支持柱と梁の取付け

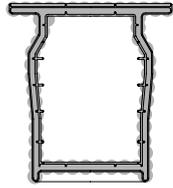
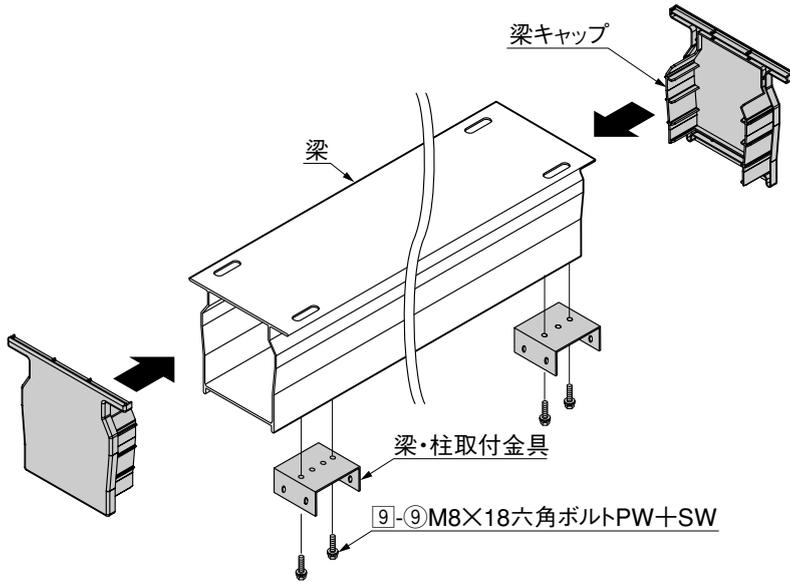


図12-1 シーリング材充てん箇所(※)

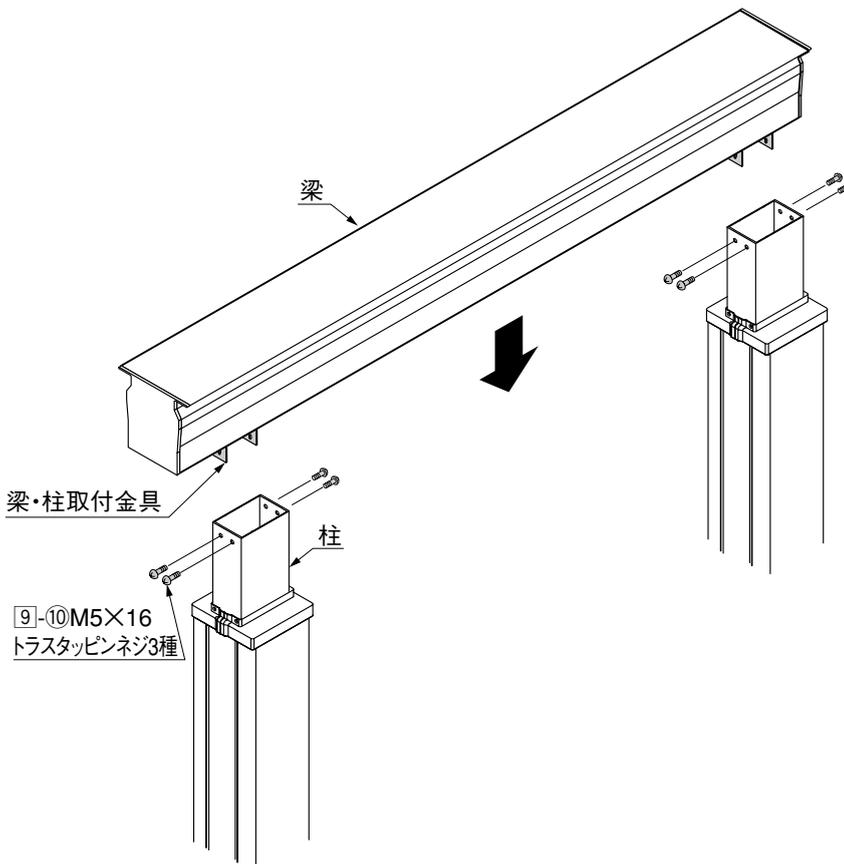


- 1 梁キャップにシーリング材を充てんして、梁両端に取付けてください。(図12-1参照)

- 2 梁に梁・柱取付金具を9-9で取付けてください。

### ポイント

- 指定の個所にシーリングしてください。(※)
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。



- 3 梁・柱取付金具を柱に差込んで、柱と梁を9-10で取付けてください。

# 13. 両支持柱と中間柱の施工 ※( )内は中間柱の場合です。

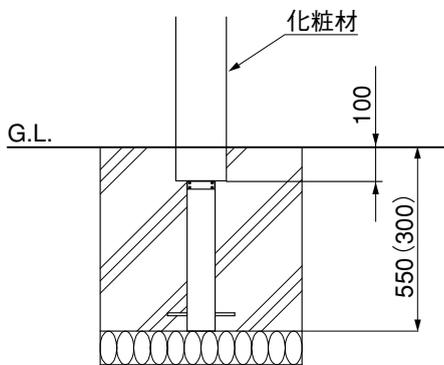
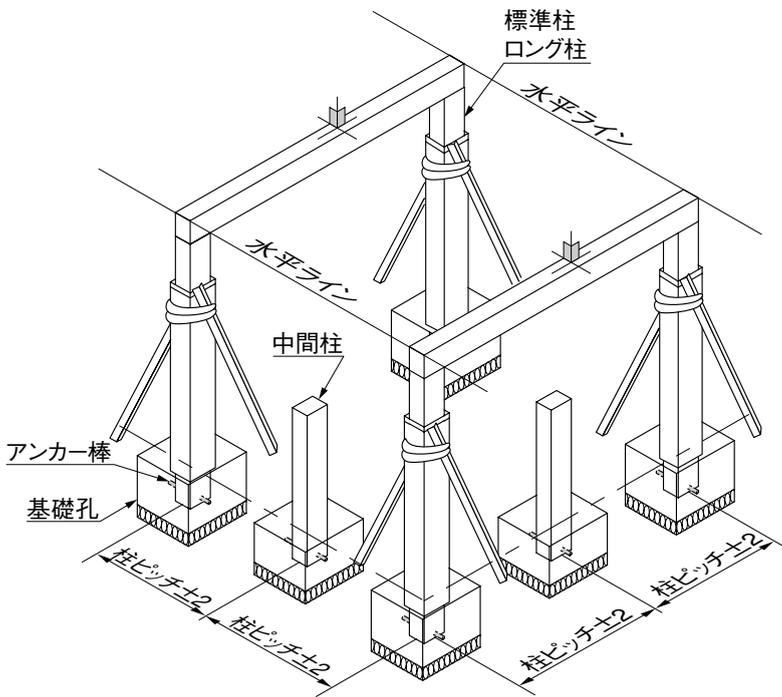


図13-1 スタンダードスタイル・アーキモダンスタイルの場合

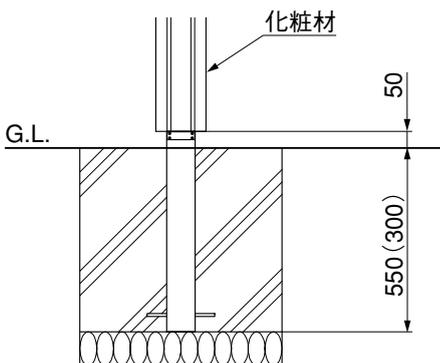


図13-2 ナチュラルスタイルの場合

① 柱にアンカー棒を差込み、柱を基礎孔に設置してください。

### 補足

- 標準柱・ロング柱の埋込深さは各スタイルとも550mmです。
- 中間柱の埋込深さは各スタイルとも300mmです。
- 化粧材の納まりは各スタイルで異なります。(図13-1, 図13-2参照)

② 控え木などで柱が自立できるようにして、「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法図」で柱ピッチを確認してください。

③ 隣の柱との高低差、柱の倒れがないよう調整してください。

### ポイント

- 隣の柱との高低差や倒れがあると、桁が取付きません。また、排水性が低下するおそれがあります。
- 中間柱にフェンスを取付ける場合は、柱ピッチのズレが大きいとフェンスが取付かないおそれがあります。

④ 基礎孔にコンクリートを打設してください。

### ポイント

- コンクリート打設後に施工寸法の狂いが生じていないか確認してから養生してください。
- 養生期間中、柱内部に雨水が入らないようにしてください。

# 14. 片支持柱と中間柱の施工 ※( )内は中間柱の場合です。

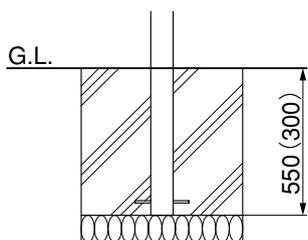
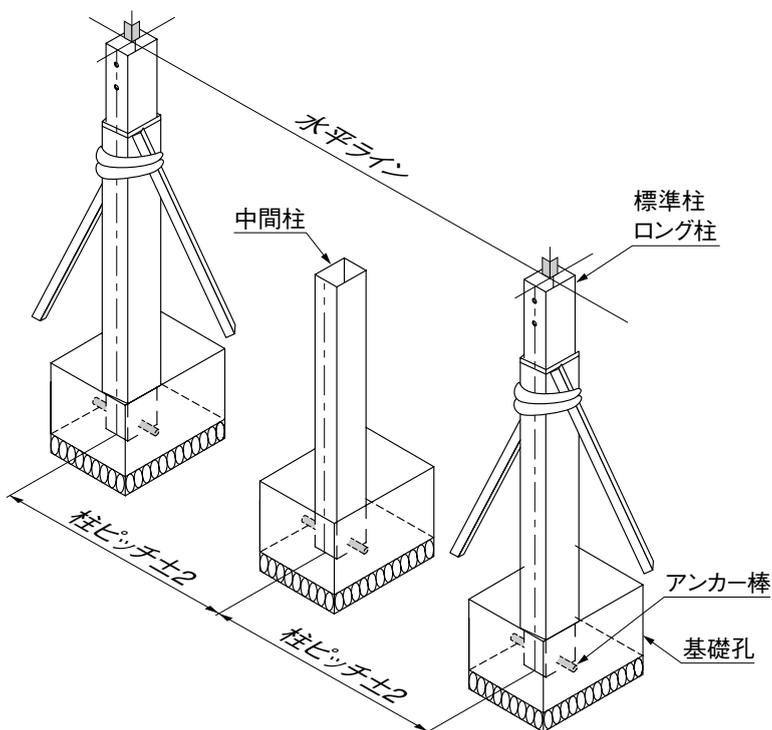


図14-1 ベーシックスタイルの場合

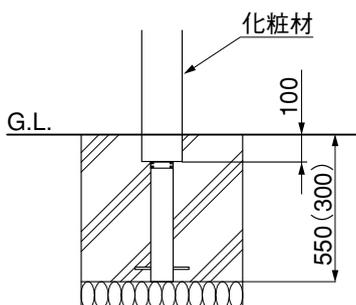


図14-2 スタダードスタイル・アーキモダスタイルの場合

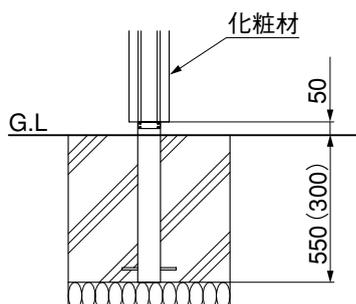


図14-3 ナチュラルスタイルの場合

① 柱にアンカー棒を差込み、柱を基礎孔に設置してください。

### 補足

- 標準柱・ロング柱の埋込深さは各スタイルとも550mmです。
- 中間柱の埋込深さは各スタイルとも300mmです。
- 化粧材の納まりは各スタイルで異なります。(図14-1,図14-2,図14-3参照)

② 控え木などで柱が自立できるようにして、「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法図」で柱ピッチを確認してください。

③ 隣の柱との高低差、柱の倒れがないよう調整してください。

### ポイント

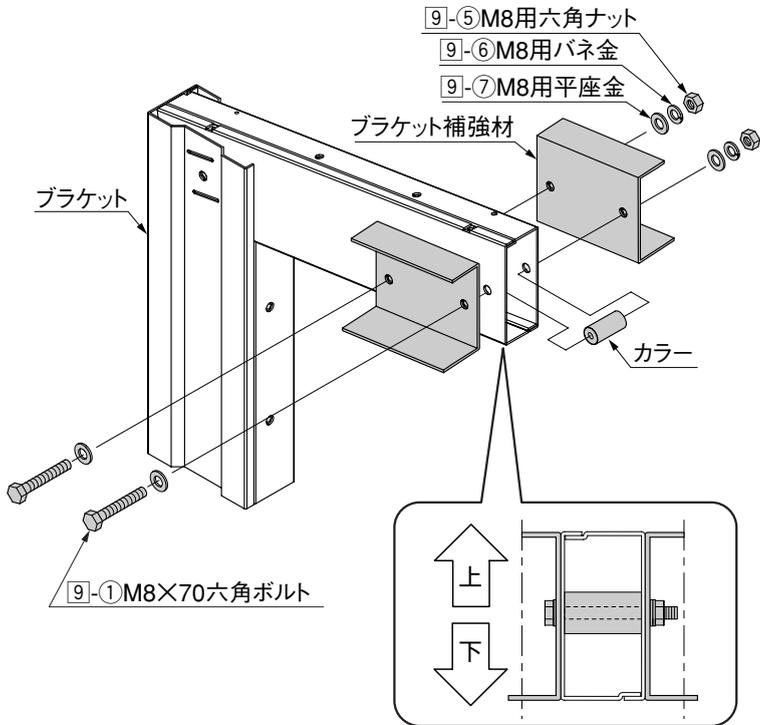
- 隣の柱との高低差や倒れがあると、桁が取付きません。また、排水性が低下するおそれがあります。
- 中間柱にフェンスを取付ける場合は、柱ピッチのズレが大きいとフェンスが取付かないおそれがあります。

④ 基礎孔にコンクリートを打設してください。

### ポイント

- コンクリート打設後に施工寸法の狂いが生じていないか確認してから養生してください。
- 養生期間中、柱内部に雨水が入らないようにしてください。

# 15. ブラケットの取付け



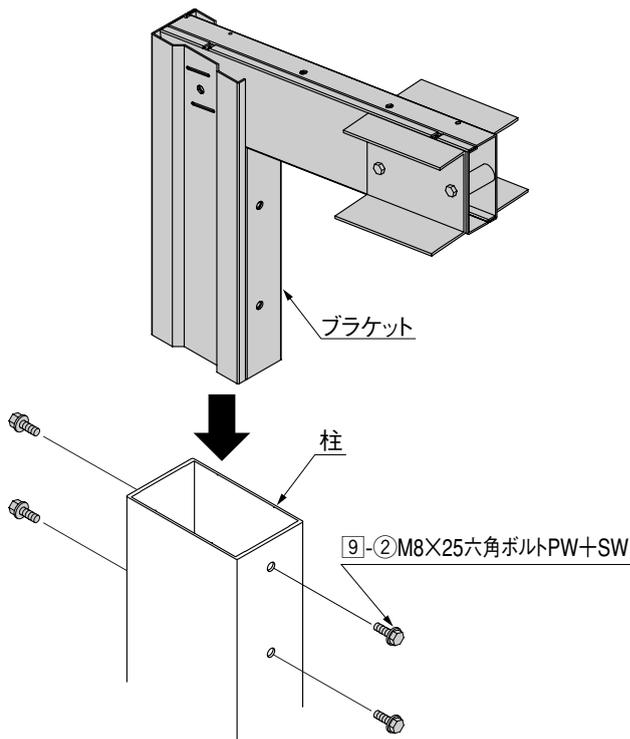
**ポイント**

● 基礎コンクリートが硬化していることを確認してください。

① ブラケットにブラケット補強材を9-①、9-⑤、9-⑥、9-⑦で先端のみカラーを使用して、取付けてください。

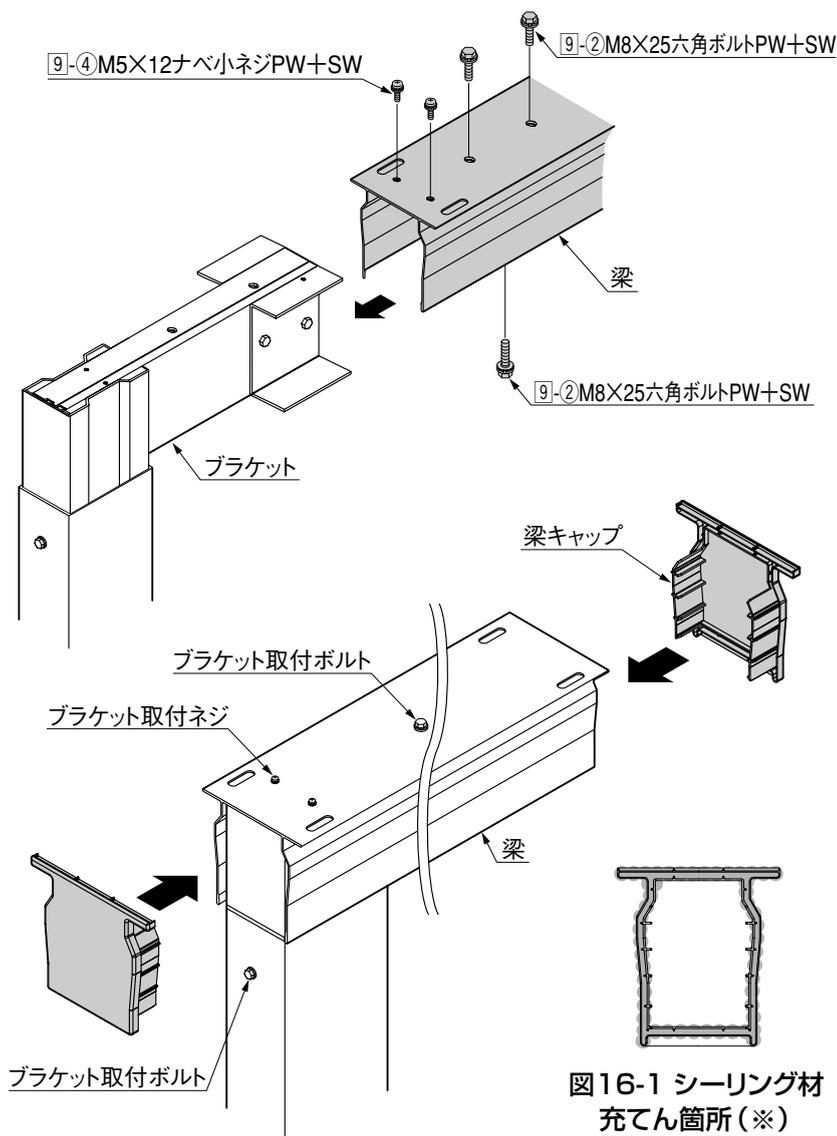
**ポイント**

● ブラケット補強材には上下方向があります。下側の出っ張りが大きくなる方向で取付けてください。取付け方向を間違えると梁が取付きません。



② ブラケットを柱に差込んで、9-②で取付けてください。

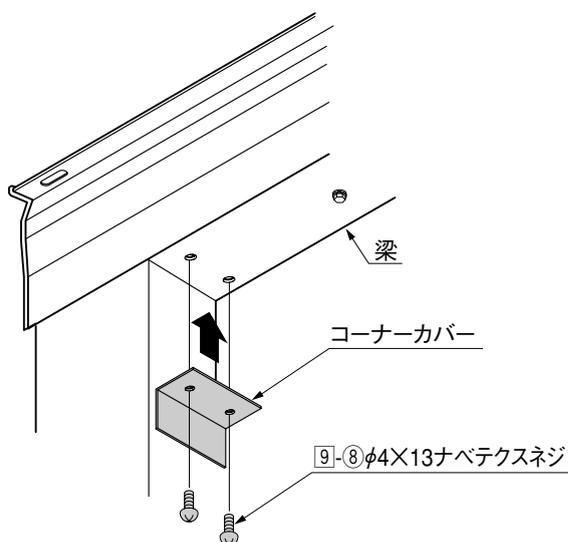
## 16. 片支持柱と梁の取付け



- ① 梁をブラケットの奥まで差込んでください。
- ② 9-2、9-4で梁とブラケットを固定してください。
- ③ 梁キャップにシーリング材を充てんして、梁に取付けてください。  
(図16-1参照)

### ポイント

- 指定の個所にシーリングしてください。(※)
- 同梱のプチルシーリングを使用してください。
- 梁キャップが梁に取付けづらい場合は、一旦、ブラケット取付ボルトとブラケット取付ネジをゆるめてから、梁キャップを取付けてください。  
取付後は、ブラケット取付ボルトとブラケット取付ネジを締め込んでください。

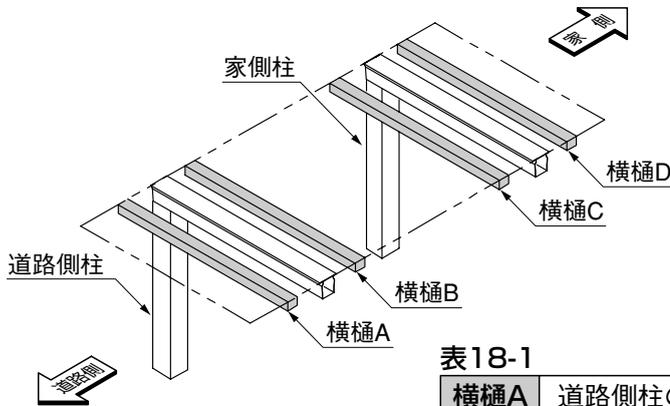


- ④ コーナーカバーを9-8で梁に取付けてください。



# 18. 桁の取付け

## 18-1 横樋取付位置の決定 ※L51, L57タイプの場合の作業です。



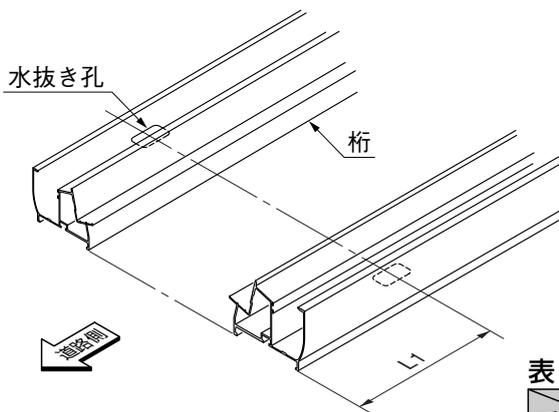
- ① 横樋の取付位置を図の横樋A・横樋B・横樋C・横樋Dから決定してください。

表18-1

横樋A	道路側柱の道路側面
横樋B	道路側柱の家側面
横樋C	家側柱の道路側面
横樋D	家側柱の家側面

## 18-2 桁取付方向の確認 ※L51, L57タイプの場合の作業です。

### (1) 横樋取付位置が横樋A, 横樋Cの場合

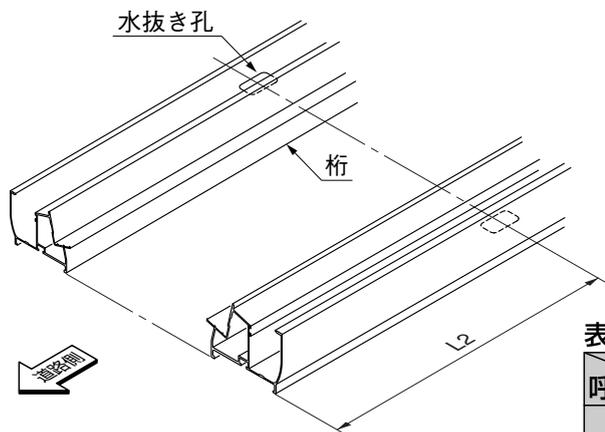


- ① 表18-2を参照して、道路側の桁端部から水抜き孔までの寸法がL1の数値になる方向で桁を取付けてください。

表18-2

呼称	寸法	L1
L51		703
L57		520

### (2) 横樋取付位置が横樋B, 横樋Dの場合



- ① 表18-3を参照して、道路側の桁端部から水抜き孔までの寸法がL2の数値になる方向で桁を取付けてください。

表18-3

呼称	寸法	L2
L51		1395
L57		1213

# 18. つづき

## 18-3 桁の取付け

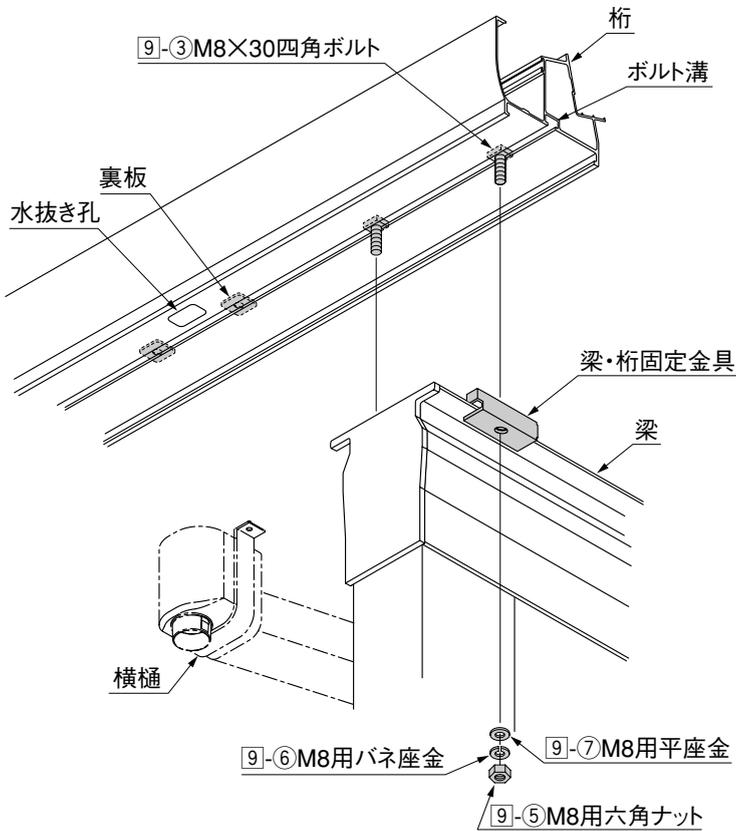


図6-1 横樋取付位置Bの場合

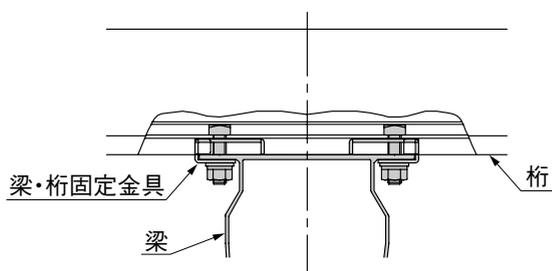


図18-2 梁・桁納まり図

- ① 9-③を2本、桁下面のボルト溝に取付けてください。
- ② 桁下面のボルト溝に横樋取付用の裏板を2枚取付けてください。

### ポイント

- オプションのパーゴラを取付ける場合は、あらかじめ桁下面のボルト溝に裏板を必要な枚数だけ取付けておく必要があります。取付けは、「6.パーゴラの取付け 1.パーゴラの取付け」を参照してください。
- オプションのロールスクリーンを取付ける場合は、あらかじめ桁下面のボルト溝に39-①を4本取付けておく必要があります。取付けは、「7.ロールスクリーンの取付け 1.ロールスクリーン W2000の取付け」を参照してください。

### ポイント

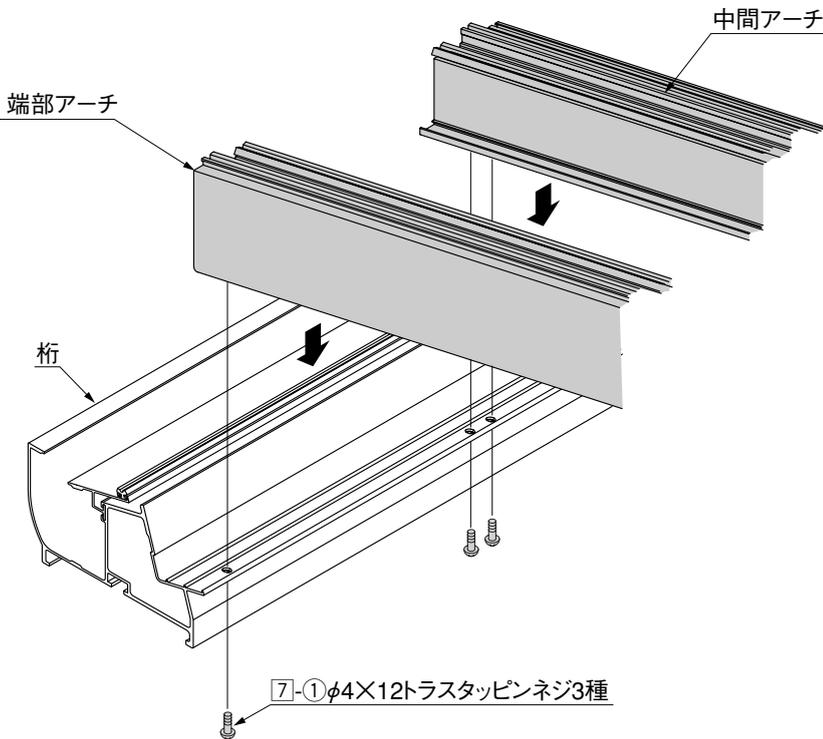
- 横樋取付位置によってボルト溝への裏板と9-③の取付順序が変わります。事前に決定した横樋取付位置に裏板が2枚入っていることを確認してください。

- ③ 梁の長孔加工部に梁・桁固定金具を取付けてください。
- ④ 桁を梁の上に乗せて、9-③が梁・桁固定金具と梁の長孔加工部を貫通するように設置してください。
- ⑤ 柱から桁端部までの寸法が家側・道路側で均等になるよう調整してください。
- ⑥ 9-⑤、9-⑥、9-⑦を9-③に仮止めしてください。

### 補足

- 梁・桁連結部は、端部アーチ、中間アーチ取付後に屋根部の直角を確認してから固定してください。

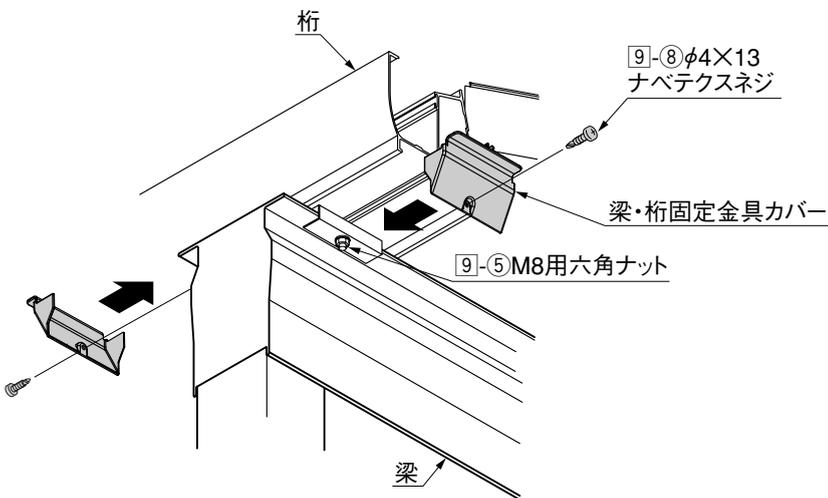
# 19. 端部アーチ・中間アーチの取付け



- ❶ 桁に端部アーチ・中間アーチを7-1で取付けてください。
- ❷ 端部アーチ・中間アーチが桁に対して直角になっているか確認してください。

**ポイント**

- 端部アーチ・中間アーチが桁に対して直角でないと屋根材を正しく施工することができません。



- ❸ 梁・桁連結部の9-5を本締めしてください。
- ❹ 桁下面のボルト溝に、梁・桁固定金具カバーの突起部を差し込んで、梁に9-8で固定してください。(図19-1参照)

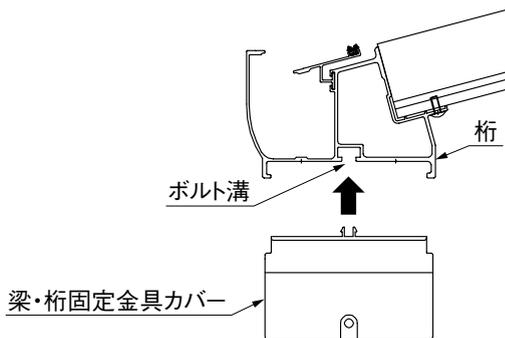
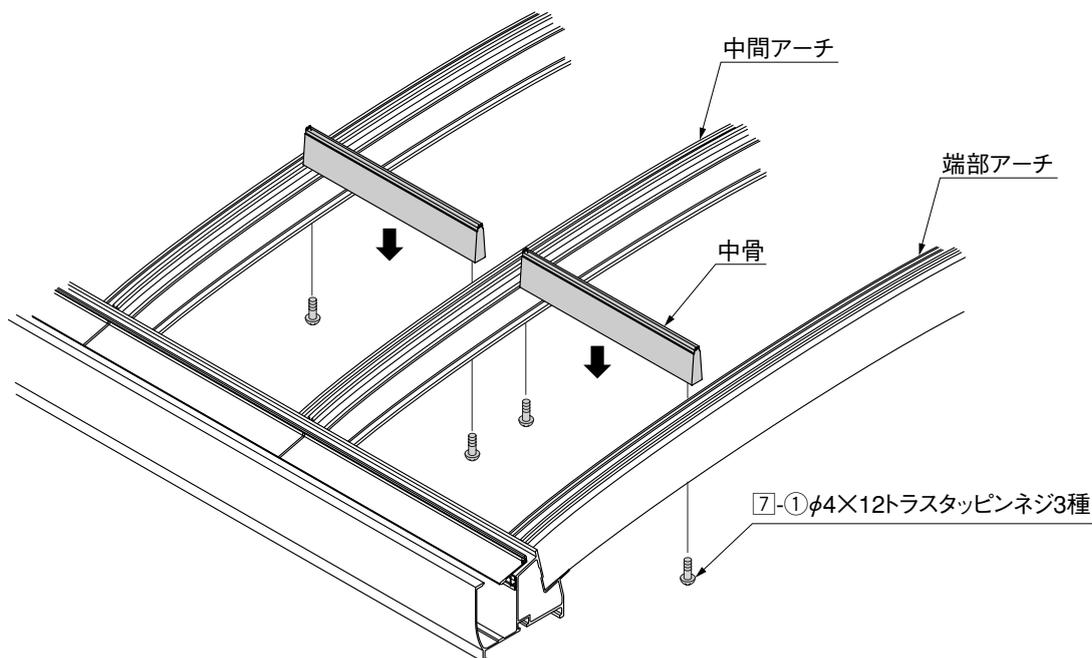


図19-1

## 20. 中骨の取付け



- ① 中骨を端部アーチと中間アーチに7-1で取付けてください。

## 21. 屋根パネルの取付け

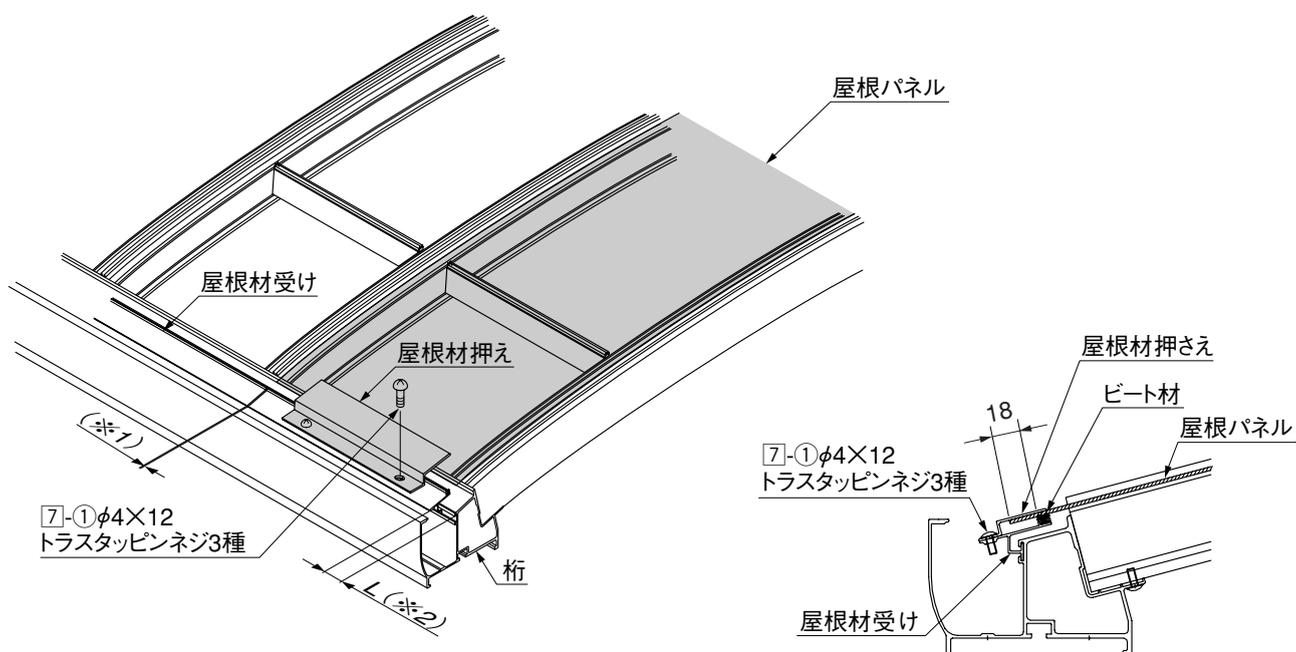


図21-1 屋根パネル納まり図

- ① 桁に取付いている屋根材受けの隣同士のすき間(※1)をなくしてください。
- ② 桁端部から屋根材受けまでの距離L(※2)を両側で均等にしてください。
- ③ 屋根パネルを乗せて、屋根材受けのビート材から約18mmずつ出る位置に置いてください。(図21-1参照)
- ④ 屋根材押えを屋根材受けに7-1で取付けてください。



## 22. 横樋の取付け

### 22-1 横樋の組立て

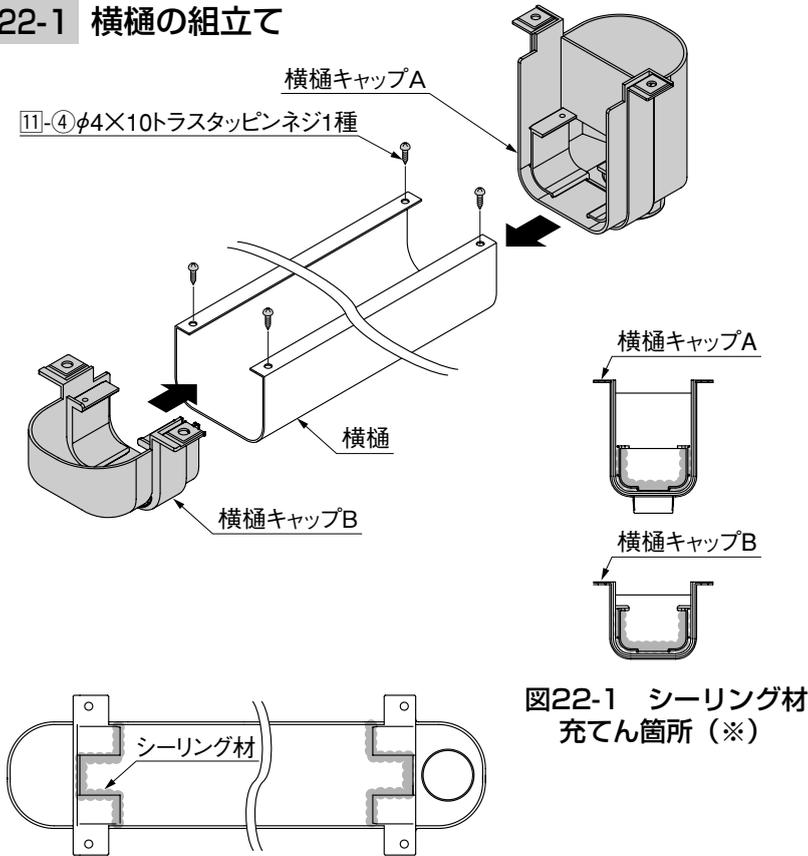
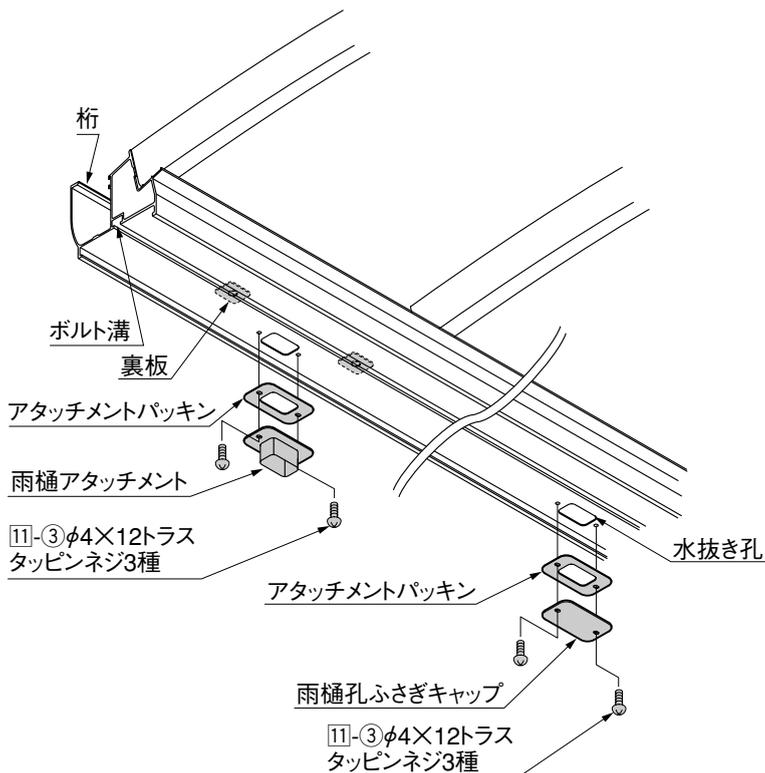


図22-2

### 22-2 雨樋アタッチメントの取付け



① 横樋キャップAと横樋キャップBにシーリング材を充てんして、横樋に差込み⑪-④で取付けてください。(図22-1参照)

② 横樋キャップAと横樋キャップBの内側にシーリング材を充てんしてください。(図22-2参照)

#### ポイント

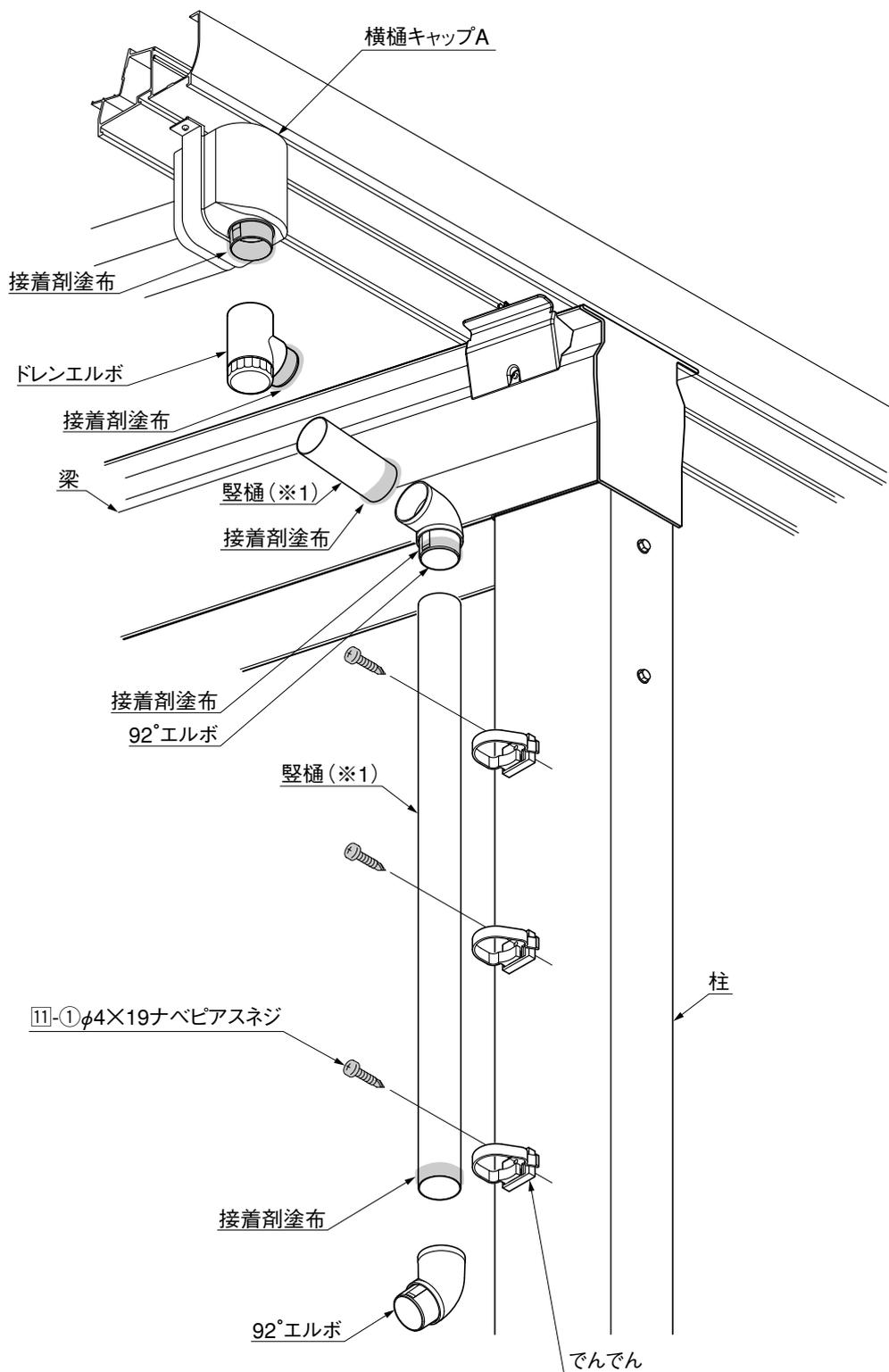
- 指定の個所にシーリングしてください。(※)
- 同梱のプチルシーリングを使用してください。
- シーリング材を十分充てんしないと雨水がもれるおそれがあります。

#### 補足

- 奥行き13型、20型、25型には、水抜き孔は1ヶ所しかありません。



## 23. 縦樋の取付け



- ① 縦樋(※1)は取付位置を確認して、現場加工をして使用してください。
- ② 横樋キャップAにドレンエルボ、縦樋、92°エルボを接着剤で取付けてください。
- ③ でんでんを柱に11-①で取付けてください。
- ④ 縦樋をでんでんに取付けてください。

## 24. 桁キャップの取付け

※桁キャップRも同様の作業です。

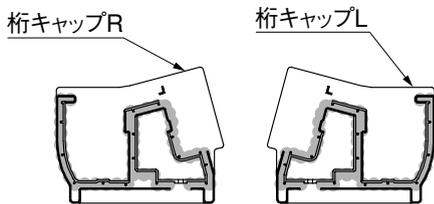
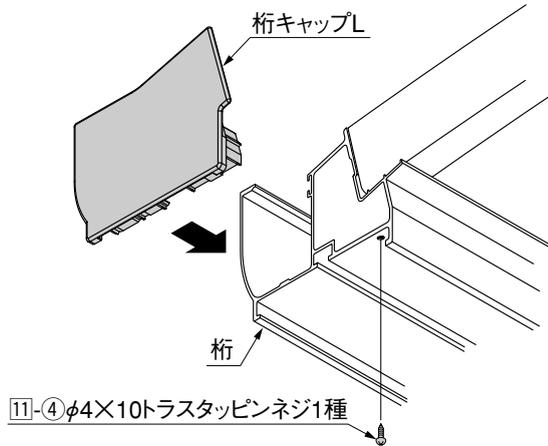
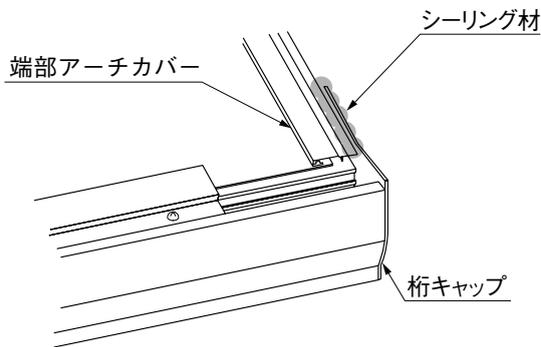


図24-1 シーリング材充てん箇所 (※)



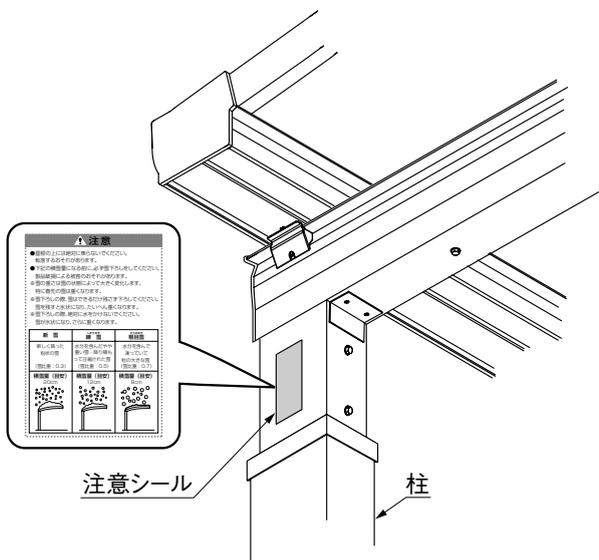
- ① 桁キャップLにシーリング材を充てんし、桁に取付けてください。  
(図24-1参照)
- ② 桁キャップLと桁を11-④で固定してください。

- ③ 桁キャップと端部アーチカバーとの隙間にシーリング材を充てんしてください。

### ポイント

- 指定の個所にシーリングしてください。(※)
- 同梱のプチルシーリングを使用してください。
- シーリング材を十分充てんしていないと雨水が漏れるおそれがあります。

## 25. 注意シールの貼付け



- ① 必ず注意シールを柱の目立つ位置に貼ってください。

### 注意

- 注意シールは、施主様に安全に使用していただくために必要です。

### 3 縦連棟の施工方法

#### 1. 基礎の施工

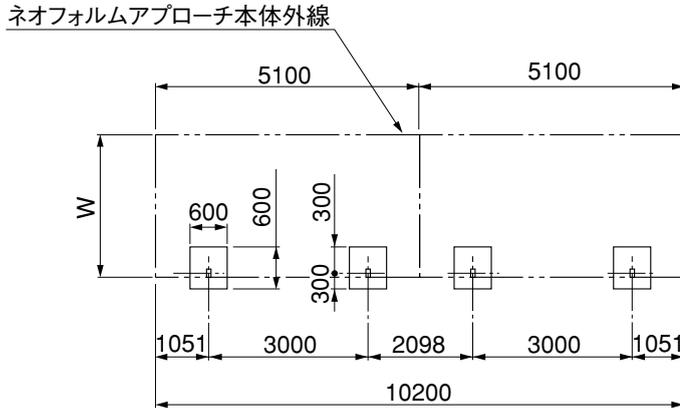


図1-1 奥行き51縦連棟タイプ

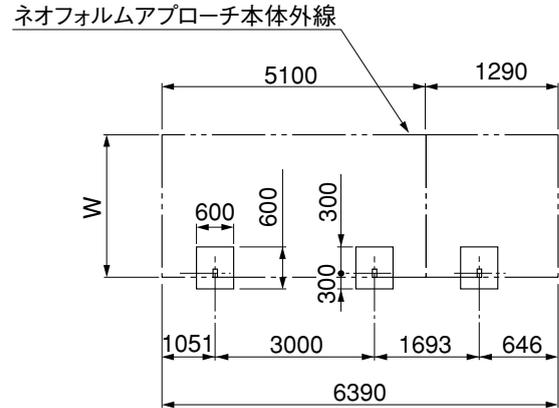


図1-3 奥行き51+13延長タイプ

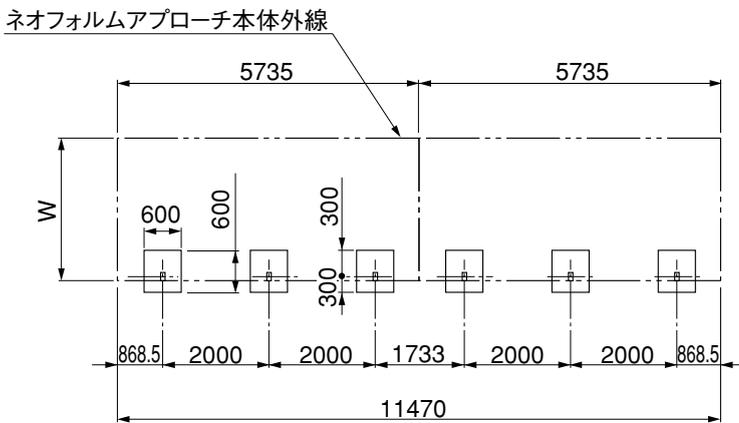


図1-2 奥行き57縦連棟タイプ

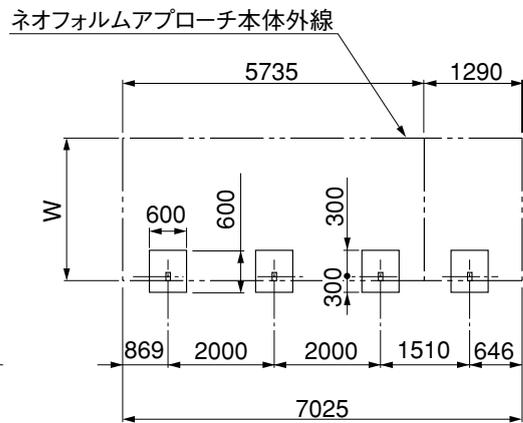


図1-4 奥行き57+13延長タイプ

表1-1

サイズ呼称	W
18	1787
21	2087

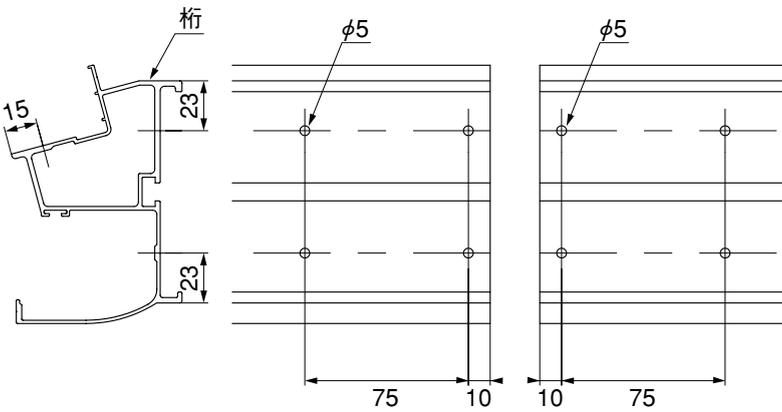
- ① 柱の埋込み位置を出して、基礎孔を掘ってください。

**補足**

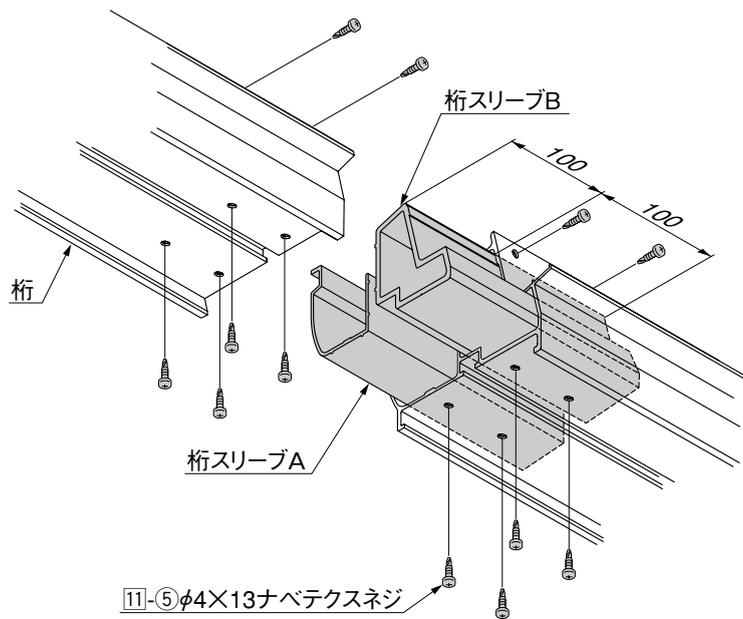
- 基礎構造については「1.基本寸法と各部の名称 2.基本寸法」を参照してください。
- 柱の移動は±100mm以内です。

## 2. 桁の連結

※端部アーチの取付け前に行なう作業です。



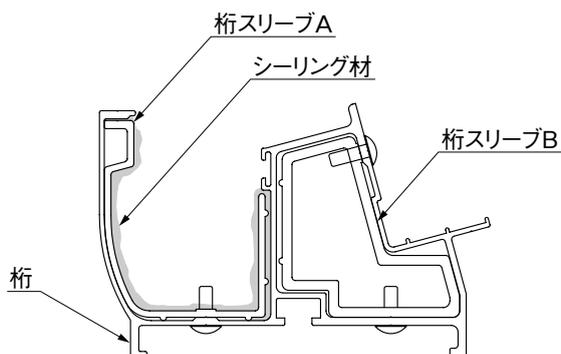
- ① 図を参照して、桁にφ5の孔を加工してください。



- ② 桁スリーブA、桁スリーブBを桁に100mmづつのみこませて、11-⑤で取付けてください。

### ⚠ 注意

- 梁と桁を仮止めした後に行なってください。仮止めしていない場合は、桁が梁から落下して部材の破損やケガのおそれがあります。



- ③ 桁スリーブAと桁内側のすきまにシーリング材を充てんしてください

### 🔑 ポイント

- 指定の個所にシーリングしてください。
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。
- シーリング材を十分に充てんしていないと雨水がもれるおそれがあります。

### 3. 連棟部分の組付け

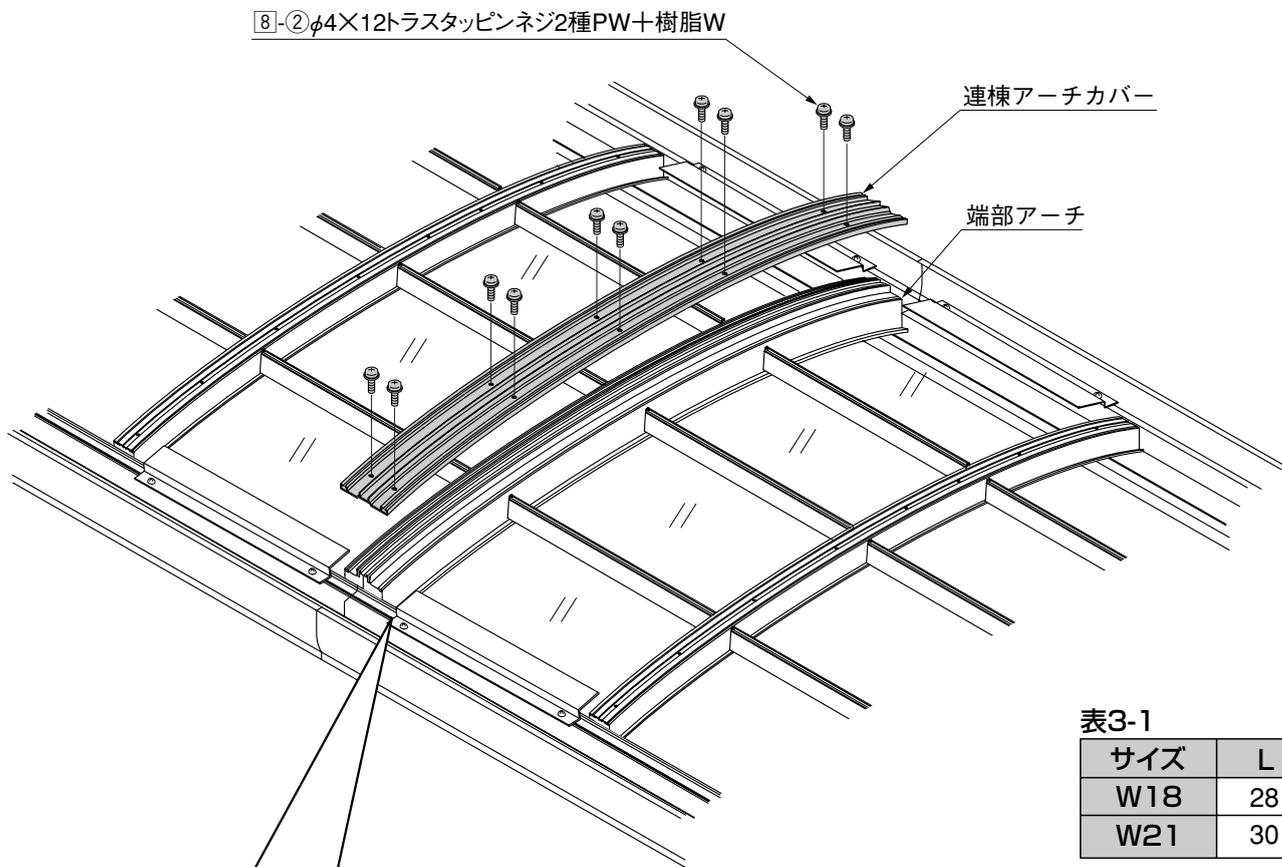


表3-1

サイズ	L
W18	28
W21	30

表3-2

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業	シーラント72
東芝シリコン	トスシール380
トーレシリコン	SE960

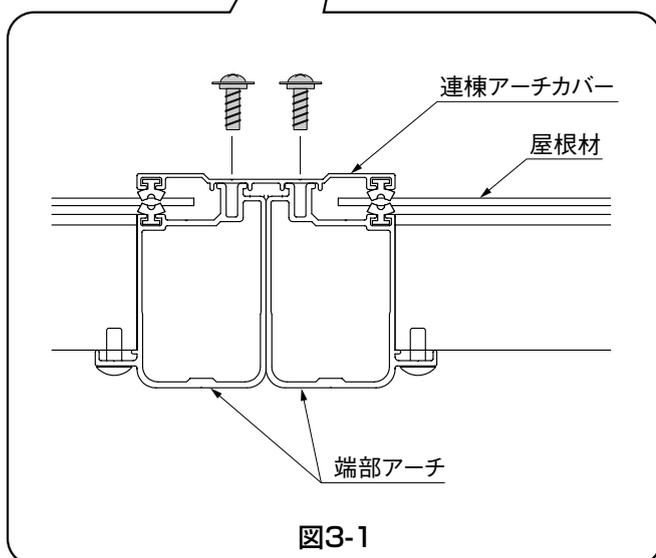


図3-1

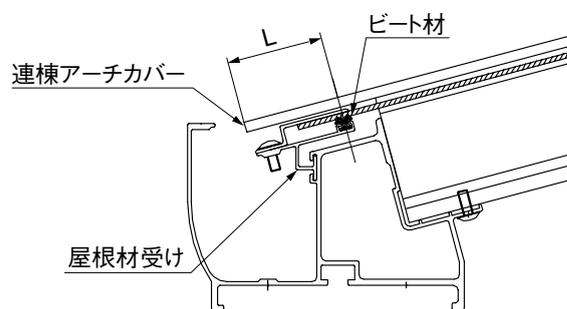


図3-2 連棟アーチカバー納まり図

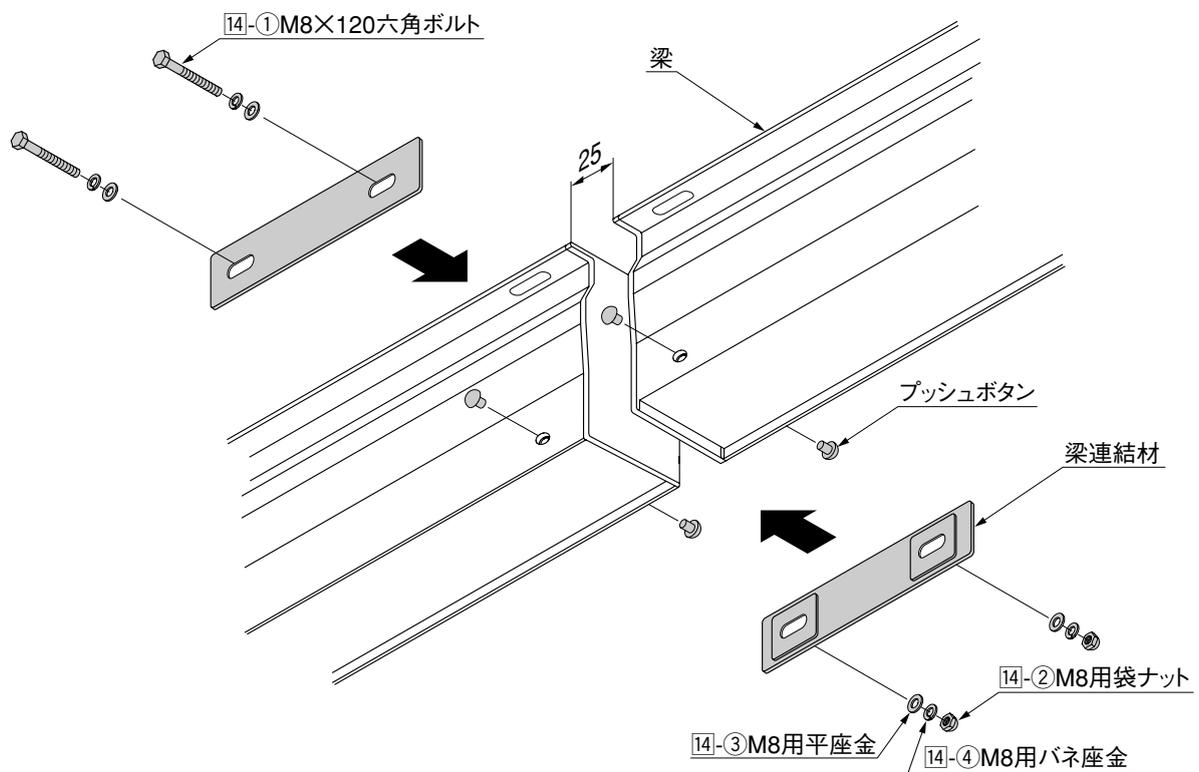
❶ 表3-1を参照して端部アーチに連棟アーチカバーを[8]-②で取付けてください。(図3-1, 図3-2参照)

**補足**

- アーチカバーの周囲にシーリングする場合は、弊社指定のシーリング材を使用してください。(表3-2参照)

## 4 M合掌の施工方法

### 1. 梁連結材の取付け



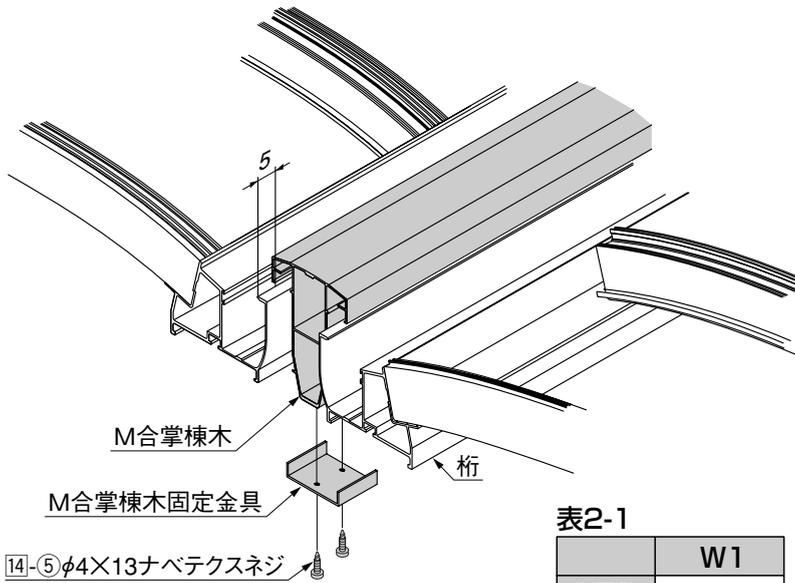
- ❶ 梁のプッシュボタンを取外して、梁連結材を14-①、14-②、14-③、14-④で取付けてください。

#### 🔑 ポイント

- 梁と梁の間隔は25mmです。

## 2. M合掌棟木の取付け

※屋根パネル取付け前に行なう作業です。



- 1 M合掌棟木を桁の上から取付けてください。(図2-1参照)

### ポイント

- 桁の端部から5mmあけてください。

表2-1

	W1
L51	1500
L57	1300

- 2 図2-2を参照して、M合掌棟木固定金具をM合掌棟木に14-5で取付けてください。

### ポイント

- L20, L25, L57の場合は中心にも取付けます。(※1)

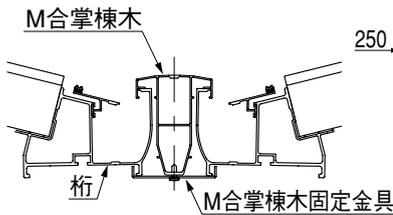


図2-1 M合掌棟木納まり図

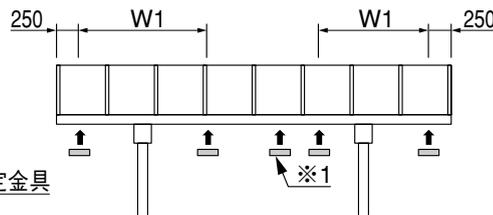


図2-2 M合掌棟木固定金具取付位置

## 3. M合掌キャップの取付け

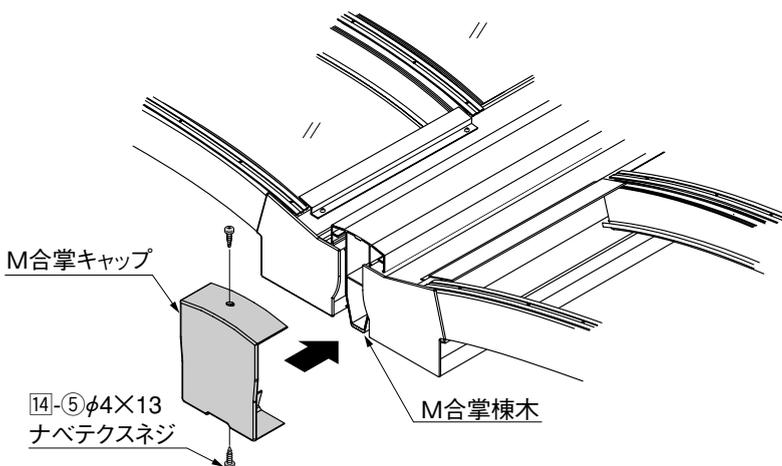


図3-1 シーリング材充てん箇所 (※)

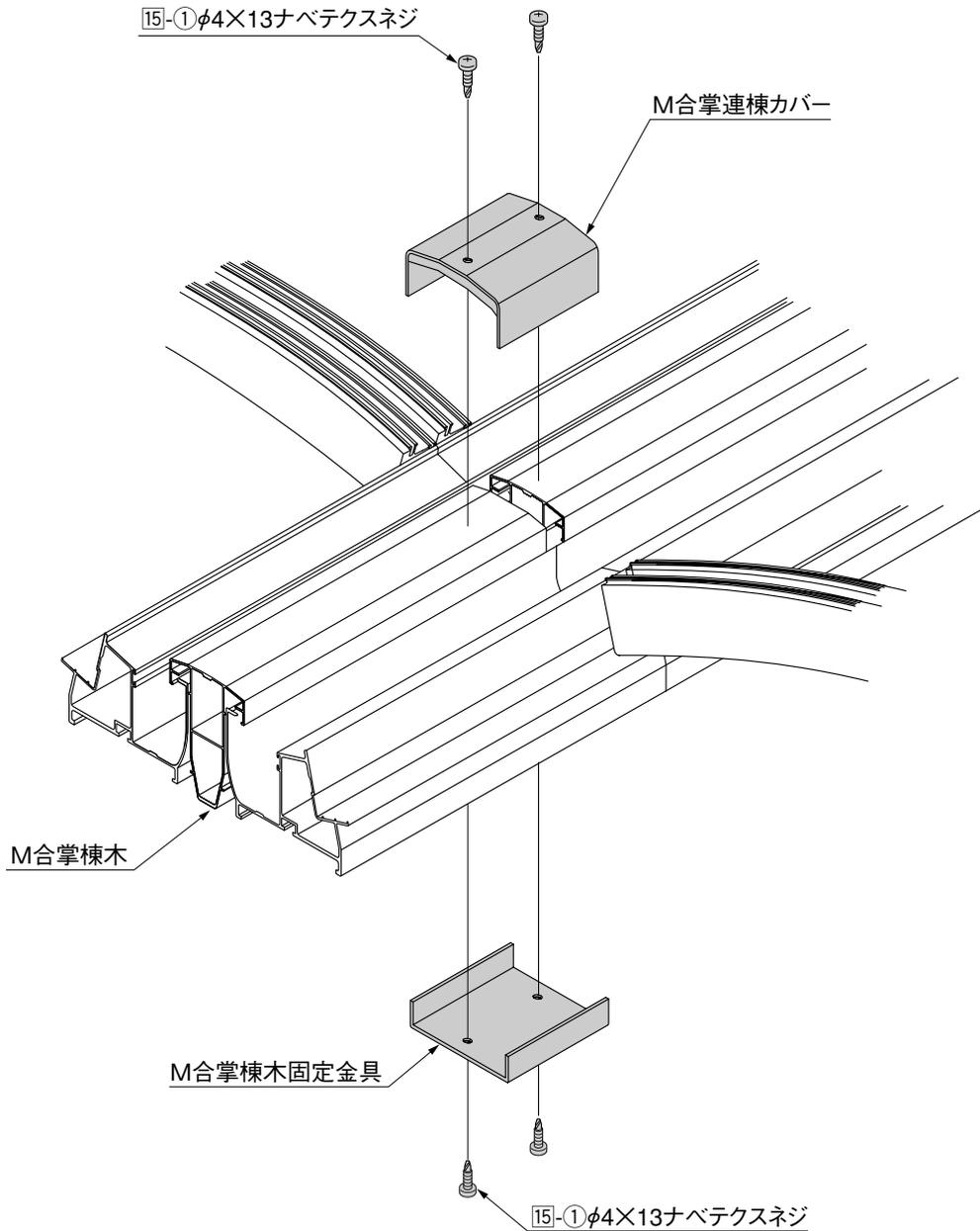
- 1 桁キャップ取付後、M合掌キャップの内側にシーリング材を塗布して、14-5でM合掌棟木に取付けてください。(図3-1参照)

### ポイント

- 指定の個所にシーリングしてください。(※)
- 同梱のブチルシーリングを使用してください。

## 4. 縦連棟M合掌の場合の施工

※屋根パネル取付け前に行なう作業です。



- ① M合掌棟木にM合掌連棟カバーを⑮-①で取付けてください。
- ② M合掌棟木固定金具を縦連棟部のM合掌棟木の隙間に⑮-①でM合掌棟木に固定してください。

# 5 フェンス・パネルの取付け

## 1. フェンス・パネルの取付け **オプション**

### 1-1 柱の取付可能位置の確認

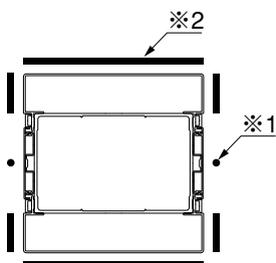


図1-1 スタandardスタイル  
ナチュラルスタイル

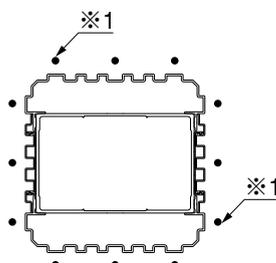


図1-2 アーキモダンスタイル

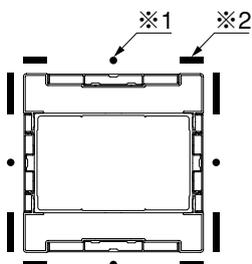


図1-3 スタandard木調スタイル  
アーキモダン木調スタイル

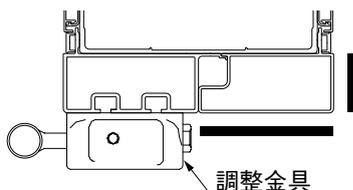


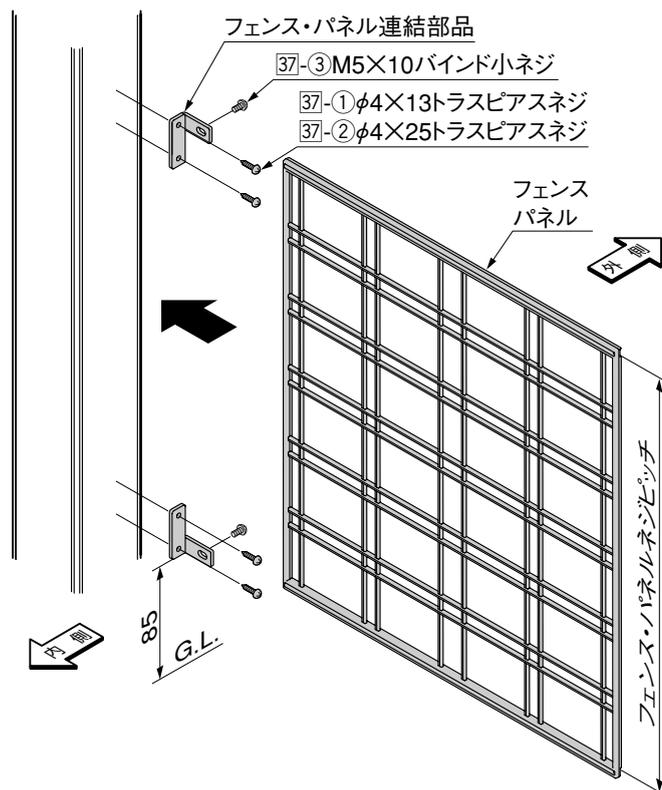
図1-4 門柱タイプ

① 図を参照して、フェンス・パネルを取付ける位置を確認してください。

#### ポイント

- 取付可能位置は※1, ※2です。
- 門柱タイプの調整金具取付面センターには取付けできません。(図1-4参照)

### 1-2 フェンス・パネル連結部品の取付け



#### ポイント

- フェンス・パネル連結部品には取付け方向があります。
- ① フェンス・パネル連結部品の下面がG.L.仕上げ面から85mmの位置になるようにアーキモダンスタイルの場合は37-②、それ以外は37-①で取付けてください。
- ② 取付けるフェンス・パネルネジピッチにあわせて、上側のフェンス・パネル連結部品を柱化粧材にアーキモダンスタイルの場合は37-②、それ以外は37-①で取付けてください。
- ③ フェンスをフェンス・パネル連結部品に37-③で取付けてください。

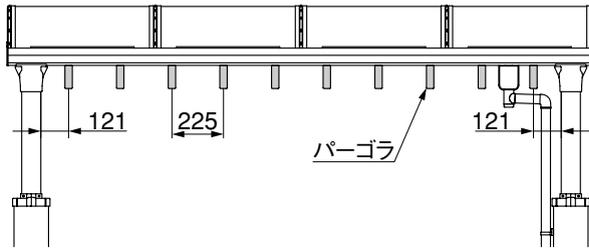
5  
パネル・フェンスの  
取付け

## 6 パーゴラの取付け

### 1. パーゴラの取付けピッチ **オプション**

※パーゴラの取付け位置および本数は必要に応じて、現場で調整することができます。

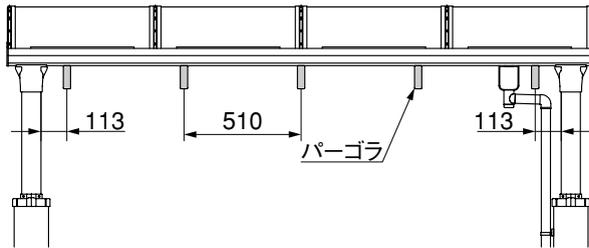
#### 1-1 L25タイプに10本取付ける場合



#### 補足

- パーゴラのピッチは225mmです。

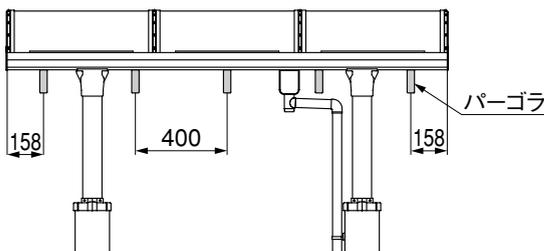
#### 1-2 L25タイプに5本取付ける場合



#### 補足

- パーゴラのピッチは510mmです。

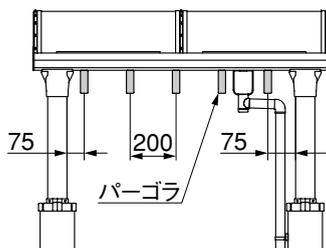
#### 1-3 L20タイプに5本取付ける場合



#### 補足

- パーゴラのピッチは400mmです。

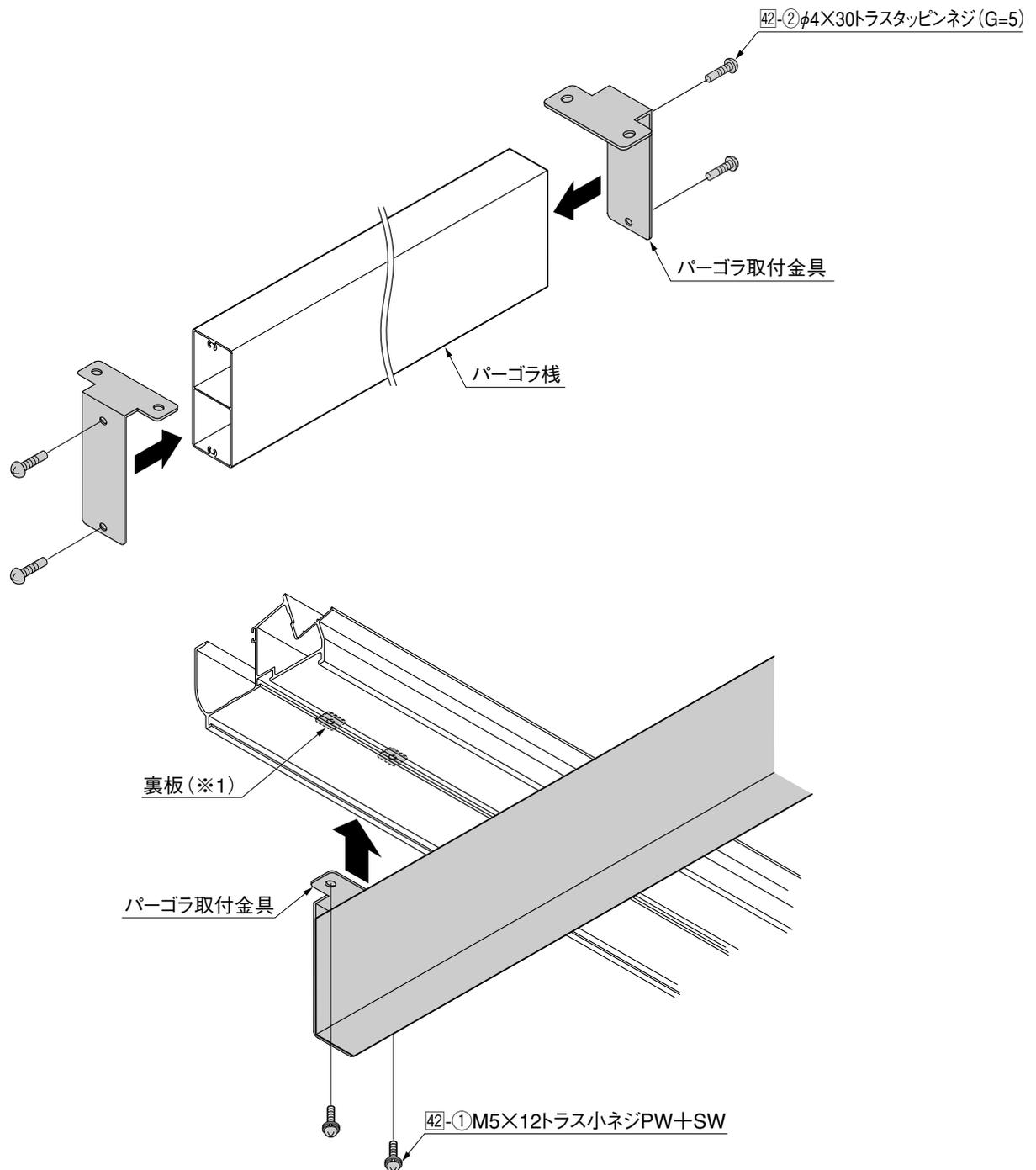
#### 1-4 L13タイプに5本取付ける場合



#### 補足

- パーゴラのピッチは200mmです。

## 2. パーゴラ取付け **オプション**



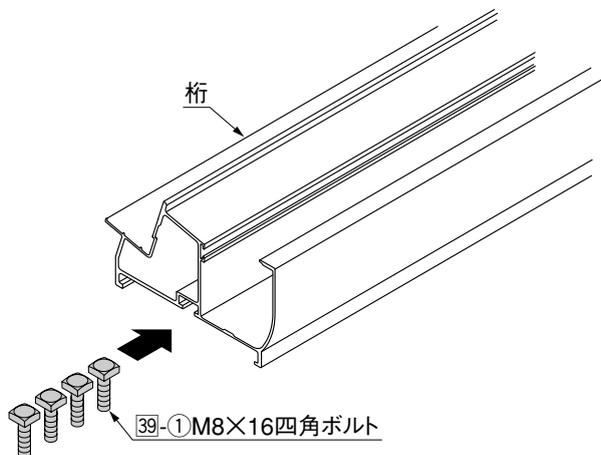
### 🔑 ポイント

- 桁の取付けの際には、桁下面の溝にパーゴラ取付け用の裏板をあらかじめ挿入してください。(※1)
- 裏板はパーゴラ1本当たりに、片側2枚必要です。

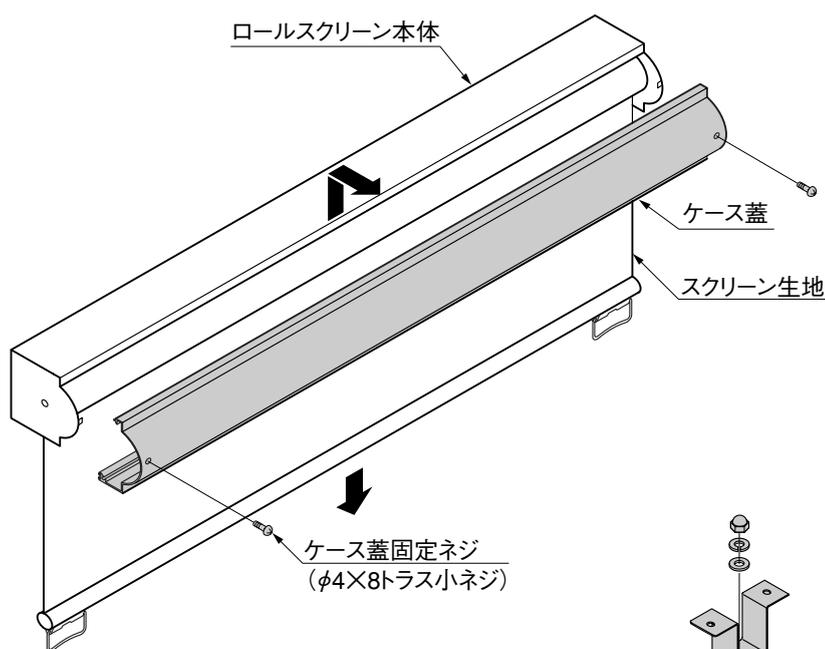
- ① パーゴラ棧の両端にパーゴラ取付金具を42-②で取付けてください。
- ② パーゴラ取付金具を桁下面の溝の中の桁裏板に42-①で仮止めしてください。
- ③ パーゴラが等間隔になるように位置を調整してから、42-①を締め込んでください。

## 7 ロールスクリーンの取付け

### 1. ロールスクリーンW2000の取付け **オプション**



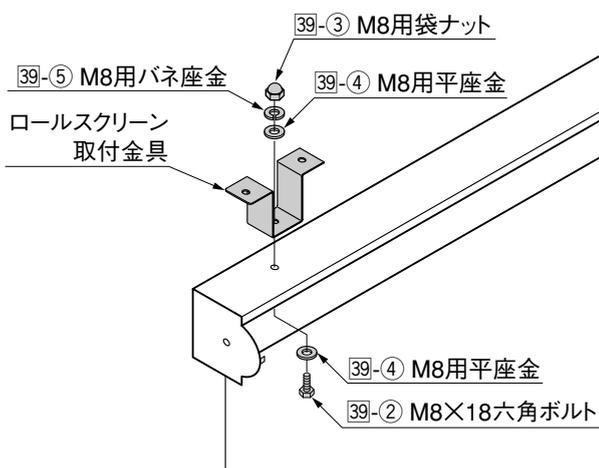
- 1 桁の取付けの際には、桁下面の溝にロールスクリーン取付け用の39-①を4本あらかじめ挿入してください。



#### 補足

- スクリーン生地は一度引き出すとロックがかかり、その位置で固定状態になります。もう一度下に引くとロックが解除して、巻き取りが始まります。

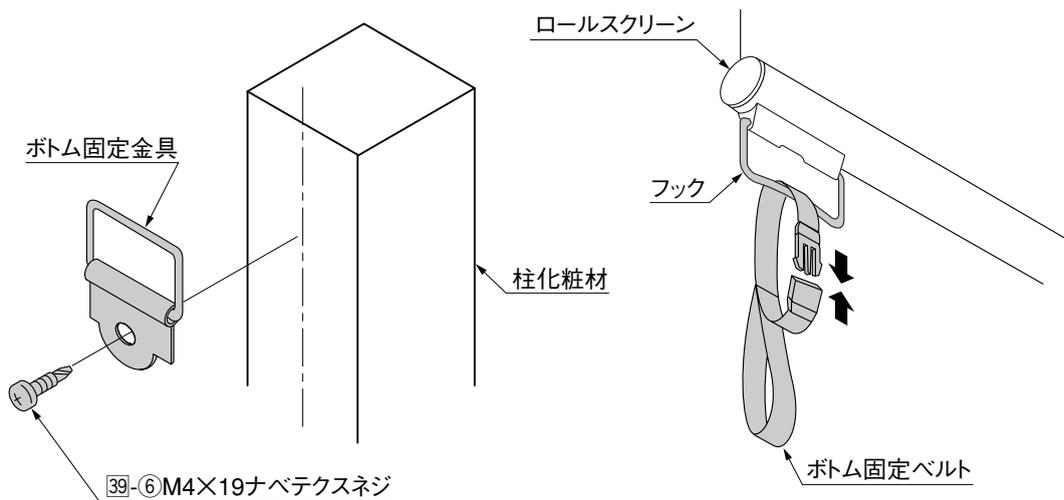
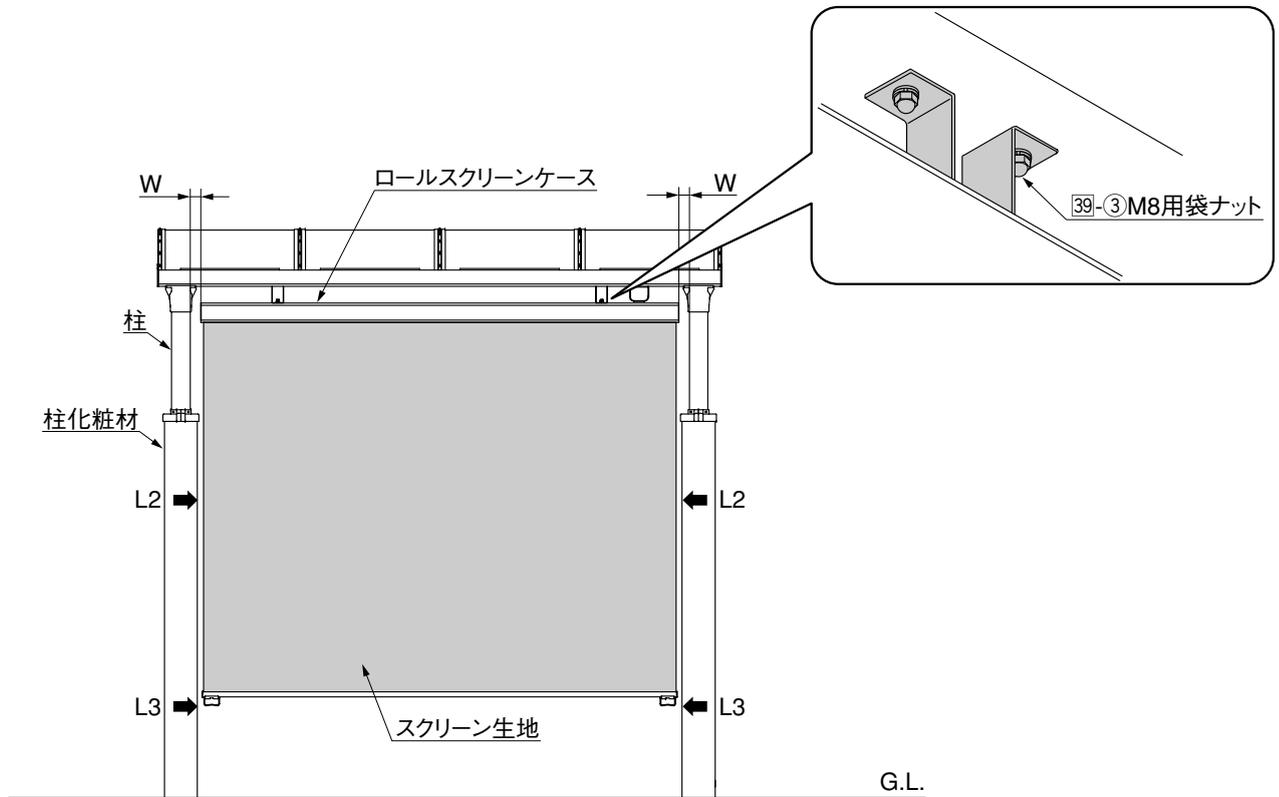
- 2 ロールスクリーン本体のケース蓋固定ネジを外してからケース蓋を一旦取外して、スクリーン生地を全部引き出してください。この時、スクリーン生地が汚れないように注意してください。



- 3 ロールスクリーン取付金具をロールスクリーン本体上部に39-②、39-③、39-④、39-⑤で取付けてください。



# 1. つづき



- ⑥ ロールスクリーンケース端部から柱までの寸法Wが左右均等になる位置で39-③を固定してください。
- ⑦ スクリーン生地を引き出した時に固定する位置L2, L3を決めてください。柱化粧材の中心にボトム固定金具を39-⑥で取付けてください。
- ⑧ ボトム固定ベルトをロールスクリーンのフックに取付けてください。
- ⑨ 取付完了後は、スクリーン生地を収納してください。



## メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**IIDEX**

取説コード  
**E149**

UDA601835B  
200403A\_1040  
200407B\_1040